

台灣和當種的時會報

No.300. 2019(令和元年) 11·12月号



沖縄県薬剤師会

+ */		(0)
表彰	秋の叙勲 旭日双光章(江夏京子先生)	(2)
	令和元年度 薬事功労者厚生労働大臣表彰(山里勇先生)	(4)
	学校保健および学校安全文部科学大臣表彰(照屋勝健先生)	(4)
	令和元年度 沖縄県薬事功労者知事表彰 (玉城宏幸先生、安里一美先生)	(5)
A L ATT 112 A DE L A	沖縄県健康づくり表彰 準グランプリ受賞 (玉城武範先生)	(6)
沖縄学術大会	第33回沖縄県薬剤師会学術大会開催・・・・・・潮平英郎	
	7/4	(10)
	第33回沖縄県薬剤師会学術大会会員発表審査報告・中尾滋久・金城雄一	
	第33回沖縄県薬剤師会学術大会懇親会・・・・・大城喜仁	
	第33回沖縄県薬剤師会学術大会奨励賞受賞発表要旨	
薬と健康の週間	薬祖祭・・・・・・大城喜仁	
	くすりと健康フェア・・・・・・大城喜仁	
	くすりと健康フェア参加報告平良恭子・島袋さゆり・西川 裕	
	街頭キャンペーン	
	令和元年度「薬と健康の週間」行事表	
地域保健	なごみ会主催第9回県民健康フェア2019報告	
	なごみ会主催第9回県民健康フェア参加報告松本圭五・與儀明美・笠原 哲	
実務実習	令和元年度第Ⅱ期薬学生実務実習報告佐藤雅美	
	令和元年度第Ⅱ期実務実習薬学生からの体験記・感想	(34)
	島 大樹・金城由佳・崎浜莉未・豊元柊弥・太田佳希・喜屋武夏妃・喜久山 舞	
	知念ほのか・武富海志・桃原和樹・上地徳道・甲斐美有紀・比嘉 栞・當真菜央	
	照屋ゆめか・永山寧乃・米須文香・佐和田大将・山田泰平・大城優衣・安次嶺栄智	
薬事情報センター	全国総体南九州大会におけるアンチ・ドーピング活動報告	
女性薬部会	令和元年度女性薬剤師部会主催 第28回漢方講座参加報告日高久美子	
学薬部会	令和元年度学校薬剤師学術フォーラム伝達講習会報告新垣紀子	
卸 部 会	日本医薬品卸勤務薬剤師会福岡県支部 令和1年度(38回)継続研修会報告…藤本千嘉子	
青年部会	令和元年度第14回青年薬剤師部会総会・情報交換会報告宮城勇己	
月例相談会	第175回健康とおくすり相談会報告 (那覇地区薬剤師会) 槇原真紀	
県民の皆様へ	あまくま薬立つ情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
D I	薬事情報おきなわ No. 257	
追 悼	書家 豊平峰雲 (信則) 先生を偲ぶ神村武之	
薬草学	身近な薬草を知ろう 第42回 フクギ:福木 ·····・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
リレー随筆	「ドタバタWebテスト」池間記世	
薬連だより	本田あきこオレンジ日記第200回臨時国会が召集される・スポーツファーマシストの活用…本田あきこ	
	国会レポート~全世代型の社会保障制度づくりへ・薬機法改正法案の審議スタート~ … 藤井もと ゆき	
理事会	令和元年度第7回理事会議事概要	
	令和元年度第8回理事会議事概要	` '
新聞広告	くすりと健康フェア	
告知ポスター	くすりと健康フェア・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	第9回県民健康フェア2019・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
転 載 記 事	旭日双光章受章 患者寄り添い 現場立つ 江夏京子さん	
	秋の叙勲 知事が伝達 叙勲受章者の功績たたえる	
	県職員2人を薬事功労で表彰・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	健康増進6組受賞 がんじゅうさびら表彰	
	薬の適正使用を周知 宮古地区薬剤師会など 街頭キャンペーン実施	
	論壇 かかりつけ薬剤師とお薬手帳 健康維持のため活用を盛本直也	
	論壇 健康をサポート「かかりつけ薬局」持って古謝真己	
	県薬剤師会がくすりフェア 20日に県立図書館で	(94)

· 表 紙 ————

転 載 記 事	薬と健康の週間PR広告「地域に根付く薬局 目指し」日本薬剤師会 第1回:かかりつけ薬剤師を上手に活用日本薬剤師会	(96)
	第2回:入院時もかかりつけ薬剤師が支援します日本薬剤師会	
	第3回:学校で活躍する薬剤師日本薬剤師会	
	第4回:うっかりドーピングからスポーツ選手を守る薬剤師日本薬剤師会	(97)
	健康増進目指し宜野湾でフェア 県医療保険連合が開催・医療の仕事 子どもが体験…	(100)
	25日に県民健康フェア 子ども向け職業体験も	(101)
会務報告	25日に県民健康フェア 子ども向け職業体験も 令和元年10~11月分	
	沖縄県薬剤師連盟会務報告(令和元年10~11月分)	(105)
年間目次	おきなわ薬剤師会報 令和元年(平成31年) もくじ 通巻296号~300号	(106)
計 報	嘉数和子先生、ご冥福をお祈り申し上げます。	(115)
会員作品	誌上ギャラリー(会員作品)について	(116)
編集後記		(116)
お知らせ	令和元年度 沖縄県薬事功労受賞者合同祝賀会案内	(7)
	Facebookをご覧ください!	(7)
	地区・支部・部会からの原稿をお寄せ下さい!	(49)
	県薬が会員に販売している印刷物等	(49)
	会報原稿募集のご案内	(72)
	会員にかかる弔事に関する薬剤師会への連絡について	(115)
	沖縄県薬剤師連盟 Facebookをご覧下さい!	(115)

森利師は国から付託された資格に基を医薬品の製造、調削、供給においてその固有の任務を遂行することにより、医薬水準の向上に資することを発達、調削、供給においてその固有とに済することを発達し国民の健康増進に寄するとと、深く思いを致し、絶えず、薬学、医学のな果を吸収して人類の福祉に貢献するよう。然果を吸収して人類の福祉に貢献するよう。
をある。

秋の叙勲 旭日双光章



受章おめでとうございます 江夏 京子先生

令和元年11月3日(日)沖縄タイムス

秋の叙勲 県関係37人受章 り績と努力

秋の叙勲で、県議会議長や浦添市長、参院議員を歴任した儀間 光男氏(76)や県議会副議長など務めた新垣哲司氏(70)、元県ウエ イトリフティング協会会長の大湾朝民氏(73)、元県薬剤師会副会 長の江夏京子氏(71)ら37人が受章した。地方自治や保健衛生、教 学校保健などの各分野で活躍した功績がたたえられた。



人一人のニーズに応える 患者さんに寄り添い、 江夏京子さん(71) 元県薬剤師会副会長(薬事功労) す」と話す。2人の姉も薬

剤師。「女は手に職を持ち

旭日双光章

2年ほど名古屋の病院に勤

のために琉球大学に薬学部 不足している薬剤師の養成 薬剤師会の仕事や、沖縄で

働いたが、医薬分業の流れ という思いで帰郷した。夫 はアクセスしやすいです もに独立開局した。 の禄栄さんの実家の病院で から」。経営するあかみち に乗ったりも大切。 を主治医にフィードバッ はない。「患者さんの状況 を見通して、83年に夫とと 務した後「沖縄で頑張ろう クしたり、患者さんの相談 力によって薬を出すだけで 薬剤師の仕事は医師の処 きた」と振り返った。 をその都度一生懸命やって れた。「必要とされたこと を創設する運動にも力を入

ものは変わっていくと将来 とエールを送った。 さんに寄り添ってほしい れを生かして目の前の患者 は知識も力もあるので、 を見据える。「若い人たち など、薬剤師に求められる できる力や地域医療の連携 (沖縄市登川2の24の21 専門的な高度医療に対応

薬局の本店は国の基準を満

たし「健康サポート薬局

今も現場の一線に立つ。

現場立 の名城大学に進学し、 で、姉たちも学んだ愛知県 71年に試験に合格した。

令和元年11月3日(日) 琉球新報



江夏

旭日双光章

(えなつ・きょう 会副会長、沖縄 労、元県薬剤師 こ=71) 薬事功

受章者17人「県民の誇り

草石I/人、県氏の誇り秋の級勲知事が伝達

手渡した。 子三-知事が勲記と勲章を功績のあった57人に、玉城社会福祉、消防の各分野で薬事、保健衛生、児童福祉、公舎であった。地方自治、公舎であった。地方自治、違式が8日、那覇市の知事は20日9年秋の叙勲等伝

者に感謝した。 たからこそ」と家族や関係のは、励ましや協力があっては、励ましや協力があっさかばかりの貢献ができたで沖縄の発展、繁栄にいさ興の使命を担った。各分野戦後の苦難の時代に郷土復代表であいさつし「戦中、た大城英和氏(物)が受量者は張売譲会議長を務め

た皆さまのご尽力のたまも各分野の第一線で活躍されて城知事は「県の発展は、1月の発展は

誇りである」とたたえた。られたことは県民の大きなのであり、その功績が認め



軌記を手に旦那様の禄栄氏と記念撮影 (知事公舎にて)

※発行元が記事利用を許諾しています。

沖縄タイムス

 $\widehat{\Box}$

令和元年11月10日

知事

ш́

と秋の叙勲の受章者=8

(前列右から6人目)

玉城デニー知事 公舎 令和元年11月10日(日)琉球新報



T人に伝達式 功績たたえる 叙勲受草者の

京真。 戴記と勲章が授与された= け人に玉城デニー知事から 分野での功績が認められた 童福祉、社会福祉、消防の 自治や薬事、保健衛生、児 知事公舎で開かれた。地方 勲伝達式が8日、那關市の び第況回危険業務従事者叙 び第況回危険業務従事者叙

ご指導、ごべんたつのおかきたことを多くの皆さまのがいささかなりとも貢献で担ってきた。私たちの努力担ってきた。私たちの努力は縄および日本の苦難の時譲員は「戦中戦後という、た大城英和元豊見城市議会はらり

て大きな誇りだ」と受章者められたことは県民にとっめられたことは県民にとっので、皆さまのご内績が認た皆さまのご尽力のたまも励され、優れた業績を上げ聞され、優れた業績を上げまはな分野の第一線で精工城知事は「今日の県の

令和元年度 薬事功労者厚生労働大臣表彰



山里 勇先生 おめでとうございます



令和元年10月15日、厚生労働省講堂にて記念撮影

利師会常務理事) 【薬剤師会】山里勇(元県薬 動大臣表彰 (15日、敬称略

令和元年10月16日 (水) 沖縄タイムス

※発行元が記事利用を許諾しています。

学校保健および学校安全文部科学大臣表彰



照屋 勝健先生 おめでとうございます



令和元年10月17日(木)琉球新報



令和元年度 沖縄県薬事功労者知事表彰



玉城 宏幸先生、安里 一美先生 おめでとうございます

期日:令和元年10月21日(月) 会場:沖縄県保健医療部 部長室



令和元年10月23日(木)沖縄タイムス



(石垣市) =写真前列中央として、2019年度原生表彰に、県八重山保健所生表彰に、県八重山保健所生表彰に、県八重山保健所生表彰に、県八重山保健所生表彰に、県八重山保健所生表彰に、県八重山保健所生

薬事・毒物劇物監視業務 に19年余携わる安里氏は に19年余携わる安里氏は に19年余携の後に立てる人間に なれるよう、今後も賞を励 みに業務にまい進する」と 抱負を述べた。玉城氏は、 薬事行政に22年携わり、全 国に先駆けて危険ドラッグ 対策に取り組み、取扱店撲 対策を達成。「うれしい。後 輩の指導に励みたい」と語 つた。

場所で2人に表彰状を手渡 場所で2人に表彰状を手渡 場所で2人に表彰状を手渡 場所で2人に表彰状を手渡 場所で2人に表彰状を手渡 場所で2人に表彰状を手渡

県庁職員2人を 薬事功労で表彰

薬事行政の推進に貢献したなどとして、厚生労働省医薬・生活衛生局長表彰を県八重山保健所生活環境班の安里一美班長、薬事功労者知事表彰を県計量検定所の玉城宏幸所長がそれぞれ受賞した。県保健医療部の砂川靖部長が21日、2人に賞状を手渡した。

安里班長は薬剤師で19年余に

わたって薬事や毒物劇物の監視 業務に携わり、その功績が認め られ今回、全国の受賞者54人に 選ばれた。

玉城所長は22年間、薬事業務 に従事。危険ドラッグ取扱店舗 の撲滅を達成するなど薬物乱用 防止に尽力した。

安里班長は「今後も県民の役に立てるよう努めたい」と話した。砂川部長は「功績が認められるれしく思う。後進の指導にも励んでほしい」と期待した。



県職員2人表彰

薬事行政に貢献したとして表彰 を受けた安里一美班長(前列中 央)と玉城宏幸所長(同右)= 21日、県保健医療部長室

令和元年10月26日(土)琉球新報

沖縄県健康づくり表彰 (がんじゅうさびら表彰)②

会員の玉城武範氏の「ミドリの保健室」の取り組み実績が、同表彰の地域活動部門の準グラン プリを受賞しました。おめでとうございます。





の皆さんの健康経営をサポー 受診のほか沖縄支店独自での 共通の健康診断と2次検診、 などに取り組んでいる。深澤 社員だけでなく沖縄の企業 沖縄支社長は「受賞を励み ルシーランチ・セミナー会 トレスチェックの100% つなげ、息の長い活動にした

険沖縄支店(那覇市)は全店 受賞した東京海上日動火災保 ランプリに輝いた6組に表彰 縄ライカムであり、正・準グ 彰式が3日、イオンモール沖 する「県健康づくり表彰(が んじゅうさびら表彰)」の表 組む企業や地域団体を表彰 などが贈られた。 事業所部門でグランプリを 8年から石垣市を拠点にウオ

ンプリを受賞した。松島昭司 会長は「石垣島の自然や史跡

ーツクラブ歩きニストがグラ りに取り組む、総合型支ボ

を楽しみながら汗を流してい

の開拓で会員のわくわく感に る。県外遠征や新しいルート

保健室(沖縄市)、兼城ハイ 覇市)、八重山殖産(石垣市) い」と話した。 各部門の準グランプリは次 (事業所部門) リウコム (那 【地域活動部門】ミドリの

健康増進 6組受賞

がんじゅうさびら表彰

運動や食取り組み評価



がんじゅうさびら表彰を受賞した企業・地域団 体の代表者ら=3日、北中城村のイオンモール 沖縄ライカム

令和元年11月7日(木)沖縄タイムス

キングによる健康・体力づ

地域活動部門では、

2019年度の県健康づくり 表者ら=3日、北中城村のイ リに輝いた事業所や団体の代 で、グランプリと準グランプ 表彰(がんじゅうさびら表彰)



中城村のイオンモール沖縄 所や団体を表彰する「県健 **植極的に実施している事業** びら表彰)」が3日、北 健康づくりの取り組みを づくり表彰(がんじゅう 東京海上 県健康づくり表彰 日 動

動部門のグランプリには総 合型スポーツクラブ歩きこ ランプリに輝いた。地域活 保険沖縄支店 ライカムであった。 部門では東京海上日動火災 人ト(石垣)が選ばれた。 事業所

グラン

ブ

リ

令和元年11月4日(月) 琉球新報

界一になることを目標に掲 げた「健康長寿おきなわ復 兼城ハイツ健康クラブ リはリウコム(那覇)と八 までに県民の平均寿命が世 ミドリの保健室 重山殖産(石垣)で、 活プロジェクト」の一 活動部門の準グランプリ この表彰は、2040年 事業所部門の準グランプ 一(沖縄) は

令和元年度沖縄県薬事功労受賞者合同祝賀会案內

日時:令和2年1月19日(日)午後6時~

会場:ダブルツリー by ヒルトン那覇首里城 守礼の間

【旭 日 双 光 章】 江夏 京子氏

【薬事功労者厚生労働大臣表彰】 山里 勇氏

【学校保健功労者文部科学大臣表彰】 照屋 勝健氏

【日本薬剤師会有功賞】 新垣 晶市氏 大城トシ子氏 西 登貴世氏

武田 悦子氏

【沖縄県薬事功労者知事表彰】 玉城 宏幸氏

【日本公衆衛生協会会長表彰】 前濱 朋子氏

【沖縄県薬剤師会長表彰】 川満 直紀氏 古謝 明子氏 草壁 瑞恵氏

仲地 剛氏 平良 恭子氏

【沖縄県学校保健功労者表彰】 我喜屋美香氏 吉田 光江氏 山里美恵子氏

※祝賀会チケットをお求めの方は、沖縄県薬剤師会事務局、または地区薬剤師会までご一報ください。

お知らせ

Facebook をご覧下さい!



下記アドレスより、お待ちしております。ホームページからも閲覧できます。 https://www.facebook.com/okinawaopa

沖縄学術大会

第33回沖縄県薬剤師会学術大会開催

日時:令和元年11月17日(日)10:00~17:15

会場:沖縄県看護協会館(会員発表・ランチョンセミナー・特別講演・機器展示)

沖縄県薬剤師会館 ホール (懇親会)



亀谷浩昌大会会長挨拶

11月17日(日)、沖縄県看護協会館に於いて「モノからヒトへ 薬の先を見据える新時代の展望」をテーマに第33回沖縄県薬剤師会学術大会が開催された。今大会の参加者は275名であり、昨年度を上回る参加者となった。

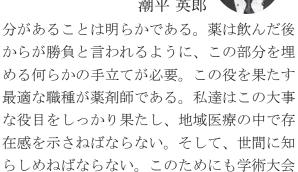
知名博樹大会実行委員の司会進行のもと、 中村克徳大会副会長の開会の辞で開幕した。 続いて亀谷大会会長から「今秋成立見込みの 薬機法改正の中に服薬後の薬学的ケアの義務 化があるが、これを実施するのはある程度の 困難が伴う。しかし、薬学的ケアの流れを考 えると受診から次の受診までの間に手薄な部 大会実行委員長 潮平 英郎

での発表、学術雑誌への論文発表が必要。日

常の仕事の中に、発表演題の種を探し、演題

発表や論文化に繋げていただきたい。本大会

では、継ぎ目なく患者の薬物療法を担う意気



込みを示すようなテーマとした。来年は第80 回九州山口薬学大会が本県で開催される。日 頃の研鑽の結果を数多く発表していただきた い。」と挨拶があった。

会員発表の部では、那覇市立病院の永井賢作、会営薬局うえはらの上里美矢子、レモン薬局の松本圭吾、琉球大学医学部附属病院の橋田律の4氏が座長を務め、病院薬剤師関連から7演題、保険薬局・その他部会関連から10演題の合計17演題の発表が行われた。

ランチョンセミナーは、東和薬品株式会 社との共催で、中村克徳大会副会長を座長 に、横浜市立大学附属病院の小池博文副薬剤 部長に「薬剤師が行う抗菌薬、酸分泌抑制剤 等の薬剤選択~安定供給と経営改善の観点を 踏まえて~」の演題で、ジェネリック医薬品 採用にあたっての方針や地域連携を踏まえた フォーミュラリ運用などについてご講演いた だいた。特別講演では、琉球大学医学部附属 病院の大屋祐輔病院長に「未来の琉球大学病 院、未来の沖縄の脳卒中・循環器病対策」の 演題で、ご講演いただいた。大屋先生は琉球 大学理事・副学長でもあることから、講演で は、沖縄県薬剤師会より要望された琉球大学 への薬学部設置についての現状にも触れられ た。国の財政が逼迫し、国立大学においても 厳しい舵取りが求められる中での薬学部設置 は、相当に難しい課題であるとのお話であっ た。その他、機器展示も開催され最新の自動 調剤ロボット機器や調剤支援技術ソフト等9 社の展示・紹介があった。最後に、大会実行 委員長である潮平の閉会の辞で盛会のうちに 幕を閉じた。

令和という新時代が始まり、奇しくも、薬機法改正が大詰めを迎え薬剤師にとっての新時代到来が迫るなか、大会テーマに掲げた通り「新時代を展望」するに相応しい大会となったと思われる。2020年には沖縄で九州山口薬学大会が開催される。引き続き、薬剤師としての研鑽の成果を活発に発表し続けられることを願ってやまない。

第33回 沖縄県薬剤師会学術大会

<講演要旨>



モノからヒトへ 築の先を見据える新時代の展望

会期:令和元年11月17日(日) 会場:沖縄県看護協会館(大会・機器展示) 沖縄県薬剤師会館(懇親会)

講演要旨集表紙

患者のための薬局ビジョンや2018年度診療・報酬改定など、昨今の薬剤師を取り巻く環境は、薬局における対人業務の評価を充実させる方向で進んでいる。薬機法改正の議論も進む中、今後我々薬剤師に求められる職能は大きく変わることが予測される。本学術大会が、薬剤師として社会に求められる職能を再確認し、来る時代を展望する機会になることを祈念し、大会テーマを「モノからヒトへ、薬の先を見据える新時代の展望」とした。

イラストのデイゴは沖縄の県花として有名 であるが、解熱や皮膚病へ効果があるとされ る薬草としての一面も持つ。

最後に、ご協力をいただいた座長や演者の 先生方、共催や広告・機器展示に出展いただ いた協賛企業と沖縄県薬剤師会事務局ならび に大会運営スタッフの皆様に、心より感謝申 し上げたい。

第33回沖縄県薬剤師会学術大会プログラム

受付 9:00 ~ 開会 10:00 ~





司会 第33回学術大会委員 知名 博樹

- 開会の辞 第33回学術大会 副会長 中 村 克
- 会長挨拶 第33回学術大会 会 長 亀 谷 浩 昌



I 会員発表(午前の部)

◎演題番号 1 ~ 4 10:10 ~ 10:50

座長 永井 賢作 (那覇市立病院)

徳



1. ポリファーマシー対策への取り組み

~医師・薬剤師連携による患者中心の医療を実践する~

浦添総合病院 薬剤部 ○玉 城 聖 佳 東 千 夏

奥 間 結 香 浜 元 善 仁

翁 長 真一郎

浦添総合病院 病院総合内科 栗原 健 鈴木智晴

名嘉村 敬 金城俊一



2. 外国人向け薬剤情報提供システムの構築

医療法人敬愛会 中頭病院 薬剤部 ○柴 田 高 輔 中 村 書 子

小 森 佳奈子 上 原 李佳子

仲宗根輝



3. 院外処方箋の疑義照会に関する合意文書締結と、業務効率化の評価

おもろまちメディカルセンター 薬剤部 〇馬 場 和 子 小橋川 健 枝

上原由紀砂川美佳

梅窪諭子糸嶺達

有限会社アミティ ビオラ薬局 福田早苗 宇良かやの



4. 腸瘻からの抗HIV薬の投与において血中濃度測定を行い用量調節した一例

琉球大学医学部附属病院 薬剤部 〇上 原 仁 諸 見 牧 子

与那覇 房 子 外間 惟 夫

中村克徳

琉球大学医学部附属病院 看護部 宮 城 京 子

琉球大学大学院医学研究科 仲村秀太 健山正男

感染症・呼吸器・消化器内科学講座 藤田次郎

ブレイクタイム(休憩・機器展示等の閲覧) 10:50 ~ 11:00



◎演題番号 5 ~ 9 11:00 ~ 11:50 座長 上里 美矢子 (会営薬局うえはら)





5. 保険薬局におけるチェックシートを用いた喘息患者への吸入指導

ぎのわん健康支援センター メルシー薬局かねぐすく

○高 場 美 保 境 健 司

又 吉 敬 子 與 儀 明 美

新垣慶朗

うちどまり薬局 沖 山 尚 美



6. 新たな保健指導による減薬と病気が改善した例

がじまる薬局¹⁾ がねこ薬局²⁾ うちどまり薬局³⁾

○下 地 謙 三¹) 金 城 守^{2,3)}

メルシー薬局かねぐすく 4) にしばる薬局 5) 新川薬局 6)

石川元信40石井真喜子10

草壁瑞恵5)新川重一6)



7. 薬剤師業務のタスク・シェアと調剤業務に関する一考察

中部地区薬剤師会 薬水会 ¹⁾ ゆい薬局 嘉手納店 ²⁾ ミドリ薬局 美里店 ³⁾ 中頭病院 薬剤部 ⁴⁾ アリス薬局 ⁵⁾

○橋 本 正 嗣 ^{1,2)} 玉 城 武 範 ^{1,3)}島 袋 朝太郎 ^{1,4)} 普久原 隆 ^{1,5)}



8. 外国人患者対応の質の向上に向けた薬局での取組事例と今後の課題

ミドリ薬局 美里店 ○玉 城 武 範 熱川温泉病院 薬剤課 知 念 利 孝



9. 地域で期待される薬剤師像を探る(その2)

~乳児一般健康診査で「おくすり相談」~

 女性薬剤師部会
 ○村
 田
 美智子
 草
 壁
 瑞
 恵

 長
 嶺
 奈津子
 日
 高
 久美子

 奥
 儀
 明
 美
 伊差川
 サヤカ

ブレイクタイム (休憩・機器展示等の閲覧) 11:50 ~ 12:30



II ランチョンセミナー(昼食) 12:30 ~ 13:30 共催: 東和薬品 株式会社

薬剤師が行う抗菌薬、酸分泌抑制剤等の薬剤選択 ~安定供給と経営改善の観点を踏まえて~

講師:横浜市立大学附属病院 薬剤部 副薬剤部長 小 池 博 文



<講師プロフィール> こいけ ひろふみ

横浜市立大学附属病院薬剤部副薬剤部長

平成7年3月東京理科大学薬学部製薬学科卒業、平成7年4月横浜市役所入庁(横浜市立市民病院薬剤部勤務)、平成10年4月横浜市立脳血管医療センター開設準備室、平成15年4月横浜市衛生局地域医療課、平成16年4月横浜市立大学附属病院医療安全管理室担当係長専任リスクマネジャー(GRM)、平成17年4月横浜市立大学附属病院薬剤部担当係長、平成26年4月横浜市立大学附属病院薬剤部課長補佐、平成29年4月横浜市立大学附属病院薬剤部副薬剤部長、現在に至る。

【所属学会・役職等】日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会評議員 (平成23年6月~)、日本医療マネジメント学会、日本医療薬学会、認定実務実習指導薬剤師、公益社団法人神奈川県病院薬剤師会理事 (平成24年9月~)、一般社団法人横浜市勤務薬剤師会常務理事 (平成30年6月~)、神奈川県後発医薬品使用促進協議会委員 (平成27年6月~)、日本病院薬剤師会代議員 (平成29年7月~)。

【著書等】ジェネリック医薬品の評価と選択(2014.7 じほう)、薬剤学実験法必携マニュアル(2014.4 南山堂)、初収載ジェネリックガイド(じほう)。主な研究テーマ:ジェネリック医薬品の普及・使用促進、医薬品のリスクマネジメント。





座長: 第33回学術大会副会長 中村 克徳

ブレイクタイム (休憩・機器展示等の閲覧) 13:30 ~ 14:00



Ⅲ 特別講演

 $14:00 \sim 15:30$

未来の琉球大学病院、未来の沖縄の脳卒中・循環器病対策

講師:琉球大学医学部附属病院 病院長 大 屋 祐 輔



<プロフィール> おおや ゆうすけ

琉球大学理事、副学長、医学部附属病院長、琉球大学大学院医学研究科循環器・腎臓・神経内科学教授、おきなわクリニカルシミュレーションセンター長 (併任)

1982年九州大学医学部卒業 (医師免許取得)、1988年九州大学大学院修了 (医学博士)、1987年より1989年米国オハイオ州シンシナチ大学医学部生 理学教室へ留学、1989年公立学校共済組合九州中央病院内科医長、1992年九州大学医学部助手 (第二内科)、1997年同上講師、2002年琉球大学医学部助教授 (准教授) 循環系総合内科学 (第三内科)、2010年同上教授 (2011年より循環器・腎臓・神経内科学講座に名称変更)、2019年4月より琉球大学医学部附属病院長・理事・副学長、現在に至る。

【所属学会および医師関係資格】日本高血圧学会(理事、専門医)、日本心臓リハビリテーション学会(理事)、日本内科学会(評議員、認定医)、日本循環器学会(社員、専門医)、日本老年病学会(代議員、専門医)、日本腎臓リハビリテーション学会(評議員)、循環器病予防学会(評議員)、日本心臓病学会(FJCC、社員)、日本腫瘍循環器学会(評議員)、日本心血管脳卒中学会(学術評議員)、AHA, Council for High Blood Pressure Research (Fellow)、International Society of Hypertension (Fellow)、動脈硬化学会、心不全学会、尿酸・核酸学会、日本腎臓学会、日本脳卒中学会、日本神経学会、日本医学教育学会、日本医療シミュレーション学会、日本血管不全学会、医療マネジメント学会(いずれも会員)、日本医師会認定産業医、3学会合同(高血圧学会、循環器病予防学会、動脈硬化学会)高血圧・循環器病予防療養指導士制度認定委員長。

【学術雑誌編集委員】Hypertension Research (Associate Editor),Circulation Journal, Circulation Reports,

【研究テーマ】沖縄における循環器疾患の疫学研究、沖縄型食事の健康増進に及ぼす介入試験、高血圧の病態に関する基礎研究、降圧薬に関する臨床研究、クリニカルシミュレーションによる教育に関する研究、カテーテルトレーニングシミュレーターの開発ほか





座長: 第33回学術大会会長 亀谷 浩昌

ブレイクタイム(休憩・機器展示等の閲覧) $15:30 \sim 15:40$



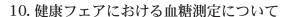
Ⅳ 会員発表 (午後の部)

◎演題番号 10 ~ 13 15:40 ~ 16:20



座長 松本 圭吾 (レモン薬局)

我喜屋



ふく薬品 ○西 坂

順 聡

我喜屋 靖 玉 城 尚 洋

又 吉 辰 磨



11. 小児在宅医療を受けている介護者へのアンケート調査

こくら虹薬局 〇久手堅 奈 央

阿部美咲

歩

碧

由美子

饒平名 千 春 儀間祐希



12. 薬剤師、管理栄養士、事務による三者協働訪問事業

すこやか薬局 野嵩店 ○石 浩 田

松堂 佐久川

長 嶺 夏 姫

當 間 彩 金城

Ш 子 砂 信

比 嘉 純 比 嘉 浩 喜屋武 芳 美

佐 藤 雅美



13. 調剤薬局におけるコストパフォーマンス

ヴァインドラッグあがりはま薬局 〇盛 本 直 也

ブレイクタイム (休憩・機器展示等の閲覧) $16:20 \sim 16:30$



◎演題番号 14 ~ 17 16:30 ~ 17:10



座長 橋田 律 (琉球大学医学部附属病院)



14. 白内障術前点眼薬 (院内製剤) 混合後の安定性についての検討

沖縄県立北部病院 薬局 〇上江洲 由佳子 勝 連 真 人

徳 嶺 恵 子

沖縄県立北部病院 検査科 牧 志 輝 仲 地 靖

沖縄県立北部病院 眼科 大山泰司



15. HER2陽性乳房外Paget病に対して抗HER2抗体を使用した1例

地方独立行政法人 那覇市立病院 薬剤部 ○祖 堅 由 伎 新 垣 剛

宮 城 理 奈 山 里 将 士

永 井 賢 作 金 城 雄 一



16. 腎細胞癌に対して、

ニボルマブからエベロリムスへ切替え後に発症した難治性口内炎の1例

友愛会 豊見城中央病院 薬剤科 〇上 門 由梨奈 與那覇 友理華

大 城 真理奈 國 分 千 代



17. 沖縄県内で発生したケシの不正栽培事例について

沖縄県 衛生薬務課 ○中 村 章 弘 宮 城 隼 人

桑 江 航 池 間 博 則

新城光雄

沖縄県 衛生環境研究所 佐久川 さつき

沖縄県保健所 池 原 勤 子 金 城 桂 史

米 村 わかな 伊 元 信 治



○ 閉会の辞 第33回学術大会実行委員長 潮 平 英 郎

沖縄学術大会

機器展示 コーナー 9 社



有限会社アクセス・オー



沖縄東邦株式会社



株式会社トーショー



株式会社ユヤマ



株式会社ITSシステム



株式会社EMシステムズ



株式会社タカゾノ



PHC株式会社



株式会社リレーションズ

第33回沖縄県薬剤師会学術大会会員発表審査報告

〈保険薬局・その他部会関連部門審査報告〉

保険薬局・その他関連部門では、保険薬局より8演題、部会より1演題、行政より1演題の発表でした。発表内容は薬剤師の視点からの演題だけではなく、他職種やスタッフとの連携、沖縄でも急速に進んでいる外国人への対応についてなど、新しい視点からの演題もありました。

今年度の奨励賞は、石田浩先生の発表された「薬剤師、管理栄養士、事務による三者協同訪問事業」を選定しました。職能を発揮し、その上で連携を行ない、患者の変化や医療費の変化について検討されていました。すべての薬局で同じ事を行うことは難しいかと思いますが、各々の専門性を活かすことで良い結果が生じているとても参考になる内容でした。

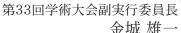
<病院診療所薬剤師関連部門審査報告>

病院診療所薬剤師関連部門では、8演題の発表がありました。その内容は、多岐にわたり、どれも常日頃より業務と真摯に向かい合う姿勢が伺えるものでした。また、どの演題もいろいろな面で今の医療がかかえる問題点、求められる薬剤師の役割等を表しているように感じました。時代は、平成から令和、今回のテーマ「モノからヒトへ」、そのような中で非常に素晴らしい学術発表会となりました。

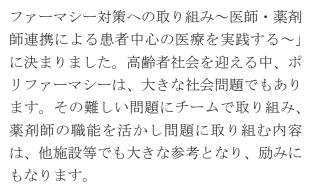
そして、各演題について、5名の審査員が発表テーマ、内容、構成、発表方法(抄録との関連性、プレゼンテーション技術、時間配分等)に観点をおき、審査、点数化を行い、審査員の意見も加え、総合的に評価して奨励賞1題を選定しました。

審査員の協議の結果、奨励賞は、演題番号 1. 浦添総合病院の玉城聖佳先生による「ポリ 第33回学術大会副実行委員長中尾 滋久

来年は、沖縄県で九州山口薬学大会が開催されます。地元開催なので参加するだけではなく、発表するにはいますぐ準備が必要です。そのためには、日々の業務で研究のタネを探すだけではなく、研究倫理についても学ぶ必要があります。例えばJPALSの「研究倫理ーラーニング」、日本病院薬剤師会e-ラーニングで「臨床研究に関するコンテンツ」や平成29年度学術第3小委員会の「医療情報の取り扱いと改正個人情報保護法に関する資料の公開について」などです。わかり易い動画やスライドで配信されていますので、これらを参考に、指針に則った我々の成果を県外の薬剤



師にアピールしましょう!



来年、2020年は、九州山口薬学大会が沖縄で開催されます。大会を大きく盛り上げるためにも一人でも多くの参加はもちろんのこと、多くの発表を期待しております。沖縄から何か一つでも多く、発信できればと思います。



沖縄学術大会

第33回沖縄県薬剤師会学術大会懇親会

第33回沖縄県薬剤師会学術大会の会員発表、特別講演を無事に終え、会場を沖縄県薬剤師会館に移し、午後5時30分から第33回沖縄県薬剤師会学術大会懇親会が催された。

司会は、青年薬剤師部会の宮城勇己副部会長が務めた。川満直紀副会長の開会の辞、亀谷浩昌会長の挨拶、池間博則沖縄県保健医療部衛生薬務課薬務室長が来賓の挨拶をされた。また、懇親会にも出席いただいた特別講演講師の大屋祐輔氏とランチョンセミナー講師の小池博文氏から挨拶を賜った。

次に、潮平英郎大会実行委員長より発表者 全員に演題発表認定証が授与された。今大会 は17演題の発表があり、その中でも優秀な発 表者に大会奨励賞の授与式が行われた。今年 の大会奨励賞は、病院薬剤師関連部門に浦添 総合病院の玉城聖佳氏による「ポリファーマ シー対策への取り組み~医師・薬剤師連携に よる患者中心の医療を実践する~」、保険薬局・その他関連部門ではすこやか薬局野嵩店の石田浩氏による「薬剤師、管理栄養士、事務による三者協働訪問事業」がそれぞれ選ばれ、亀谷会長から賞状と副賞が授与された。

続いて、沖縄県薬剤師会長表彰が執り行われ、本会に長年貢献された5氏に亀谷会長から賞状と記念品の授与が行われた。古謝明子氏、川満直紀氏、草壁瑞恵氏、仲地 剛氏、平良恭子氏(代理:知名博樹氏)の5氏を代表して、古謝明子氏より受賞の喜びと感謝の言葉が述べられた。

中村克徳副会長の乾杯の音頭で歓談に入った。お祝いに駆けつけた方々が受賞者と握手を交わす姿や写真撮影を行なう姿も見られた。

大いに盛り上がった懇親会は、午後7時30分に前濱朋子副会長の挨拶で閉会となった。

(報告:第33回学術大会事務局 大城 喜仁)



潮平英郎大会実行委員長から発表者17人に認定証が授与された



奨励賞受賞者 玉城 聖佳氏と石田 浩氏



会長表彰受賞者代表謝辞をする古謝明子氏 後列左より、川満直紀氏、草壁瑞恵氏、仲地剛氏、平良恭子氏(代理知名博樹氏)



親子で記念撮影 古謝 真己氏と明子氏



大会講師、来賓、大会役員で記念撮影



開会の辞 川満 直紀 副会長



あいさつ 亀谷 浩昌 大会会長



来賓挨拶 池間 博則 県衛生薬務課薬務室長



乾杯の音頭 中村 克徳 大会副会長



閉会の辞 前濱 朋子 副会長



司会 宮城 勇己 青年部会副部会長

〈会員発表審査会〉



病院診療所薬剤師関連部門審査員

- ○金城 雄一
- ○浜元 善仁 ○諸見 牧子
- ○垣花 真紀子 ○國分 千代



保険薬局・その他部会関連部門審査員

- ○前濱 朋子
- ○西川 裕
- ○川満 直紀
- ○島袋さゆり ○中尾 滋久

<病院診療所薬剤師関連部門奨励賞受賞発表要旨>

1. ポリファーマシー対策への取り組み 〜医師・薬剤師連携による患者中心の医療を実践する〜

浦添総合病院 薬剤部 ○玉 城 聖 佳 東 千 夏

奥 間 結 香 浜 元 善 仁

翁 長 真一郎

浦添総合病院 病院総合内科 栗原 健 鈴 木 智 晴

名嘉村 敬 金 城 俊 一

【目的】

少子高齢化を主とした社会構造変化に伴い、多疾患をもつ患者が増加することで、過剰医療が問題となっている。ポリファーマシーは潜在的不適切処方(potentially inappropriate medications;以下、PIMs)や不必要な薬剤、重複薬剤などが問題点として挙げられており、死亡率の上昇、服薬アドヒアランス低下による治療の支障、転倒との関連が指摘されている。当院では、患者への有害事象の回避、QOLの向上を目的として、病院総合内科医師と共にポリファーマシー対策を推進している。今回、薬剤総合評価調整加算取得開始後の現状を分析し、減薬への効果を検証した。

【方法】

2019年6月1日~10月4日までに薬剤総合評価調整加算を取得した20例を後方視的に調査した。 調査項目は、(1)年齢、性別、平均薬剤数、(2)入院時及び退院時における①対象患者1人当りの 1日薬価、②PIMs使用患者率、③薬効分類別からみたPIMs使用件数とした。

【結果】

(1)年齢:86±8.5歳、

性別:男性7人(35%)、女性13人(65%)

平均薬剤数:9.6剤 (2)入院時及び退院時の

①1日平均薬価:

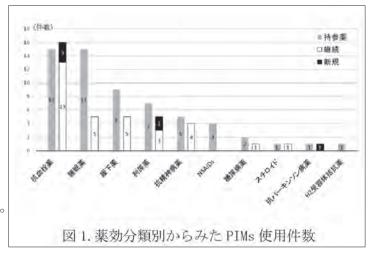
入院時474円/日、退院時400円/日、

削減薬剤186円/日。

②PIMs使用患者割合:

入院時は95%、退院時は85%。

③薬効分類別PIMs使用件数:図1に示す。



【考察】

薬剤調整により、退院時の1日薬価は削減されており、医療費削減に貢献したと考える。入院時に比べ退院時では、PIMs使用患者率が減少傾向である。薬効分類別にみると、抗血栓薬は新規開始症例もあり増加しているものの、臨床症状や加齢による体内動態変動に伴い、睡眠薬や緩下薬、利尿薬、NSAIDsは減薬対象となる傾向がみられた。薬剤総合評価調整加算取得開始により、処方の適正化が推進され、PIMsや不必要な薬剤の回避に繋がっていると思われる。今後は、有害事象リスク軽減への評価も検討していく。

<保険薬局・その他関連部門奨励賞受賞発表要旨>

12. 薬剤師、管理栄養士、医療事務による三者協働訪問業務

すこやか薬局 野嵩店 ○石 田 浩 松堂 歩 長嶺夏 姫 佐久川 碧 當間 金 城 由美子 彩 砂川信子 比 嘉 純 比嘉浩一 喜屋武 芳 美 佐藤雅美

【目的】

2008年より外来に併設する形で施設・在宅の訪問薬剤管理指導の専門部署を設け活動を開始し、 人口10万人あたり薬剤師が少ない沖縄県においても業務の質を担保するため事務とも連携し訪問 薬剤管理指導を実施してきた。在宅療養者の栄養ケアの必要性や薬剤管理との連携の重要性を鑑 み、2016年より新たに管理栄養士が訪問に同行している。今回、薬剤師、事務、管理栄養士の専 門性を活かした業務分担により効率化と効果的な患者ケアが可能となった一例を交えて報告す る。

【方法】

職種によって業務を分担し協働した内容を記す。薬剤師は調剤、報告書、計画書の作成、処方提案を行う。医療事務は訪問スケジュール管理、薬剤のセットおよび残薬確認(薬剤師指示のもと実施)、診療・介護報酬算定を行う。管理栄養士は摂取栄養量確認、栄養情報提供、実技指導を行う。実際に介入した症例を示す、80代女性 #パーキンソン病yahr 5 #レビー小体型認知症。ADLは寝たきり、全介助。内服を介護者である家族が自己調整し、無動およびジスキネジア出現、また、数年かけて徐々に経口摂取不良となり低栄養状態であったため、訪問薬剤管理および栄養介入を行った。

【結果】

薬剤師が服用時点の変更、薬剤の増量や追加提案により無動症状が改善し安定した摂食が可能となった。管理栄養士が嚥下機能に応じた少量高カロリーのペースト食の作成、および経口摂取量のモニタリングを行い、摂取量が安定し、介入4か月後の血清アルブミン値3.2g/dl→3.6g/dl、ヘモグロビン値9.6g/dl→11.7g/dl、体重33.1kg→33.6kgと栄養状態が改善した。一方、医療事務は細かな残薬調節により約100名に対し1年間で90万円の薬剤費削減へ繋がった。

【結論】

薬剤師、事務、管理栄養士による三者協働の在宅訪問により、患者の病態コントロールおよび 栄養状態の改善、薬剤費の削減に繋がった。三者協働することで業務効率や医療費の側面から大 きく貢献できるだけでなく、薬剤師としての専門性を十分に発揮でき、管理栄養士からの食事や 栄養面でのアプローチも可能となりさらに質の高い患者ケアが期待できる。このことから、より 積極的に三者協働し、さらに質の高い訪問業務を目指したい。

薬と健康の週間

薬 祖 祭



「薬と健康の週間」行事は、毎年、波上宮本殿で、朝10時からの『薬祖祭』を皮切りに行われる。宮司の祝詞の中に、薬祖神である少彦名命(スクナヒコナノミコト)に薬の取り扱いに間違いがないよう病める人の苦しみの癒えんことを奏上して、沖縄県薬業連合会(沖縄県薬剤師会、沖縄県卸業協会、沖縄県登録販売者協会、沖縄県医薬品配置協議会)、沖縄県、那覇市に言上されている。

当会の第六・八・十一代会長であった故仲松弥元氏は、昭和37年に製薬会社が軒を並べる



大阪市道修町の少彦名神社より御分霊「神農 (中国医薬の守護神)」を勧請して、那覇市波 上宮に依頼して奉祀された。祭神は日本の医 薬の神として敬われてきた少彦名命と大国主 命(オオクニヌシノミコト)。祭日は土地ご とに違っていたが、近年、10月17日に統一さ れ、薬剤師会や薬業界が祭主となって催して いる。

今年の薬祖祭は、前日の悪天候から一転、 10月18日(金)午前10時から波上宮本殿にて、 晴れわたった朝の澄みきった潮風の流れるさ わやかな雰囲気の中で、沖縄県薬業連合会と 沖縄県、那覇市で厳修された。

(文:沖縄県薬剤師会事務局 大城 喜仁)

参拝者には、病除祈願の張り子の虎を笹に結びつけたお守りが配られる。この風習は、日本で初めてコレラが大流行した年に道修町の医薬商が相議り、疫病除卸薬「虎頭殺鬼雄黄圓(虎の頭骨を配合した丸薬)」を作り、神前で祈祷して庶民に無料で施し、虎と竹を組み合わせたお守りと共に配った。当時、コレラを「虎列刺」と書き、その猛威と怖さを誇示していたので、薬に"虎を殺す鬼"と名づけられた。

薬と健康の週間

くすりと健康フェア ~ 心身ともに健康 ~

日時:令和元年10月20日(日)12:45~16:00

会場:沖縄県立図書館

主催:沖縄県・那覇市・沖縄県薬剤師会

本年度の「薬と健康の週間(10月17日~23日)」は、全国統一事業テーマ「決めよう! 探そう!活用しよう!かかりつけ薬剤師を~もっと身近に、ずっとそばに~」を掲げ、沖縄県内でも各地で関係団体がそれぞれの事業を実施した。本会は、地域住民・患者から信頼される「かかりつけ薬剤師」「かかりつけ薬局」として、すべての薬剤師・薬局が「かかりつけ」機能を発揮して選ばれるために、「薬剤師の見える化」をより一層推進している。

同週間のメインイベントである「くすりと健康フェア」が10月20日に沖縄県立図書館において沖縄県・那覇市・沖縄県薬剤師会の主催で開催された。同フェアは、昨年まで県民公開講演会と基調講演、そして南部地区薬剤師会主催の健康とおくすり相談会を同じ会場

(パレット市民劇場・ロビー)で行ってきた。 今年から趣向を変え、「健康とおくすり相談 会(南部地区薬剤師会共催)」「薬剤師になろ う!こども向け調剤体験&楽しい実験」「薬 と健康のミニ講話」を同時開催することに なった。

午後12時45分に沖縄県立図書館入口前で開会セレモニーが執り行われた。進行は本会会員で那覇市保健所生活衛生課の仲地剛氏が務め、沖縄県保健医療部の砂川靖部長、那覇市保健所の仲宗根正参事、本会の亀谷浩昌会長の順で主催者あいさつをし、午後1時より館内の「健康とおくすり相談会」「薬剤師になろう!こども向け調剤体験&楽しい実験」「薬と健康のミニ講話」が開始された。

<次ページへ続く>



開会セレモニー



砂川 靖 沖縄県保健医療部長



仲宗根 正那覇市保健所参事



亀谷 浩昌 沖縄県薬剤師会長



司会 仲地 剛氏

<くすりと健康フェア プログラム>

○開会セレモニー 司会:那覇市保健所生活衛生課 仲 地 剛

○主催者あいさつ 沖縄県保健医療部 部長 砂 川 靖

那覇市保健所 参事 仲宗根 正

沖縄県薬剤師会 会長 亀 谷 浩 昌

○健康とおくすり相談会

○薬剤師になろう!「こども向け調剤体験&楽しい実験」

○薬と健康のミニ講話 司会:沖縄県薬剤師会 常務理事 西 川 裕

①かかりつけ薬局・薬剤師について 講師:そうごう薬局 安里店 坂 口 和 志

②薬物の害について 講師:沖縄県薬剤師会 理事 知 名 博 樹

③薬の正しい使い方 講師:沖縄県薬剤師会 理事 上 原 卓 朗

沖縄都市モノレールは、浦添までの延伸を 記念し、当日は全乗客を対象に全線で終日乗 車料を無料としたこともあり、沿線上にある 同会場には多くの人出があった。「健康とお くすり相談会」と「薬剤師になろう!こども 向け調剤体験&楽しい実験」には開始前から 待ち侘びていた方々で既に行列になっていた。

「健康とおくすり相談会」は、館内入口の総合インフォメーション前に設置され、問診を含めた機器使用の健康チェックから、薬または健康の相談、アンケートの記入・回収までの流れで対応した。機器を使用した測定には、骨密度測定、動脈硬化度測定、体成分分析測定、血圧測定を導入した。測定後の相談コーナーでは、医薬品や健康食品、サプリメント類について、また、健康で長生きするための生活習慣などの健康アドバイスを実施した。待合席では対応できないくらい多くの相談者が訪れたため、午後2時には整理券発行を止め、結局、終了予定の午後3時を軽く超える午後4時に終了した。80余名の相談者を対応した。



相談コーナー



動脈硬化測定



体成分分析測定



骨密度測定

☑健康とおくすり相談会相談員 (敬称略)

○新垣 秀幸 ○伊佐 要一 ○伊敷さゆり ○伊敷松太郎 ○上原 陽子 ○大城 祥子

○川上 善久 ○具志堅睦人 ○平良 恭子 ○玉城 武範 ○知念 大輔 ○桃原 泰誠

○名嘉 紀勝 ○福地 健治 ○松本 圭五 ○盛本 直也 ○内嶺 陽平

「薬剤師になろう! こども向け調剤体験&楽しい実験」は、エントランスホールに設置され、多くの家族連れで賑わった。参加の子供には子供用白衣を着用させ、薬の実験、薬の一包化、薬剤師の仕事紹介、アンケートの記入・回収までの流れで対応した。

薬の実験では、①鉄剤シロップと茶を混ぜ、 色の変化を視覚的に確認し、②カプセルが少量の水では指にくっついてしまう、という2 つの実験を通して、薬は「適量の水」で飲む ことが大切だと学んでいた。

薬の一包化では、模擬処方箋とカラーコーティングのミルクチョコレートを用いて分包機で一包化を体験。色の異なるチョコレートを模擬処方箋通りに朝・昼・夕と分けて分包。見慣れない機械を使用しての本格的な作業にどの子供も満足気であったのが印象に残る。80余名の子供が体験した。



薬の実験コーナー



薬の一包化コーナー

➡子ども向け調剤体験 啓発員 (敬称略)

- ○上里美矢子 ○草壁 瑞枝
- ○島袋さゆり ○與儀 明美

「薬と健康のミニ講話」は、上階の多目的ホールにて、本会の西川裕常務理事の司会進行で執り行われた。午後1時30分に「かかりつけ薬局・薬剤師について」をそうごう薬局安里店の坂口和志氏、午後2時に「薬物の害について」を本会の知名博樹理事、午後2時30分に「薬の正しい使い方」を本会の上原卓朗理事が講話された。熱心な聴講者から質問もあり、活発な質疑応答が交わされ、充実したミニ講話となった。他のコーナーとは別のフロアで行われたが、それでも各講話にそれぞれ20余名が聴講していた。

今年から同フェアの趣向を一新することに、開催前は企画した関係者も不安視していたが、近年には無い多くの参加者が訪れたことにより、来年の同フェアはもちろん、今後の薬剤師職能の啓発・普及活動の励みになる良い一日となった。(報告:事務局 大城 喜仁)



坂口 和志氏



上原 卓朗理事



知名 博樹理事



西川 裕常務理事



□ミニ講話 講師・司会 (敬称略)

- ○坂口 和志 ○上原 卓朗
- ○知名 博樹 ○西川 裕

薬と健康の週間

くすりと健康フェア参加報告

健康とおくすり 相談会コーナー



薬局えぱーわーな~ 平良 恭子

スタートの13時前から大行列ができて、 私は遅刻したのかと思う程でした。こんな にも多くの方々が、このイベントに関心を 寄せてくださっているとは驚きでした。

会場では、「体成分測定」「骨密度測定」「血圧測定」「動脈硬化測定」の順に設置され、最後に測定結果及びお薬に関する相談という手順となっていました。測定には時間がかかります。すぐさま「薬だけの相談の方は、『こちら』」と、事務局スタッフが柔軟に案内し、測定者、相談者で相談会コーナーは直ぐに埋まりました。

今回相談を受けた中で、多くを代表していると思う一例を紹介させていただき、かかりつけ薬局の体制について私の意見を述べさせていただきます。

「いつも病院の前で薬をもらっていたけ ど、家から近い薬局の方がいいので、家の 近くの薬局で何度か薬をもらったけど、い つも在庫が無くて、どうしてかと聞いたら、 隣の病院の薬は切らすことはないけど、他 の病院の薬は揃えきれないと言われた」と 話された相談者がいました。沖縄県薬剤師 会が生み出した便利な不動備蓄ネットワー クシステムは、急な処方依頼に薬の手配が スムーズでした。不動となった在庫を購入 していただくのもスムーズでした。全国で 不動在庫を取り扱う業者のチラシをよく目 にしますが、県内の便利なシステムを利用 した方がより簡潔敏速に対応できたのでは ないかなと考えます。各薬局の在庫問題は 薬局存続に直結し、かかりつけ薬局機能は 各薬局には厳しいシステムで厄介となるの でしょう。患者様にとって、かかりつけ薬 局は本当に利点となるものと思われる一方、 提供する薬局側は大手を振っていない。私 は、不動在庫備蓄ネットワークシステムが 再び機能し、便利に改善されていくことが 多くの県内薬局の在庫問題を改善していく 良策と考えます。

かかりつけ薬局の場所を知る機会が、一般の方々にはまだまだ少ないようでうす。 大きな病院には、地区薬剤師会で運営しているFAXコーナーがありながら、薬局の住所・地図の掲示に不備があります。今や個人に一台持っているスマートフォンで利用で登るはずの「おきなわ電子お薬手帳」の登録をするとあまりにも少ないのが現状です。いくつもの病院に通っている方をかかりつけ薬局としてお世話する体制は整えられていない実態が見えます。体制改善は急務のはずです。

今回、多くの相談員が揃い、より深く相談にのって、相談された方々は満足された様子でした。薬を正しく飲んでいただくには、やはり納得のいく説明、遠慮しない質問への丁寧な回答が必要です。それには、個々に合わせた時間が必要です。この満足がこの場限り、このイベント限りにならないよう、より良い体制ができ上がることを願っています。

今回、多くの県民が、薬に関心を持ち、より健康を目指していると感じられました。 質問に的確に答えられなかった場面には反 省し、情報を収集し、改めて整理していき ます。このような機会に参加させていただ けたことに感謝申し上げます。

こども向け調剤体験& 楽しい実験コーナー

1

理事 島袋 さゆり

こども向け調剤体験&楽しい実験コーナーを担当させて頂きました。約80名の子供たちの参加があり、ご両親が同行の子も多数いました。

調剤体験コーナーでは、お子様用白衣に袖 を通した子供たちが、一人前の薬剤師になり きり、調剤の模擬体験をしました。カラーコーティングされたチョコレートを錠剤に見立てて、処方は本物さながらの処方せん型式で2パターン「青・黄色は朝昼夜、赤色は朝昼」「緑・茶色は朝昼夜、オレンジは朝昼」を用意しました。好きな色パターンを選んでもらい、本物の錠剤分包機を使って調剤体験します。処方せんを読みながら分包機にセットする子は、たちの表情は真剣で、とても頼もしく思えました。完成した分包チョコレートは、何ともかわいらしい出来栄えです。本物の薬袋に名前を書き、分包チョコレートは、楽しいおみやげになります。

実験コーナーでは、「お茶+鉄剤(インクレミンシロップ)=キレート形成で黒く変色する」の変化をコップの中で実験しました。スポイトを用いた化学実験に、子供たちもドキドキしながら楽しんでいる様子でした。「水+鉄剤=変化無し」の試験管と対比することにより、その差は歴然で、同行したご両親も衝撃を受けていらっしゃいました。「お薬は、可能な限りお水で服用するようにしましょう!」の指導に、ご両親と共に納得してくれたと思います。

その他に、「お薬はコップ1杯の水で飲み ましょう!」をテーマに掲げ、お皿に置いた カプセル剤に「少量の水と多めの水」をかけ た時のペタペタ度合を子供たちに触ってもら いました。少量の水だとカプセルは手にくっ つきますが、多量の水のではくっつきませ ん。これは、服用する水が少ないと、薬が食 道に付着し潰瘍を引き起こしたり、効果が しっかり出なかったりすること伝えました。 コップ1杯の水で服用することで薬を飲み易 くし、よく溶かされて吸収を良くするだけで はなく、食道炎の防止にもなることを伝えま した。直に触って体験することで、「お薬は コップ1杯の水で飲みましょう!」の大切 さを、同行したご両親と共に理解してくれ たと思います。

実験終了後には、参加した子供たちにアンケートを記入してもらいました。参加者約80名中65名が提出してくれました。参加者の約7割が小学生で、「とても楽しかった」が75%、「来年も参加したい」が80%の結果です。

また、将来の夢の質問には、13名の子が「薬 剤師」と記入してくれたのです。とても喜ば しいことです。

最後に、啓発員の先生方、薬剤師会スタッフの皆様に感謝申し上げます。これからも皆様と共に、未来ある子供たちに「薬剤師」という職業を啓発していきたいと考えています。

薬と健康のミニ講話



常務理事西川裕

私が司会を務めた「薬と健康のミニ講話」について報告します。ミニ講話は図書館の中にある交流ルームで行われました。交流ルームは、閑静な図書館の4階中央にあり、ガラス張りで遮音性の高い部屋でした。ミニ講話は3部制で、「かかりつけ薬局・薬剤師について」をそうごう薬局安里店の坂口和志氏が、「薬物の害について」を知名博樹理事が、「薬の正しい使い方について」を上原卓朗理事が、各20分程度の講話をした後、会場から質疑を受け付け各講師が応答するといった形式で行いました。

「かかりつけ・薬局薬剤師について」では、 かかりつけ薬剤師制度だけでなく、薬局での 調剤の流れや健康サポート薬局の役割につい て話がありました。「薬物の害について」では、 麻薬覚せい剤をはじめ、薬物の害、薬物乱用 と依存の危険性について話がありました。「薬 の正しい使い方について」では、用法用量を 守って服用することの大切さや、守らないと 副作用が発現してしまうことについて実験や アニメーションを使いながら話されていまし た。いずれもとても分かり易く、質疑応答の 時間では時間が足りずに講話終了後に講師に 質問する熱心な方もいました。ミニ講話への 参加者は入れ替わりもありましたが、各講義 ともに20名程の参加がありました。アンケー トは17名から回収することができ、アンケー ト結果からも講話内容に満足してもらえたよ うでした。

薬と健康の週間

街頭キャンペーン



北部地区薬剤師会 (イオン名護店前)



八重山地区薬剤師会 (サンエー石垣シティ前)

宮古地区薬剤師会

(ドン・キホーテ宮古島店前)

催·県、 会と宮古保健所は19日 にちなみ、宮古地区薬剤師 の週間(17日~23日、主県の2019年度薬と健 県薬剤師会など)

薬の適正使用を周知

宮古地区薬剤師会など 街頭キャンペーン実施



薬剤師らが買い物客に冊子を手渡して薬の正しい使い方の周知を図った =19日、市内量販店

向上に寄与することを目的 せ、県民の保健衛生の維持 適正使用を呼び掛けた。 示した冊子を配布し、 銀行宮古支店の1階ロビ 師に求める機能は大きく など専門家の役割に関する エットティッシュを配りP や保健所職員らは、 しう」と呼び掛けた。 23日まで開かれている。 の相談はかかりつけ薬局 正しく使って健康管理』 同週間のパネル展も琉球 参加した約20人の薬剤師 同週間は医薬品や薬剤師 識を広く県民に浸透さ しい使い方を周知して と書かれた横断幕を 買い物客に冊子とウ いる。利用客に薬の 『お薬 薬の

令和元年10月20日(日)宮古毎日新聞

※発行元が記事利用を許諾しています。

内の量販店で街頭キャン

知識や使用上の注意などを 薬剤師らが買い物客へ薬の

令和元年度「薬と健康の週間」行事表

月日	留船	行事名	場所	実施団体
	~23日(水)まで	パネル展示	沖縄県立図書館	沖縄県
10月17日(木)	~23日(水)まで パネル展示	パネル展示	琉球銀行 宮古支店	沖縄県
	$13:00 \sim 16:00$	全国統一薬事講習会	沖縄県薬剤師会館	沖縄県医薬品登録販売者協会
10日18日(冬)	$10:00 \sim 10:30$	薬祖祭	波上宮本殿	沖縄県薬業連合会、沖縄県
(亚) H OT [(OT	$10:30 \sim 11:30$	永年勤続表彰	波上宮本殿	沖縄県医薬品卸業協会
	$14:00 \sim 15:00$	「薬と健康の週間」街頭キャンペーン	ドン・キホーテ宮古島店	宫古地区薬剤師会、沖縄県
(工) 日61 年01	$16:00 \sim 17:00$	「薬と健康の週間」街頭キャンペーン	イオン名護店前	北部地区薬剤師会、 沖縄県薬物乱用防止協会北部支部
	$13:00 \sim 16:00$	くすりと健康フェア (健康とおくすり相談会)	沖縄県立図書館	沖縄県薬剤師会 南部地区薬剤師会
10月20日(日)	$13:00 \sim 16:00$	くすりと健康フェア (こども調剤体験・ミニ講話)	沖縄県立図書館	沖縄県、那覇市、沖縄県薬剤師会
	$11:00 \sim 12:00$	「薬と健康の週間」街頭キャンペーン	サンエー石垣シティ	八重山地区薬剤師会、沖縄県
10月21日(月)	$16:30 \sim 17:00$	沖縄県薬事功労者知事表彰式 被表彰者:玉城宏幸 (沖縄県計量検定所所長)	沖縄県保健医療部長室	沖縄県
	$15:15 \sim 15:45$	認可外保育園マスク寄贈式	沖縄県子ども生活福祉部長室	沖縄県卸業協会
10月23日(水)	$16:00 \sim 17:00$	「薬と健康の週間」街頭キャンペーン	イオン北谷店前	沖縄県医薬品登録販売者協会 沖縄県中部地区薬剤師会 薬物乱用防止協会中部支部

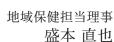
地域保健

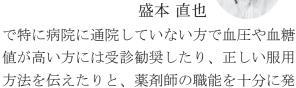
なごみ会主催 第9回県民健康フェア2019報告

日時:令和元年8月25日(日)12:00~16:00 会場:沖縄コンベンションセンター 展示場

去る8月25日は天候に恵まれ、今年も沖縄コンベンションセンターにて県民健康フェアが開催されました。会場は多くの県民の方で賑わいました。来場された方の中には健康フェアを指折り数えて待たれていた方や、遠くは北部から来られた方、毎年楽しみに来られた方もいました。回を増すごとに県民の皆様への認知度も上がり、必要とされていることも実感しつつ、その反面、身が引き締まる思いです。沖縄県薬剤師会としては会長をはじめ事務局、会員の薬剤師が県民の皆様の健康のお役に立てるようにという想いでチームー丸となって健康フェアに望めたのではないでしょうか。

健康とおくすり相談では、薬剤師が来場者 の方をエスコートしながら一つ一つ丁寧に測 定し、その測定結果をもとに説明し、その中





測定以外にも、人気の「調剤体験」「湿布の張り方コーナー」なども賑わいを見せました。今回もそうですが、県民健康フェアでは県民の皆様の健康向上と同時に、薬剤師の職能をより多くの県民にお伝えできる絶好の機会でもあります。今後とも沖縄県薬剤師会としてチームー丸となって役に立てる健康フェアにしていければと思います。

揮できた健康フェアでした。

参加された先生方、事務局の皆様、お疲れ様でした。そして、今後開かれる健康とおくすり相談会も宜しくお願いします。

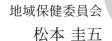


□薬剤師会ブース 健康とおくすり相談員

(敬称略・順不同)

○伊	藤	夕	紀	〇上	里	美矢	、 子	〇江	夏	京	子	○笠	原		哲
○笠	原	大	吾	○金	城	龍	男	○草	壁	瑞	恵	○楠	見	康	夫
〇古	賀		功	○坂	П	和	志	○島	袋	さり	りり	○高	木	英	子
○高	場	美	保	○中	尾	滋	久	○仲	里	すか	3子	〇長名	111	幸	司
○林		伸	嘉	○福	地	健	治	○普ヲ	三間	公	子	○眞喜	志		泉
○松	本	圭	五	○宮	城	勇	己	○宮	城	幸	枝	○村	田	美智	子
○盛	本	直	也	ΟЩ	内	崇	良	○屋	良		愛	○與	儀	明	美

<参加報告1>



今回のフェアでは新しい試みとして、子供による職業体験コーナーを各ブースで行うことになりました。糖尿病、脳梗塞、急性腰痛・捻挫、心肺停止の4つのコースからお子様が好きなコースを選んで頂いて、1コースで3ブースを回ることになりました。薬剤師会は急性腰痛、捻挫コースを柔道整復師会、鍼灸師会と連携しながら行うことになりました。

夏休み期間ということで多くのお子さんが 参加しました。まず、子供向けブースの調剤 体験をやってもらい、その後に職業体験コー ナーにて湿布の種類、特徴、貼り方、副作用 について学んでもらい、鎮痛剤の種類、胃 薬など飲み薬についても実物も含めて学ん でもらいました。

実際の体験としては、腰まであるマネキンに湿布を貼ってもらい、急性腰痛に関しては、腰への湿布の貼り方、剥がし方をやってもらいました。また、足首の捻挫への湿布の貼り方については湿布にしわが寄って剥がれ易いが、真ん中に両方切れ目を入れることでうまく関節を包み込めることを学んでもらいました。他の関節にも同様に切れ目を入れると貼り易いことを説明しました。

実際に子供たちの反応は、緊張しながらも 手際よく貼れる子もいて、良い体験ができた と喜んでもらえました。おじいちゃん、おば あちゃん、ご両親が痛めた時、また部活で自 分が痛めた時に試してほしいと伝えました。

この調剤体験、職業体験を通して将来薬剤師になりたいという子もおり、子供たちへの良い職能PRができたと感じました。薬剤師、医療人不足が続く中、職能PRを続けることで、また多職種とも連携を取りながら少しでも医療に興味を持ってもらい、これからの医療を担う人材になってほしいと感じました。

<参加報告2>



メルシー薬局かねぐすく 租儀 田美

調剤体験コーナーでは子供たちも参加ができる企画で、私と他3人の薬剤師で担当しました。調剤体験コーナーは分包機を使った一包化と実験コーナーとして、①鉄剤とお茶の飲み合わせ、②服用時の水分の摂り方を体験してもらいました。

一包化では、色付きミルクチョコレートを 錠剤にみたて異なる色で種類を分け朝昼夕の 一包化を作ってもらい、コンプライアンスの 改善や飲み間違えを防ぐ一つの方法として一 包化を知ってもらいました。また、子供たち には白衣を着用してもらいかわいい薬剤師さ んがたくさん並び、保護者が写真に収めこの 夏の楽しい想い出として残せたようでした。

実験コーナーでは、インクレミン鉄シロップとお茶のタンニンが結合し黒色の液に変わる反応を見て、相互作用で鉄の吸収が悪くなることを説明しました。続いて、カプセルと水を使用した実験で少量の水ではカプセルが粘膜に付着し易いため、内服時は多めの水分を摂る必要性を理解してもらい、さらに食道粘膜への副作用も説明した時には保護者の方の驚いた様子が印象的でした。

シンプルな調剤体験コーナーですが、服薬 指導の大切さも感じてもらえ、有意義な体験 になったのではと思います。そして、子供た ちの興味津々な瞳や感嘆の声を聞くと、こち らまでワクワクした気分になり、あっという 間に時間が過ぎて行きました。

アンケートへの回答では、将来の職業に"パン屋さん" "お医者さん" などに加え、"薬剤師さん"もあり、子供たちに将来の職業のひとつとして認識してもらえたのではないかと手応えを感じ、未来を担う子供たちにお薬や健康への関心が芽生えるよう期待し、会場を後にしました。

<参加報告3>

薬剤師会のブースでは、体組成測定、骨密 度測定、動脈硬化測定、血糖測定(HbA1c測定) 等を機器で測定したのち、データに基づき本 人への説明、相談を受けるという流れでした。

主に前半は動脈硬化測定機器担当したのですが、取り扱う薬剤師によってしっかりとした脈の触れる場所の特定ができるかによって、検査結果や進行具合がかなり左右されてしまう機器でした。私は場所の特定に集中して、なるべく再検査(エラー)が出ないようにし、来場者に対して待たせないよう努めました。機器に関してはだんだん慣れてくるのですが、測定データに関して異常値が出てしまうことが多々あるので、正直1回の測定で正確なデータが取れるとは思えませんで



した。また、時間がかかる検査のため、もう 一台測定器を増やす、もしくは事前講習会を しっかり行うことで、今まで以上に全体の流 れがスムーズに行えると思います。

私は初めての参加だったので、勝手がわからないこともありました。他の職種のブースに比べて薬剤師会のブースが非常に混んでいた印象があり、ここまで相談し易い職種なんだということに非常に驚きました。今回の体験を踏まえて今後も努力していこうと思います。

薬剤師会ブース スナップ写真



相談コーナー



体組成測定



骨密度測定



血糖測定(HbA1c測定)



動脈硬化測定



調剤体験コーナー

実務実習

令和元年度第Ⅱ期薬学生実務実習報告

実務実習第Ⅱ期は、10大学(福岡大学・長 崎国際大学・九州保健福祉大学・明治薬科大 学・名城大学・徳島文理大学・崇城大学・武 蔵野大学・愛知学院大学・神戸学院大学) か ら26名という過去最高人数の学生の受け入れ を行いました。期間は5月27日~8月11日で、 実習終了の翌週には新旧暦のお盆という絶妙 なタイミングでの実習となりました。受入薬 局は22薬局で、うち4薬局では一度に2名の 学生を受け入れて頂きました。

実習8週目の7月17日には、高校生向けの仕 事紹介事業「しごとミュージアム」に参加し、 現在薬学部で何を学び、将来薬剤師としてど のような活躍が出来るのか等、多くの高校生 に対し活き活きと紹介していた学生達の姿が 印象に残りました。

薬学生実務実習受入委員会 委員長 佐藤 雅美



実習終盤における学生達のこのような自信 に満ちた対応は、それまでの実習で指導薬剤 師をはじめスタッフの方々が学生を愛情深く 見守ってくださっているお蔭である事を感 じ、あらためて感謝する機会となりました。

1期同様2期においても、新コアカリキュラ ム実習による様々な問題点を吸い上げより良 い実務実習にするべく実習後のアンケートも お願いしているところですので、引き続きご 協力を宜しくお願い致します。

以下に、実習生の感想文と実習薬局、実習 協力機関を掲載いたします。紙面をもって御 礼に変えさせていただきます。ありがとうご ざいました。

実習薬局(22薬局)

(以下、順不同・敬称略)

- ○経塚薬局 ○古謝薬局
- ○レモン薬局 ○ひよこ薬局
- ○あかみち薬局 江洲店
- ○すこやか薬局 あげだ店
- ○すこやか薬局 知花店
- ○会営薬局うえはら

- ○つる薬局 ○うさぎ薬局 ○がねこ薬局

- ○とくりん薬局 ○アシスト薬局 ○こくら虹薬局
- ○そうごう薬局 新赤十字前店
- ○レモン薬局 美里店
- ○すこやか薬局 おもろまち店
- ○すこやか薬局 ライカム店
- ○すこやか薬局 新川店
- ○ゆい安里薬局
- ○サンキュウファーマシー うむさ店

協力施設・委員会・団体

- ○ぼたん薬局 ○まつお虹薬局 ○ミドリ薬局 美里店
- ○会営薬局医療センター前
- ○ドラッグイレブン薬局 新都心おもろまち店
- ○薬正堂(すこやか薬局グループ)

- ○すこやか薬局 野嵩店
- ○すこやか薬局 具志川店 ○(株) 琉薬

- (株) ダイコー沖縄
- (株) アトル沖縄営業部 (株) スズケン沖縄

- ○沖縄東邦(株) ○各地区薬剤師会 ○学校薬剤師部会 ○学校薬剤師の先生方

令和元年度第Ⅱ期実務実習薬学生からの体験記・感想

徳島文理大学5年 島 大樹

(すこやか薬局ライカム店 実習 指導薬剤師 金谷 智尋)

私はこの薬局実習をする前は慣れてしまえ ば大したことないだろうと思っていました。 なぜなら実習の前に大学で何度も練習してい たので、それなりの自信はありました。

しかし、実習が始まり、いざ現場へ出てみ ると、大学で練習した時とはまるで勝手が違 い、薬剤のピッキングは勿論、患者さんへの 言葉遣いや声の大きさ、話すスピードなど、 気を付けなければならないことが沢山あり難 しく感じました。一方化調剤をした際は、錠 数や日数を間違えて一からやり直すことも多 く、また、錠剤をヒートで出す時に、患者さ んが誤って誤飲しないように5剤のシートと6 剤のシートに分けて出すといった現場ならで

はの注意もあり、大変でした。

今回の薬局実習を通して、実習の現場で調 剤を行い患者さんへ服薬指導することはとて も大切な事だと分かりました。患者さんに よっては話を聴かずに帰ろうとしたり、患者 さんの質問にすぐに答えられなかったりと頭 では理解出来ていても実際の薬局現場で上手 く活かす事ができず、自分のまだまだ未熟な 部分を見つけることが出来ました。薬局で働 いている薬剤師の方々は数多くの経験を経て 働いているんだと、本当にすごいと感じまし た。これからも自分の欠点を見直しつつ立 派な薬剤師になれるよう頑張りたいと思い ます。

崇城大学5年 金城 由佳

(すこやか薬局新川店 実習

私は、すこやか薬局新川店で11週間、実習 をさせていただきました。実習前は不安と緊 張がありましたが、すこやか薬局新川店の皆 様が温かく迎えてくださり、とても充実した 薬局実習となりました。今まで調剤薬局では、 ただ薬を調剤し、渡していると思っていまし た。しかし実際には、大きい錠剤が飲みにく い患者さんには、100mg処方のお薬を50mgの2 錠で調剤したり、PTP包装シートから錠剤を 出しにくい患者さんには1錠でも分包してお 薬を渡すなど、患者さん一人一人に合わせた 調剤を行っていることに驚きました。また、 服薬指導では服薬状況や副作用についての確 認だけでなく、患者さんから体の状態や食生 活を聞き出し、それに応じたアドバイスを 行っていることに驚いたのと同時に、薬剤師 は薬識や病態だけでなく、検査値及びサプリ メント、漢方製剤についての知識も必要であ るということを実感しました。また、薬局で はカルテなどを見ることができないため、患

指導薬剤師 比嘉 朋子)

者さんの病状を知るためには処方箋やお薬手 帳、今までの薬歴から推測するだけでなく患 者さんに直接話してもらう必要があることを 知り、患者さんとのコミュニケーション能力 がとても必要であることを再認識しました。

薬局実習では、服薬指導や調剤の実習だけ でなく小児・妊婦・授乳婦・高齢者と薬の関 係性についての研修にも参加させていただ き、薬剤師として身に付けておくべき様々な ことを勉強させていただきました。また、学 校薬剤師や、在宅医療の見学、漢方実習、卸 売業者の見学といった大学ではできない貴重 な体験をさせていただき、薬剤師が活躍する 場はとても多く、やりがいのある仕事である と改めて感じました。

最後になりましたが、すこやか薬局新川店 の皆様をはじめ、実習に関わった多くの先生 方、スタッフの皆様、お忙しい中実習を受け 入れて下さりありがとうございました。

崇城大学5年 崎浜 莉未

(アシスト薬局 実習 指導薬剤師 仲宗根 辰弥)

薬剤師や医療事務がどのような業務をしているのかを見学・体験させていただき、実際に患者さんと関わることで様々な事を感じることができました。

その一つが薬剤師の責任の重さです。薬剤師は多くの疑義照会を行っていました。患者さんに処方されていた禁忌薬が疑義照会後に慎重投与薬に変更されたのを間近に見聞きした時、もし自分が薬剤師で気づかなかったとしたら、そのまま患者さんに渡り、患者さんの命が危なかったかもしれないと思いました。薬局実習を通して、患者さんの命を預かるという薬剤師の責任の重さに触れることができたと思います。その責任を担えるような薬剤師になれるように残りの学生生活で勉学に励んでいきたいです。

外部実習では、OTC薬局や漢方相談薬局、 卸の見学や学校薬剤師、在宅訪問など多く のことを体験させていただきました。特に、 OTC薬局や漢方相談薬局の担当薬剤師さんの、「医師や看護師は病気にならないと会えないが、薬剤師は病気にならなくても会うことができる医療人」という言葉が印象的で、薬剤師には、病気になる前にアドバイスし、悪化を防ぐという大事な役割があることを知ることができました。実際の現場で実習させていたいただいた中で、薬剤師も医療事務も相手の立場に立って業務を行っていることを肌で感じることができました。

薬局実習で学んだことや感じたことを病院 実習や将来に活かしていきたいと思います。 慣れないことばかりで、薬局の皆様には多く のご迷惑をおかけしたと思います。お忙しい 中、時間を割いて丁寧に教えてくださり、本 当にありがとうございました。薬局の皆様が 温かく接してくださったおかげで、楽しく充 実した11週間を過ごすことができました。あ りがとうございました。

九州保健福祉大学5年 豊元 柊弥

(アシスト薬局 実習 指導薬剤師 西田 久)

薬局実習では、患者さんとのコミュニケーションの大切さについて学んだ。大学の授業や学内実習では、薬の知識や薬局でどういうことをやるのかを学んだが、実際に現場に出てみるとそこでしか学ぶことができないこと、感じることがたくさんあった。

薬局は患者さんとの距離が近いのでコミュニケーションをしっかりとることで、患者さんの服薬状況、副作用が出ているか、今困っていることがないかを確認することができる。実際に自分が服薬指導をしてみて感じたことは、薬のことを知っていても患者さんの立場になって服薬指導をしないとうまくコミュニケーションをとることができないということ、薬の説明や、副作用の確認をするだけでなく、患者さんがどういうことで困っているのか、副作用が出たときの対処法について話したりすることが大事だと感じた。また

薬以外の話でも、食事の塩分量に気を付ける ことや、運動を少しでもやってみてください と、生活習慣の話をすることで、患者さんの 生活背景を知ることができる。薬局薬剤師は 患者さんと近い距離で話すことができるの で、コミュニケーションをしっかりとること で、医師に話しにくいことを聞き取り、それ を医師に伝えることで今処方されている薬よ りも、もっと患者さんに合った薬を選ぶこと にもつながると思うし、患者さんの心のケア をすることもできると思う。薬局は病院と違 い、病状や検査値は患者さんからしか聞くこ とができないので、コミュニケーションがと ても大事であり、それによって、患者さんの 治療に対してのモチベーションを上げること にもつながると感じた。

これから、薬剤師として働く中で、実習で 学んだことを活かしていきたいなと思う。

徳島文理大学5年 太田 佳希

(すこやか薬局あげだ店 実習 指導薬剤師 仲間 聖)

今回の実習を通して、薬剤師の業務内容を 再確認できると同時にこれからの薬剤師の在 り方や意義を学ぶことができました。ただ単 に調剤業務から服薬指導までを流れ作業のよ うに行っているのではなく、薬効や副作用の 確認から持参薬との相互作用のチェックなど を行っていると知り、多くの知識が必要とな る薬剤師の仕事に難しさと面白さを感じるこ とができました。また薬に関する知識だけで はなく、いかに薬局内で患者さんが快適に過 ごすことができるか、治療に対しての不安を 取り去ることができるかも薬剤師に求められ るスキルであると改めて実感することができ ました。

印象的だったのは在宅訪問であり、何気ない日常の会話の中からコンプライアンスの問

題や自身の病態に対する理解、副作用の懸念はないか、ご家族とのコミュニケーションはとれているかなど様々な情報を把握することに感心しました。特に、病態の変化の中から新たに必要な薬剤をピックアップし、医師に提案していた際には本気で患者さんと向き合っていて尚且つ病態と薬に関する知識量に、自身の目指す薬剤師像としての「患者を第一に思い、それに伴う知識をもつ薬剤師」を重ねることができ明確な目標を再認識することができました。

実習前は薬剤師の仕事は事務的な業務が 主になると思っていたが患者さんや薬に対し て一つ一つ神経を費やしており、とてもやりが いのある仕事だと思ったのと同時に今よりも薬 剤師になりたいという思いが強くなりました。

徳島文理大学5年 喜屋武 夏妃

(古謝薬局 実習 指導薬剤師 鈴木 直志)

私は古謝薬局さんに11週間、実務実習でお 世話になりました。今までは大学で習ったこ とや薬剤師さんからお話を聞いたことしかな かったのですが、実際に現場で薬剤師の業務 を行い本物の患者様と接することで、とても 貴重な体験をさせてもらいました。

門前のクリニックは胃腸内科で、風邪薬や胃薬、血圧や血糖の薬が主に処方されていました。投薬させていただく機会も多く、新患の方や定期的に来局されている方、体調をくずしてしまった方など、様々な患者様に服薬指導を行いました。間違った認識をしている方や、なぜ血圧を測っているのかわからないといった患者様もいて、そういった患者様に対して薬剤師の方が噛み砕いた説明や何かに例えて説明することで患者様も納得していたので、私もできるだけ理解してもらえるように努力しました。

古謝薬局さんは在宅医療にも力を入れており、私も何度か施設や個人宅に同行させていただきました。施設の方や患者様本人に日頃の体調や服薬状況を確認し指導を行っていました。医師への報告や他職種の方との連携が

大事だと学び、各々の業務に専念してもらえるように薬剤師はお薬の面でしっかり管理しサポートしていく必要性を感じました。来局が困難な患者様に直接会うことができて、在宅医療を通して接していく中で知識が広がることもわかりました。

そして、調剤では外来の患者様のピッキングや在宅の方の一包化、粉砕、軟膏などを行いました。その中で規格違いや数量間違いを何度かしてしまったので作業ごとに薬剤の規格・薬剤名・数量を確認する大事さを再認識しました。監査では様々な方法を知り、いろんな視点から見ることでミスの発見や再確認ができると学びました。

薬局実習を通して、自分に素直に正直にあること、患者様や一緒に働く方を思いやり行動すること、探求心を忘れず勉強し続けていくことなど数多くのことを学ぶことができ、地域の方々の健康を支え守っていることを実感しました。この薬局実習で得たものを病院実習や将来に活かすことのできるよう、これからも頑張っていきたいと思います。

名城大学5年 喜久山 舞

(レモン薬局 実習 指導薬剤師 平田 崇)

実習を終え、学校の講義では学べない現場での薬剤師の患者さんとの関わり方について学ぶことができました。私は、耳鼻咽頭科が門前の薬局で実習を体験しましたが、そこでは小児の患者さんも多く、親御さんが心配している場合が多いため、その時に安心してもらえるようにはどうしたら良いかを考え、適切な説明をすることが大切であると感じました。適切な説明をするためにはなく、病態についてもしっかりと知識がないと患者さんにとってもした。以前までは薬の知識をしっかりと対談ができないと実感しました。以前までは薬の知識をしっかりと対談ができると思っていたのですが、と情報を提供できると思っていたのですが、

実際には、どのような状態になっているから この薬を使っているのかということを求めて いると感じたため、病態について意識しなが ら学んで行きたいと思います。

また、調剤を行う際には、OSCEで習うような正確さも大事ですが、それに加え速さも大切であると感じました。患者さんは早く帰って休みたいと感じている方が多いと思います。そのため、正しい薬をより早く集め提供することも大切であると感じました。

今回、実習を通して学んだ事はこれからも 忘れずに勉学に励みたいと思います。また、 病院実習の中でも活かしていき更にレベル アップした薬剤師を目指していきたいと思い ます。2ヶ月半ありがとうございました。

神戸学院大学5年 知念 ほのか

(とくりん薬局 実習 指導薬剤師 兼城 崇)

薬局実習での11週間は本当にあっという間 でした。正直、薬局実習する前の薬局のイメー ジは同じ患者さんが何度も利用していて、服 薬指導も同じ人がやるというものでした。で も、実習先の薬局は耳鼻科の処方が大半で、 初診の方も多く、患者さんが次いつくるのか、 前回の服薬指導をどのようにしたかなど分か らないことが多々ありました。しかし、違う 店舗に行かせていただいた時、循環器内科が 近くにある薬局で、薬剤師さんもほぼ1人だっ たので、かかりつけのようになっていました。 両方の薬局で服薬指導もさせてもらいました が、同じ薬局でもこんなに患者さんとの距離 感や関わり方が違うのだと身をもって感じま した。また、実習先の薬局では施設の処方も 受け入れていて、施設への訪問もさせてもら いました。お薬のセットや医師の回診に参加 するなど薬剤師がどんなことをしているか分 かりました。調剤する上では、施設の患者さ んは薬の種類が多いだけでなく、経管投与や 嚥下困難も多いため、簡易懸濁や粉砕の可否なども1つ1つ調べないといけなくて大変だけど患者さんにとって大事な仕事だなと思いました。また、入社1年目の方と先輩薬剤師さんの勉強会にも参加し、学校では教えてもらえない実務に基づく話を聞かせていただきました。実習先は年齢の近い薬剤師さんも多く、患者さんともたくさん関わらせてもらいましたが、みんな優しく接してくれて楽しんで実習が出来ました。特に、沖縄の薬局実習制度は外部実習も豊富で、医薬品卸やOTC、漢方にも触れられたのがとても良かったです。

今年から企業説明会があったのも将来どこに就職したいのか、どこに重きを置いて就職するのか考える上でとてもいい経験になりました。外部実習が豊富なため、実習生同士会う機会も多く、仲良くなれたので次の病院実習も頑張れそうです。薬局実習を通して、やっぱり沖縄で実習して良かったなと沖縄が地元で良かったなと改めて感じました。

徳島文理大学5年 武富 海志

(こくら虹薬局 実習 指導薬剤師 野村 久子)

いました。

薬局実務実習、長いようで短く感じた11週間は、とても貴重な経験となりました。私のお世話になった実習先は、那覇市の古波蔵に位置する『こくら虹薬局』でした。こくら虹薬局は、1日の処方箋枚数が約300~400枚くるような薬局で、とても忙しい薬局でしたが、その分、多くの処方を経験する事ができました。この経験は、他の実習生の話を聞く限りでは、こくら虹薬局でしか経験することが出来ないと思います。そして何より、指導薬剤師をはじめ、こくら虹薬局の薬剤師や、事務員、助手の方にはとても良くしてもらい、優しく教えていただきました。ありがとうござを学ばせていただきました。ありがとうござ

薬学生になって五年目になりますが、こくら虹薬局での実習で、ようやく夢に向かって進んでいる実感が湧きました。現場の空気、提供する薬、患者さん、何をとっても新鮮で、とても充実した薬局実務実習でした。

これから病院実務実習が始まろうとしています。こくら虹薬局で学んだ事を一つでも多く活用できたらなと思います。

最後になりましたが、実務実習を受け入れてくださったこくら虹薬局、そして、学生の 実務実習に関わった沖縄県薬剤師会の皆様、 貴重な経験をさせていただきありがとうございました。

徳島文理大学5年 桃原 和樹

(あかみち薬局 実習 指導薬剤師 上間 秀子)

今回私は、あかみち薬局江洲店で11週間に わたり実務実習をさせていただき、薬局での 様々な業務を経験させていただきました。

実習の初めは、処方箋受付から調剤までの 業務を主に行いました。最初は薬の場所や商 品名を覚えるのに精一杯で調剤に時間がか かって大変でしたが、私が困っているときに 指導薬剤師の方や職員の方々がサポートして 下さったおかげで少しずつ慣れていき、ス ムーズに調剤出来るようになりました。

後半からは、少しずつ服薬指導を行うようになりました。指導薬剤師の方とロールプレイを行うなど事前に準備はしていましたが、実際に服薬指導をしてみると指導する内容と聞き取る内容だけに集中してしまって、しっかり患者さんに向き合って指導することが出来ませんでした。そこからの反省や指導薬剤師からいただいたアドバイスのおかげで患者さんの話をよく聞けたり、患者さんとの会話の中から情報を聞き取ったりなどが出来るようになりました。私が困ったときに助けて下

さった指導薬剤師の方や快く指導を受け入れて下さった患者さんにはとても感謝しています。

私が実習していたあかみち薬局さんの本店が健康サポート薬局の認定を受けており、地域に向けて様々な活動を行っていました。その中で私は動脈硬化度測定と骨密度測定などの健康相談会に参加させていただきました。生活指導の見学や実際に測定を行ったりして、お客さんへの対応や薬剤師の地域に対する活動をしっかり学ぶことが出来ました。

今回の実習では薬局での業務だけではなく、薬剤師として必要な知識を指導薬剤師の 方や医療事務の方々から丁寧に教えていただいたり、在宅への同行や卸売業者の見学、漢 方薬局での実習などの外部実習もあり11週間の中で様々なことを学べたように感じます。

最後に、あかみち薬局のスタッフの方々を 初め、外部実習先の方々などお世話になった 方々すべてに感謝いたします。この実習で学 んだことを次の病院実習や大学での勉強に活 かしていきたいと思います。

九州保健福祉大学5年 上地 徳道

(ひよこ薬局 実習 指導薬剤師 藤原 明人)

このたびは薬局実習をさせて頂きましてありがとうございました。

実習を通して薬局薬剤師は調剤や服薬指導だけでなく、患者さんの悩みや相談事などを聞き、アドバイスをすることで、地域で密接に関わる事ができるということを実感しました。そのためには、薬学や医学に関する知識が必要なのはもちろんのことですが、それ以外にも患者さんとのコミュニケーションスキルも必要でした。患者さんとコミュニケーションをとることで日常生活の様子や些細な変化にも気を配ることができると思います。

薬は命に関わるので少しの妥協も許されず、 緊張感を持ちながら扱う事が大切だと感じ、 日頃からの学ぶ姿勢や知ろうとする意識は大 切にしていこうと思いました。今回の実習を 通して、ミスをした時にその原因をしっかり 理解して次に進む事が大事だという事を学び ました。

ひよこ薬局の皆さんには丁寧に、時には厳 しく指導して頂き心から感謝しています。実 務実習をさせて頂き、本当にありがとうござ いました。

徳島文理大学5年 甲斐 美有紀

(こくら虹薬局 実習 指導薬剤師 野村 久子)

11週間の薬局実習を通して、様々なことを 学び、知識、技術、コミュニケーション能力 など実習に行く前と比べて確実にチカラをつ けることができたと思います。指導薬剤師の 野村久子先生をはじめ、こくら虹薬局の先生 方、事務のみなさんからは本当に多くの事を 教えていただき三期から始まる病院実習でも 身につけたことを十分発揮できるように頑張 りたい気持ちでいっぱいです。

この11週間、実習が始まる前は不安や緊張もありとても長い時間だと思っていましたが、実習が終わった今ではすごくあっというまに過ぎたと感じています。それは実習がとても充実しており、何より本当に多くのことを学ぶ事ができたからです。薬局実習以外に、外部実習として漢方製剤やOTCについて学ぶためドラックイレブン、医薬品の流通の仕組みについて知るため琉薬、学校薬剤師について知るために小学校と幼稚園、患者さんの担当者が集まって話し合う担当者会議、施設訪問、健康とおくすり相談会、仕事ミュージアムなどさまざまな場所へ行きました。薬局での仕事以外のことも学ぶことができ薬剤師の

必要性や、地域と関わることの大切さなど を再認識する機会となり、本当に良かった と思います。

薬局では主に調剤やピッキングをしました。調剤中に気になった薬があったら今日の治療薬や添付文書を見て勉強したり、先生方から教えて頂いたりして実際に手にとることでこんな薬だったのだと確認でき、より知識をつけることができました。

服薬指導はすごく緊張をして、いつも反省 ばかりだったのですが患者さんの症状、検査 値の値、生活面、過去の薬歴など薬局では限 られた情報しか分からないので、いかに患者 さんから話を聞いて、情報を集めるのかがと ても大切になってくると思いました。服薬指 導をしながらコミュニケーション能力はすご く重要なことだと感じ、私も身につけていき たいと思いました。

薬局実習中は毎日新しい知識を身につけて、反省をしてわからないことがあったら調べての繰り返しでした。この11週間で学んだことを学校に帰ってからも生かして国試へ向けて勉強に励みたいです。

愛知学院大学5年 比嘉 栞

(会営薬局うえはら 実習 指導薬剤師 仲真 良重)

大学で薬剤師業務を学び、OSCE対策で調剤や患者応対をやってみて、業務の難しさや大変そうだという印象はあまりなかった。しかし、現場では処方内容の適合性の有無など様々なことを考慮や判断をしながら業務1つ1つを行わなくてはならず、それが難しかった。来局者が多く一包化や散剤の調剤などが立て込むと"待ち"の処方箋が増え、忙しくなった際も先に挙げた事を行いながらミスなく業務をしなければならず、大変だった。これらの経験から現場を体験することの重要性を改めて感じることができた。

実習中特に難しかったのは患者応対だったが、そこで1番多くのことを学んだと思う。 患者背景を考えたり、応対を通して『患者は病を患いながら生活を送っている』と感じるようになり、それまで薬は薬、病は病、生活は生活、などと別個に捉えていたのを繋げてみられるようになった。服薬指導ではただ聞くだけの情報収集ではなく『自分のなかで何 を目的として質問するのかをはっきりさせたうえで応対する』ことや患者各々に適した応対技術を身につけていった。ただ、『自分の知りたい情報』にとらわれすぎて、患者さん側の知りたい・望んでいることまで掴むことができなかった。応対で大事とされる"傾聴の姿勢"が不十分であった。また質問や会話をつなげたり深く掘り下げたりする事もうまくできず、患者理解やコミュニケーション等に課題が残った。

課題は残ったものの振り返ると、実習を経て沢山の知識・技術を学ぶことができた。それらを忘れずに今後の学習に取り組みたい。 実習先の薬局では多くの診療科の処方箋や薬を扱うことができ、さらに様々な疾患の患者のことを考える機会があった。そのような所で実習ができてよかったと思う。本当に貴重な経験を積むことができた。指導薬剤師の先生方、職員の皆さん、ご指導ありがとうございました。

名城大学5年 當真 菜央

(すこやか薬局ライカム店 実習 指導薬剤師 金谷 智尋)

すこやか薬局ライカム店で11週間、実習を させてもらいました。中部徳洲会病院の門前 ということもあり、様々な疾患を抱えた患者 さんが通院されていました。

初めの頃は薬の場所が覚えられず調剤に苦戦していましたが、徐々にヒートだけでなく、散剤や水剤、一包化なども出来るようになりました。薬剤師の先生に教えてもらいながら投薬も行いましたが、はじめのうちは緊張して上手く話せなかったり、何に注意して何を説明すべきか分からず、投薬前の準備にはとても時間がかかりました。しかし、患者さんとイベントに参加したり、処方箋を解析して、この患者さんにはどんなことに注意したらいいかを考えることで、徐々に投薬をスムーズに行えるようになりました。同じような薬が処方されていても、患者さんによって抱えている疾患や問題が違うので、同じ投薬をすることなく、その為に必死に考えて調べた事や、

薬剤師の先生方に教えてもらったことはすごく印象に残りました。また、患者さんの心配事が解決して、ありがとうね~と笑顔で帰っていった時はとても嬉しかったです。薬局薬剤師のやりがいはこういったところにあるのかなと感じました。在宅も見学させてもらい、患者さんによって介入することが全く違い、それぞれに対応するためには専門的な知識が必要であることや、患者さんやご家族と信頼関係を築くことがとても大切であることが分かりました。

外部実習では、学校薬剤師の仕事を見学したり、卸見学、漢方薬局、ドラッグストア見学など、薬局・病院以外で薬剤師が活躍する現場を見せてもらえたことで、視野を広げることが出来ました。

大学の授業では学べないような事がたくさん学べた実習になりました。この経験を今後の勉強に活かして行きたいです。

九州保健福祉大学5年 照屋 ゆめか

(たいせい堂薬局首里店 実習 指導薬剤師 大塚 成一郎)

私は薬局実習が始まる前はとても不安でした。しかし、薬剤師の先生方や事務員の方々に暖かく迎えていただき、恵まれた環境の中で有意義な実習期間を過ごすことができたと思います。

薬局では調剤や服薬指導を実際に行い、検体測定や学校薬剤師の業務見学もさせていただきました。最初は基本的なミスをしてしまうことも多々ありました。しかし、調剤や服薬指導を繰り返すうちにだんだん失敗することが少なくなっていき、様々なことを考えながら日々の実習を行うことができるようになりました。例えば、調剤する前に処方せんを見てどういう疾患なのか、なぜこの薬が処方されているのかを考えたり、薬歴を見て前回と処方が変わっていればその理由を考えたり等です。

薬局の中だけではなく、外部実習や研修でも多くの学びがありました。ドラッグストアや医薬品卸売業者、在宅医療の現場など、薬局の外の仕事がどういう風に行われているの

かを知る良い機会となりました。特に印象に 残っているのは在宅医療です。大学では在宅 医療のロールプレイを行うこともありました が、外からは見えない現場なので実際の雰囲 気がどのような感じなのかはまったく分かっ ていませんでした。現場で印象に残ったのは、 薬剤師の先生と患者さん、そしてそのご家族 が楽しそうな様子で会話をしていたことで す。最初に持っていたイメージとだいぶ違っ ていたので驚きました。在宅医療は患者さん との信頼関係の上に成り立っているというこ とがよく分かりました。研修では小児や高齢 者の薬物治療における注意点など、薬局の中 だけではじっくり学べなかった内容について も深く勉強することができました。

長いようであっという間の11週間でしたが、実際に体験することによって得た学びはとても大きかったです。薬局実習で学んだことをこれからも忘れずに、誰からも信頼される薬剤師を目指して頑張りたいと思います。

崇城大学5年 永山 寧乃

(経塚薬局 実習 指導薬剤師 神田 寛之)

私は薬局実務実習に臨むにあたって、薬剤師として求められる基本的な資質を少しでも身に付けることを目標としていました。薬局での実習では実際の現場の雰囲気や患者さんに触れることでより多くを学ぶことができ、さらに、薬学実務実習における概略評価の項目をできるだけ多くできるようにしていきたいと思っていた為、できることや知識を増やせるように日々努力していきたいと考えていました。

私は11週間の実務実習において様々な貴重な経験をさせて頂き、大学での学びでは感じ取れない多くのことを学ぶことができました。実務実習において体験した事は国家試験に向けての勉強や薬剤師になったときに活かすことができると思いました。調剤をしている時に、実際に薬に触れるので、その薬がどのような病態に効くのか、重要な副作用や、禁忌は何か等を考えながら調剤することで、

とても印象深く記憶に残りました。他にも、 この薬とこの薬は一緒に処方されることが多 い等と関連づけていくととても覚えやすいと 実感しました。1番印象に残っているのは服 薬指導をしたことです。私は服薬指導の時に 緊張してしまい、聞くべき内容を準備してか ら臨んでも、上手く言葉のキャッチボールが 出来ず、コミュニケーションを取ることの 難しさを感じました。また、相手の立場に立 つこと、柔軟な対応力、様々な薬学知識の重 要性を改めて感じました。自分の知識不足や コミュニケーション能力の不足等至らないと ころを多く見つけることができ、今後のモチ ベーションに変えていける良い機会になった と思います。そして、患者さんと信頼を築き 上げることのできる薬剤師になりたいと思い ます。実習を行う中で医療従事者になるとい う意欲と責任感を高めることができました。

明治薬科大学5年 米須 文香

(つる薬局 実習 指導薬剤師 新垣 紀子)

私は、宜野湾市真栄原にあるつる薬局で 二ヶ月半実習をさせて頂きました。つる薬局 での実習では、主に薬のピッキングと服薬指 導をしました。初めて患者さんを目の前にし ての服薬指導はとても緊張しましたが、直接 お話を聞くことができる大切な時間でした。 門前が整形外科だったこともあり高齢の方が 多く、たくさんお話ししてくださる患者さん もいて、コミュニケーションの大切さを感じ ました。

学校薬剤師のお仕事も見学させて頂きました。プール開きの時期だったため、水質検査が主な仕事でしたが、その他にも騒音検査や空気検査等を行いました。調査結果が悪い時に先生方に注意喚起をするのは、学校側も忙しそうなので難しそうだなと感じました。また、高校の学校保健安全委員会にも参加させて頂きました。水質調査の結果や、健康診断の統計などについて委員会の皆さんが発表しあい、真剣に会議を行っていました。生徒の

健康のためにたくさんの方が協力しあっていることを知り感動しました。沖縄では薬剤師が少ない為、何校も学校薬剤師を兼任している方が多いと知りました。一人一人の負担も軽減され、情報を適正に管理するためにも学校薬剤師の仕事をする薬剤師が増える必要があると思い、私も将来携わっていけたらと思います。

セルフメディケーションの実践として、ドラッグストアのミドリ薬局でOTCについて学ぶ外部実習がありました。ドラッグストアで薬剤師が1番大切なのは薬を飲む期限を決めてあげること、その後の経過を聞き、必要な場合は受診勧告をすることも薬剤師の一番大切な役割だと知りました。

様々な仕事を体験させて頂き、将来どの仕事につくかを考えるいい機会となりました。 指導薬剤師である新垣先生をはじめ、つる薬 局の皆様には温かいご指導を頂き感謝しています。ありがとうございました。

九州保健福祉大学5年 佐和田 大将

(すこやか薬局おもろまち店 実習 指導薬剤師 玉村 澄恵)

処方せんを見て、処方されている薬から患者さんの病態や症状を想像する事で、薬の用法用量、効果、副作用を服薬指導時に説明しやすくなる。しかし、想像していた症状が違っていた際に適当な対応をするためには幅広い知識が必要である。また薬一つ一つにもそれぞれ特徴があり、例えば脂溶性の薬であれば食後のほうが吸収率は良いため、用法が食後になっている場合が多い。

同じ症状でも、患者さん一人一人、年齢、 性別、合併症、症状の背景が違うためそれぞ れに合わせた服薬指導が必要である。

薬で症状を抑えることはできるが完治させることはできないのではないかと思っていたが、高血圧などは放っておくと脳梗塞等に繋がる可能性があるため、そういった大きな病気になる前に予防として薬で症状を抑えているということを学んだ。

同じ薬でも用法用量や、規格の違いで適応 症が違うことがあるため患者さんにどのよう な症状があるかを再度確認することで患者さんの状態をより詳しく知ることができ、的確なアドバイスができることを学んだ。

継続処方の服薬指導では、薬の効果、用法 用量の説明よりも副作用の確認のほうが大事 である。主症状を改善できているか、薬を使っ て変わった点やほかに副作用による症状が出 ていないか確認する必要があるからである。

患者さんの症状の特徴を考えることが大切だと思った。例えば下痢がひどい症状の患者に対しては、脱水症が心配なのでこまめに水分補給を心掛けるよう指導することが大切だと考えた。

また業務は一人で行うものではなく、薬剤師の先生方や事務の方々と協力して業務を行うものだと感じた。他の人が業務をし易いように予製を作ったり、次の業務を見越して行動することで迅速かつ間違えの少ない環境が作られるのではないかと感じた。

名城大学5年 山田 泰平

(経塚薬局 実習 指導薬剤師 神田 寛之)

今回、私の実習の舞台となったのは経塚薬局でした。大学では薬学の知識を身につけてきましたが、薬局での実習は知識をどう活かすかに重点が置かれていました。私にとっては初めての経験で最初は戸惑いましたが、指導薬剤師を始め、薬局の先生やスタッフの方々が、私の緊張を解きほぐそうと、声をかけ優しく接して下さったのがとても印象に残っています。

最初の実習は調剤でした。自分で調剤した 医薬品を患者様に投薬する、そのような経験 は私にとっては初めてのことでした。大学で の実験等とは異なり、ひとつのミスが患者様 の健康に影響を与え、ひいては生命を脅かす ことになりかねないという緊張感を味わいまし た。特に実習初期では、薬の場所や調剤の要領 が分からず、先生方に助けてもらいました。

経験を重ね、調剤にも慣れてくると、逆に 規格や数量を間違えてしまうこともありまし た。集中して取り組んでいるにも拘わらず、 改めて、人間はミスを犯す生き物であり、だ からこそどんなベテランが調剤しても二重確 認が必要だと認識しました。

調剤の要領が飲み込めてきた頃、次の段階として患者様に直接応対する問診の実習をしました。ジェネリックの説明やアレルギーの質問から、服薬指導まで初めて患者様と接しました。今でも忘れられないのは、初めて患者様に薬の確認を行った時のことです。Do処方の患者様で、症状や残っている薬の確認だけ行ったのですが、とても緊張しました。

患者様の応対にも慣れてくると、服薬指導の実習も始まりました。そこでは患者様のペースに合わせ、話をよく聞き、分かりやすく説明することが重要だと感じました。患者様との距離を縮めることで、より安心感を得られることを学びました。

今回の実習では、実習生同士で協力しあって様々な困難を乗り越えることができました。そして薬剤師という職業の魅力と責任感を教えてくれた指導薬剤師の神田さんや薬局の皆様のお陰で、無事薬局実習を有意義に終えることができました。この場を借りて、心から感謝申し上げます。



オリエンテーション

福岡大学5年 大城 優衣

(がねこ薬局 実習 指導薬剤師 上間 睦美)

今回私は国立病院機構沖縄病院の門前薬局である、がねこ薬局にて11週間実習をさせて頂きました。がねこ薬局では神経内科や呼吸器内科の処方箋を多く扱っていました。普段の業務では計数調剤だけではなく一包化や粉砕、軟膏詰めなどの調剤業務をさせて頂いたり、服薬指導では種類の異なるデバイスを用いた吸入指導をする機会があったり、難病指定の患者さんも多く来局されていたので様々な症例の処方を見ることができました。

また、二週間に一回ほど在宅業務があり、 有料老人ホームの患者さんに関わりました。 そこで薬剤師は患者さんの普段の様子や服薬 の状況を自分の目で見て把握できないこと や、発語が難しい患者さんについては本人か ら話を聞くことが難しいため、施設で働いて いる他の医療従事者とコミュニケーションを とることが大切なのだと感じました。

11週間の中でOTCの販売や漢方、薬局製剤などの外部実習があり、異なるタイプの薬局での実習を行う中で、薬局の様々な在り方や、各薬局での工夫している点などを体感するこ

とができました。特に漢方実習では、生薬を 自分でパックの中に入れて調剤を行ったり、 煮出したものを飲んだりしました。実習に参 加するまでは、民間療法のようなイメージが 強かったのもあって漢方に関してあまり興味 や関心が持てなかったのですが、対症療法的 な西洋薬に対して、漢方は体質の改善を目指 すことによって健康状態の向上を目指してい く側面があると知り、視野が広がりました。

実習全体を通して、大学の講義で学んだことが実際の薬剤師の業務に繋がっていることを強く感じました。正直なところ、私は実習に参加するまでは試験をクリアするためにひたすら知識を詰め込んでいるようなところがありましたが、実際に薬剤師として働くときは薬の知識だけではなく、患者さんや他の医療従事者に分かりやすいように説明する力や、健康や衛生について情報提供できるだけの知識、そして何よりコミュニケーション能力が必要だと思いました。今回の実習で得たことや、反省を活かしてこれからの学習に邁進していきたいです。



学校薬剤師について学ぶ

武蔵野大学5年 安次嶺 栄智

(そうごう薬局新赤十字前店 実習 指導薬剤師 西川 裕)

私はそうごう薬局新赤十字病院前店にて主に実務実習を行わせていただきました。1日の処方枚数はおよそ70枚で、赤十字病院から来局する患者様が多くいらっしゃったため、幅広く多様な薬に触れ、調剤や服薬指導を行うことができました。

実務実習1ヶ月目までは、とにかく多くの薬と、その位置を把握するだけでも精一杯な日々でした。大学で学んできた調剤方法と、同様な方法で調剤を行うと時間がかかり、その後の監査・服薬指導のことを考慮すると、結果患者様を長時間待たせてしまうことを思い知りました。それに加え、一包化の機械など触れたことのない機械を扱う際に、その実感に拍車がかかっていきました。そんな中時間がかかる私に薬剤師の先生方は一緒に調剤しながら優しく教えて下さいました。店舗に迷惑をかけず、少なくとも患者様の負担にならないように迅速かつ確実に行うにはどのようにすればよいかを考えながら実習に挑む日々でした。

実務実習1ヶ月を過ぎたころから外部実習 が始まりました。外部実習では、複数の実習 先から実務実習生が集まり薬局内だけでな く、医薬品を供給する卸の会社を見学させて 頂いたり、高校生に薬剤師の職種や薬学部が どのような場所なのか知ってもらうために、 しごとミュージアムに参加するなど普段の薬 局実習とは異なる内容の実習を行うため刺激 になりました。なにより他大学から集まった 同じ沖縄出身の実習生と一緒に行うことが毎 回楽しく感じていました。

思い入れを感じる実習は多くありますが、私が一番印象的に残っている実習内容は学校薬剤師としての薬物乱用防止教室でした。学生団体の活動の一環で薬物乱用防止教室には興味を持っていたこともあり、実習先の西川先生から「せっかくの機会だから挑戦してみなよ」と背中を押していただき、挑戦させていただくことになりました。資料は西川先生が事前に用意していたものを自分なりに勉強し直し、少し手を加えたものを使用しました。発表を行うまで「ほんとにこんな内容で大丈夫だろうか」と不安でしたが、いざ発表を行うと子供たちの反応はとても良く、事後アンケートでも子供たちに伝えたかったことが伝わり、嬉しく感じました。

調剤のみを行うだけでなく、薬局の中でも 外でも学びにつながる実務実習だったと私は 感じました。今後、この経験を活かし、いつ か私も沖縄で薬剤師として活躍できるように 精進していきたいと思います。



令和元年度第2期実務実習薬学生記念撮影

薬事情報センター

全国総体南九州大会におけるアンチ・ドーピング活動報告

日 時:8月4日(日):陸上競技(県総ひやごんスタジアム:沖縄市)

8月12日 (月振替休日): なぎなた (県立武道館:那覇市)

8月18日(日):水泳・水球(奥武山公園水泳プール:那覇市)

参加者:小島 進、喜久川 有子、笠原 大吾、吉田 典子

今夏、南九州四県を中心に高校生アスリートの夏の祭典、南部九州総体2019が開催し、沖縄会場では陸上競技、水泳、サッカー、相撲、自転車競技、ウエイトリフティング、空手道、なぎなたの8競技が7月25日~8月20日まで行われました。

高校生の熱いパフォーマンスが行われる中、公認スポーツファーマシストとして県内で初めて競技会会場でのアンチ・ドーピング活動を行ったので報告します。

下記の3競技場においてそれぞれ1日間限定で、大会出場監督・選手、大会関係者(学生ボランティアスタッフも含める)ならびに選手の家族に対しアンチ・ドーピングの周知を行う事を目的として、ドーピングに関するアンケート調査を行いました。大塚製薬のサンプリング(ドリンク無償提供)ブースにて、選手、関係者など対象者に呼び掛けし、アンケートに回答していただきました。回答者にはPR用ノベルティグッズのロゴ入り巾着袋(県体協に依頼し製作したもの)を提供し、さらに必要とされる方にはJADA作成「FAIR



PRIDEガイド」も配布し、アンチ・ドーピングに関する質問には、公認スポーツファーマシストとして対応しました。

私は、8月4日(日) ひやごんスタジアムで、小島先生と一緒に、競技開始前にあたる朝9時頃から巾着袋予定枚数提供終了まで、大塚製薬の販売ブースにて、活動を行いました。強い日差しの中、風は強めで差している日傘がひっくり返ることもある天候でした。回答者の中で、選手の家族の方から、「食事、サプリ、医薬品について注意している、病院にかかる際にも医者にドーピングのことについて相談している」など、ドーピングに関心をもっていることを聞くことができました。選手、関係者の方々などと直接会話をして感じたことを今後のスポーツファーマシストの活動に行かしていきたいと思います。

今回、ご協力いただきました県体育協会及び大塚製薬に心から感謝申し上げます。



アンケート・FAIR PRIDE ガイドとノベルティグッズ



8月4日: ひやごんスタジアム (陸上競技)



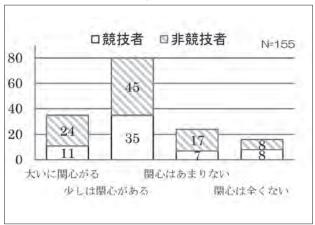
8月18日: 奥武山公園水泳プール (水泳・水球)

◎アンケート結果

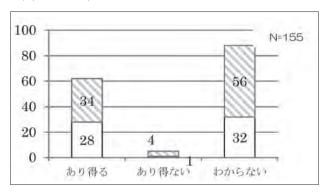
入っている?

県内3会場で155名(競技者61名、競技者以外94名)に以下のアンケートを実施した。

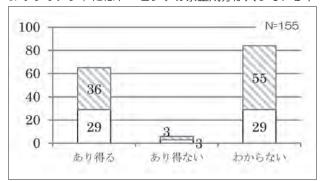
1. "ドーピング"について関心がありますか?



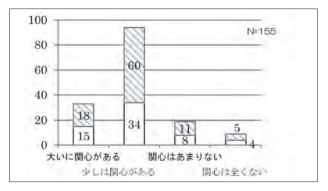
| 3. 医師から処方される薬にはドーピングの禁止成分が



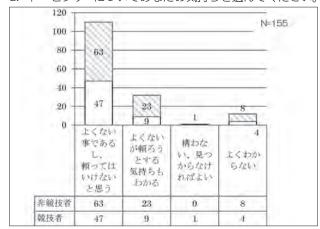
5. サプリメントにはドーピングの禁止成分が入っている?



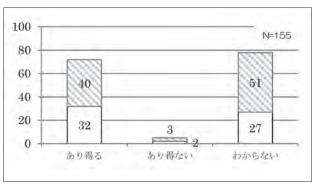
7. 今後 "アンチ・ドーピング" の講習会などがあれば、 参加したいと思いますか?



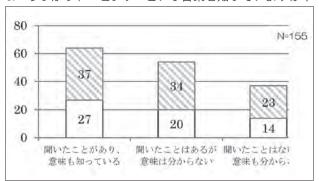
2. "ドーピング"についてあなたの気持ちを選んでください。



4. ドラッグストア等で購入できる薬にはドーピングの 禁止成分が入っている?



6. "うっかりドーピング"という言葉を知っていますか?



女性薬部会

令和元年度女性薬剤師部会主催 第28回漢方講座参加報告

日時:令和元年9月22日(日)10:00~11:30

会場:沖縄県薬剤師会館 ホール

講師:友利寬文先生(那覇市立病院消化器外科部長)

テーマ: 漢方の基礎から応用まで

<なぜ漢方を学ぶのか 漢方の基礎> 西洋医学と東洋医学

両者を合わせた補完医療。東洋医学では、がん治療は難しい。でも東洋医学を合わせることで、患者さんのがん治療の補完を行うことができる。例えば、大腸がんオペ後の大建中湯を服用することで、腸閉塞の予防になる。以前から癌のオペ後の患者さんの体調回復に漢方を併用する事は必要なことではないかと考えていました。でも、オペ後の状態は患者さん個々で異なると思います。そこで、必要なのが漢方の概念の「証」を考える事です。

今回の講演では、漢方の基礎ともいえる 「証」について、解りやすく学ぶことができま した。また、「証」のとらえ方に、中医学と 日本漢方に違いがあることがわかりました。

日本漢方では、表裏・寒熱・陰陽・虚実・ 気・血・水で診断の目安とします。中医学で は、それに加えて、五臓六腑の概念がありま す。過去に漢方の勉強会に参加した時に五臓 六腑の概念を教わった事がありますが、そこ まで考えると、漢方をかなり難しく考えてし まいがちです。今回の友利先生の講演では、 日本漢方、病名漢方治療として学ぶことがで きました。日本漢方の診断手段として、病態 把握の物差しが必要です。そのための表裏・ 寒熱・陰陽・虚実・気・血・水を学びました。 また、日本漢方では、虚実を見るとき、体格 も重視しますが、中医学では、それほど重要 ではないとのこと。日本漢方は腹診も行いま すが、中医学では、脈と問診を重要としてい る違いを知りました。

漢方診断の表裏・寒熱・陰陽・虚実・気・血・ 水の基礎を学びました。何度か証のとらえ方 については、女性薬剤師会主催の漢方講座で 拝聴していましたが、漢方の基礎については、 何度も繰り返し聞く事で、知識を新たにする ことができると感じました。表裏・寒熱・陰 陽・虚実・気・血・水の代表的な漢方につい ての講義で印象的だったのが、水毒について です。中国では、体内の水が足りない状態も 水毒として診断しますが、日本漢方では、気 候の関係で水が足りない病態は少ないとの事 でした。日本の気候は湿気が強いため、乾燥 の状態は少ないとの事、でも私個人の考えで は、最近の温暖化で日本の平均温度は上がっ ています。そのため、湿気の多い時期に1日 中、エアコンの中で生活をして、皮膚乾燥を 訴える人は増えているのではないか?と考え ます。このような皮膚症状に使用する漢方を 考えるとき、環境の変化も考慮すべきではな いでしょうか?

<漢方の応用 副作用と合方>

漢方は患者さんにとっては、長期に服用しても安全な薬として認識されていますが、漢方でも重篤な副作用があります。私達、薬剤師は安易に漢方治療を望む患者さんに対して、きちんと副作用も説明しなければいけないと思いました。

私が遭遇した漢方の副作用では、市販されている漢方でも重篤な副作用を発症した例です。市販されている漢方を1~2か月服用して、間質性肺炎を発症、呼吸困難となり、入院治療となったと患者さんから聞きました。この患者さんは知人から勧められて、漢方を服用したとのこと。きっと、証があっていなかったか、過敏症状で副作用を発症したのでしょう。

今回の講義で漢方の副作用として、代表的 な甘草を含む偽アルドステロン症・過敏症か ら発症する薬剤性肝障害や間質性肺炎以外に も注意が必要な副作用を学びました。甘草や グリチルリチンは、医薬品の添加物やスナッ ク菓子・コンビニ弁当にも入っていたり、食 品以外にもシャンプーや化粧品・入浴剤にも 入っていることを初めて知りました。1日の 上限量を超える可能性は十分考えられます。 その中で、甘草を含む漢方を服用している患 者さんの状態を把握して副作用をチェックす る必要性を感じました。

間質性肺炎で、代表的は例として、過去に 起きたインターフェロンと小柴胡湯の併用が 有名です。間質性肺炎で注意が必要な生薬は 「黄苓」であることを知りました。過去に、 柴胡剤が入った漢方が間質性肺炎を起こす生 薬と認識していたので、今回の講義で間違っ た知識を治すことができました。「黄苓」は、 肝障害にも注意が必要な生薬とのこと。心疾 患系の副作用では、「麻黄」・「附子」の生薬 に注意が必要であり、薬疹については、「桂 皮(シナモン)」「当帰」「黄苓」を含む漢方 にも注意が必要であることを学びました。

私が初めて知った副作用は、腸間膜静脈硬 化症です。3~10年の経過で慢性に進行する 疾患とのこと。山梔子(クチナシ)を含む漢 方に注意が必要とのこと。このことから、漢 方の服用年数も注意しないといけないのでは ないでしょうか?

最後に漢方の合方に注意しなければ、いけ ないことを学びました。2種類以上の漢方を 服用していると、生薬の重複に注意が必要で す。最初に日本漢方は病名診断で処方される ことを聞きました。病名だけで漢方を処方す ると、構成生薬の重複に気が付かないことが あります。基本の生薬・知っておきたい漢方 薬・合方に注意することを学びました。

1時間半の講義でしたが、基礎を振り返る 事の大切さ、漢方の副作用・合方に注意しな ければ、いけないことを学びました。今後も このような基礎を学びながら、生薬の構成・ 副作用を学ぶ機会があれば参加したいと思い ます。 (報告:ほたる薬局 日高 久美子)

お知らせ

地区・支部・部会からの原稿をお寄せ下さい!

年々、地区(支部)、部会の活動が活発化しております。 ぜひ "おきなわ薬剤師会報" へ活動・状況報告等を投稿して下さい。活動報告 以外の情報も歓迎します!

(お知らせ)

<県薬が会員に販売している印刷物等>

○薬歴カード 各1枚 5円 ○ 管理薬剤師業務日報 1年分 1冊 600円

処方せん 100 枚 1 冊 160 円

社保(本人)社保(家族) ○お薬手帳カバー 1枚 22円

○お薬手帳

薄青色 14 ページ 1 冊 12 円 薄黄色 34 ページ 1 冊 22 円

○"マシュー君"お薬手帳 1冊 22円 ※薄青色、薄黄色の2色ありますが、同内容・同頁です。

※表示価格は税抜きです。

学薬部会

令和元年度学校薬剤師学術フォーラム伝達講習会報告

日時:令和元年7月28日(日)10:00~16:20

会場:品川クリスタルスクエア

去る、7月28日(日)品川クリスタルスクエアにて「令和元年度学校薬剤師学術フォーラム」が開催されました。今回は学校環境衛生管理についてだけでなく、がん教育・認定こども園活動状況・衛生害虫からみる学校給食室の衛生管理なども盛り込まれ内容が充実していることもあり、学校薬剤師部会員へ参加を呼びかけることになりました。11月6日は那覇・浦添支部より吉田洋史先生、11月26日は中・北部支部より村上市子先生、11月30日は南部支部より平良恭子先生に、同フォーラムの伝達をしていただきました。

講話内容は5つです。

1「学校環境衛生管理マニュアルで伝えたいこと」では、文部科学省の小出彰宏氏が講話され、平成30年に一部改正した基準内容も含め、環境衛生検査を100%実施できない理由や問題点などを挙げつつ、学校環境衛生基準の考え方をきちんと理解することで全面実施に向けた取り組みができるよう努めてほしいというものでした。

II「がん教育について」では、日本学校保健会専務理事の弓倉整氏が講話され、がん教育は、①がんが身近な病気となり国民の基礎的教養として身に付けておくべきという考えと、②がん対策基本法の目標の一つに位置づけられた学校教育におけるがん教育の二つによって開始されました。教育委員会、地域切専門家、外部講師との連携を密に保ち、適切にがん教育を進めることが求められます。発育発達段階に合わせ分かり易い例を示す強調で、学習効果が高まると共に、怖さを強調さをで、学習効果が高まると共に、怖さを強調さをで、学習効果が高まると共に、怖さた強調さを主体的に考えることができるようにすることが充実した人生につながる」という積極的な

学校薬剤師部会 那覇支部長 新垣 紀子

メッセージが含まれることを念頭に置くのが 重要となるという内容でした。

Ⅲ「学校環境衛生検査で用いる測定機器」では、日本薬剤師会学校薬剤師部会幹事の木全勝彦氏が講話され、各項目の検査にかかわる機器を写真で示して、その機器の特徴などの説明をすると共に、検査項目によって、「~であること」「~であることが望ましい」などの基準に違いがあることを再確認。建築物環境衛生管理基準値において、学校環境衛生と同じ項目についての基準値は、厳しい方を遵守するとのこと。

Ⅳ「認定こども園での学校薬剤師活動を始 めてみて」では、岩手県薬剤師会学校薬剤師 部会幹事の大坪尚子氏が講話され、認定こど も園とは、教育と保育を一体的に取り入れる 仕組み、すべての子育て家庭を対象に、子育 て不安に対応した相談活動や、親子の集いの 場の提供などを実施するものとするとのこ と。幼保連携型・幼稚園型・保育所型・地方 裁量型など様々なタイプがあり、学校薬剤師 の配置が必置となっています。照度・空気・ 飲料水・プール水・給食室点検などを通して 多くの気づいた点を挙げ、これらの注意点を しっかり確認する必要性を感じているとのこ と。管理したことのない機械などに対して衛 生面や安全面をどう指導したらよいか?と思 案しつつ、今後、保護者に対して受動喫煙の 害や電子タバコについて、薬の正しい使い方 についてなどの話しをする機会を持ちたいと 考えているという内容でした。

V「衛生害虫からみる学校給食室の衛生管理」では、東京都学校薬剤師副会長の井戸久夫氏が講話され、ゴキブリは病原菌を媒介する可能性があり、学校環境衛生基準でゴキブリの生息は認められていない、毎学年1回の検査が決められています。生息する環境を調査して早期対応に心がける必要があり、侵入防止等環境対策・捕獲・薬剤など防除は組み合わせが重要であり、特に卵鞘の排除が最重要というものでした。

盛沢山の情報を90分にまとめて伝達講師いただいた吉田洋史先生、村上市子先生、平良 恭子先生ありがとうございました。今後も講 習会など呼びかけてまいりますので、部会員 皆様の積極的な参加をいただきますようよろ しくお願いします。

学校薬剤師は学校三師に位置付けされており、学校環境衛生基準に基づき学校環境の維持改善にむけて必要な指導および助言をする立場となります。学校給食法に基づく学校給食衛生管理基準においても、連携して適切な衛生管理に努めることが求められています。今一度、法令等の確認をしていただき、日頃の学校薬剤師活動に取り組んでいただきたいと思います。

卸部会

日本医薬品卸勤務薬剤師会福岡県支部令和1年度(38回)継続研修会報告

日時:令和元年12月4日(水)10:00~16:00

会場:福岡生活衛生食品会館

令和元年12月4日に福岡県で開催された研修に参加しましたので報告致します。

小倉記念病院の金井英俊副院長からはCKD についてのご講演を頂きましたが、先生ご自 身の一人でも多く透析患者さんを出したく ない、これ以上CKDの患者さんを増やしたく ないという思いが伝わる熱い講演で、私自身 も生活を見直さなければならないと身の引き 締まる思いになりました。久留米大麻酔科准 教授の山田信一先生からは神経障害性疼痛に ついてペインクリニックの役割解説等しなが ら、私達を退屈させないようジョークを交え てのご講演を頂き、非常に楽しく学ぶことが できました。またMeiji Seikaファルマの宮 里正嗣様からは卸業界でも最近話題となって いる抗菌薬についてのご講演を頂きました。 薬剤耐性菌と戦える抗菌薬を残しておくこと は私たちの大切な使命、応援しましょう!

卸薬剤師として初めて受講した研修でしたが、今後の卸薬剤師としての仕事にも生かせる非常に充実した内容で、参加させて頂いたことに感謝申し上げます。

日本医薬品卸勤務薬剤師会沖縄県支部株式会社ダイコー沖縄 藤本 千嘉子



【講演1】「糖尿病性腎症DKDの治療:北九州 の取り組みとCKD連携の強化」

一般社団法人平成紫川会 小倉記念病院 副院長 金井 英俊

慢性腎臓病 (CKD) とは、eGFR60未満の腎機能異常、蛋白尿・血尿などが3カ月以上続く状態のことをいう。難治性で、無症状・病状も緩徐に進展するため病態の進行に気付きにくいことも問題である。原因は様々だが、糖尿病 (45%)、慢性腎炎 (18%)、動脈硬化 (12%) で約8割を占めており、生活習慣病と大きく関わっている。完全治癒は困難だが進行を遅らせることは可能であるため、いかに透析に移行させず健康寿命を伸ばすかが大事であり、そのためには早期診断・早期介入が非常に重要である。

日本では1,330万人がCKDであると推定されており、成人の8人に1人に可能性がある、透

析予備軍である。透析導入患者の主要原疾患は約20年前を境に慢性糸球体腎炎を抜いて糖尿病性腎症が上回るようになった。慢性糸球体腎炎は年々減少しており、現在増加中なのは腎硬化症(動脈硬化)で、いずれは糸球体腎炎を超える予想である。

糖尿病性腎症の腎機能 (GFR) は早期腎症 (第2期) では維持されているが、顕性腎症期 (第3期) から急激に低下し透析に至る。病状 の進行具合によって手足が壊死したり、余儀 なく切断に至ることもある。糖尿病患者の場 合、末梢神経障害で指先の感覚が鈍っている ため壊死の発見も遅れることも・・・糖尿病 性腎症の早期発見には微量アルブミン尿の検 査が重要である。

久山町研究でメタボリックシンドロームの項目数(肥満、高血圧、高血糖、高脂血症)と5年間のCKD累積発症数を見ると、項目保有数が多いほど発症率は高くなる。

早期診断・早期介入のためには医療連携も非常に大切である。かかりつけ医には健診、血圧測定と体重測定をしっかりお願いしたい。そして専門医に紹介する病態基準を共有することも大事である。かかりつけ医でCKDの発症予防をし、CKDに至った場合でも早期診断でCKDの緩解・進展・合併症を抑制して透析を回避させ、100歳まで天寿を全うさせることが治療の目的である。あと50年CKD治療を頑張れば、透析導入までの期間を延長することで、透析せずに天寿を全うできる人が増えるはず!

薬物治療においてSGLT2iは糸球体の圧を減少させ腎保護作用のある非常に良い薬剤で、非糖尿病患者への効果も期待している。さらに心保護作用もあるため、心不全・腎に良い影響を与える薬剤である。腎機能低下と共に効果も減弱することが難点。今後期待される薬剤としてNrf刺激薬があり、Stage4にも使えることが期待されている。腎自体の線維化を改善させる効果があり、心臓に注意しながら使えばGFRが改善する。来年はHIF作動薬が

加わり薬物治療が大きく変化する年になるか もしれない。

最後に薬物治療・食事療法など治療はたくさんあるが、それと同じくらい運動には効果がある。生活習慣を見直し運動を取り入れること、そして血糖・血圧・脂質をコントロールしてイベントを防ぐことが健康寿命を延ばすことである。

【講演2】「抗菌薬に関わる最新のトピックス」

Meiji Seika ファルマ株式会社 医薬福岡支店 特約店部部長 宮里 正嗣

セファゾリンナトリウム原薬の出発物質のひとつであるテトラゾール酢酸(TAA)は世界で唯一、中国のTAAメーカーが製造しているが、環境規制の問題で、中国当局の指示により全世界で供給停止となった。これにより他の抗菌薬への需要が高まり、抗菌薬が次々と安定供給できない状況に陥っている。これが現在のセファゾリンショックである。

厚労省より抗菌薬の安定供給に向けた4学会の提言が発表された。抗菌薬の生産体制の 把握・公表、国内で製造可能な条件の整備、 既存の抗菌薬の薬価の見直しについて積極的 に取り組むこととした。

抗菌薬の開発ペースは激減している。新たな抗菌薬が出きても使用され始めると耐性菌との戦いが始まり、新たな画期的な抗菌薬を開発することは非常に困難である。また開発には莫大なコストと時間がかかる上に、抗菌薬は慢性疾患とは違い投与期間が短く、使用頻度が高くても企業にとっては利益を生まない薬剤である。薬価は下がる一方で、生産するだけ赤字の薬剤もあり、多くの企業は抗菌薬の開発から撤退し、新しく承認される抗菌薬がほとんど出てこない状況に陥っている。しかしMeijiは安定供給を目指して、撤退をせず頑張っている!

薬剤耐性化をいかに抑制し、現在ある抗菌薬を長く使えるようにすることが大切である。国も対策に踏み込み、2016年「薬剤耐性

(AMR) 対策アクションプラン 2016-2020」を 策定した。①普及啓発・教育、②動向調査・ 監視、③感染予防・管理、④抗微生物薬の適 正使用、⑤研究開発・創薬、⑥国際協力、を 柱としている。成果指標として、医療におけ る抗菌薬の使用量を減らすこと、主な微生物 の薬剤耐性率を下げることに関する数値目標 が設定されている。

この数値目標を達成するため2017年には厚 労省が「抗微生物薬適正使用の手引き」を策 定。急性気道感染症、いわゆる風邪の原因の 9割はウイルスであるため、抗菌薬は使用し ない。溶連菌のように細菌感染が特定され たものに抗菌薬の投与を推奨する。(詳しく は急性気道感染症の診断及び治療の手順を参 照)急性下痢症に関しても水分摂取を中心と した対症療法が基本となる。重症例又は海外 渡航歴のある帰国者の急性下痢症である場 合を除いて抗菌薬投与は推奨されない。(詳 しくは急性下痢症の診断及び治療の手順を 参照)

抗菌薬の適正使用として、薬物血中濃度をベースに薬物体内動態と各薬剤の特徴から適切な用法用量を考えるPK-PD理論が、現在でも抗菌薬適正使用の根幹となっている。

Meijiは今後も感染症治療の重要な役割を 果たすべく、安定供給を目指すとのこと。

【講演3】「神経障害性疼痛薬物治療の動向 ~令和から始める新しい治療~」

久留米大学医学部医学科麻酔学講座 准教授 山田 信一

ペインクリニックとは痛み症状を専門的か つ総合的に治療を行う場である。麻酔科医は 手術の時に痛み感覚を感じさせないようにし て、生体を守る技術を持っている。この知識 や技術が色々な痛み症状の治療に役立つので ある。

まず痛みとは?身体の問題か心の問題か、 どちらかである。大勢の人がどこかで、痛み の原因が精神的な問題であると聞くと、あの 人嘘を言ってるのではないか?ちょっと大げ さなだけではないか?と思いがちだが、痛みとはいつも主観であり客観的に比較できるものではない。痛みとは情動である。たとえば、パワハラ上司からのビンタは痛いが、自分の好きなかわいいアイドルから愛のあるビンタは痛くない?!つまり、本人が不快でないものは痛みではなく、痛みは情動体験でもあるのだ。

ペインクリニックでは痛みの原因を考えることが非常に重要である。神経障害性疼痛は命に直結しない疾患であり、しかしQOLが低い疾患である。その要因として検査に異常がない、機能性疼痛疾患の診断まで進まない等で、適切な治療を受けることができない人が多いのである。(異常がないからそれで終わりの流れ)ペインクリニックではなぜこの人は来院してきたのか?を「考える」ことが重要であり、問診は非常に重要な情報源である。

神経障害性疼痛には皮膚分節 (デルマトーム) が重要であり、痛みや感覚鈍麻がデルマトームに沿っているなら神経障害性疼痛を疑う。

慢性疼痛には診断名が様々である。疼痛性障害、身体症状症、筋膜性疼痛、うつ病、線維筋痛症等、診療科により診断名が様々あるが、実は診断名は重要ではなく治療方針は診断名が異なっても同じである。

神経障害性疼痛薬物療法ガイドライン2016に沿った薬物治療を行う。専門医でないとNSAIDsを漫然と投与してしまう例をみるが、炎症のない神経障害による痛みに効果はない、長期的には消化管障害、腎機能障害、心血管障害などの合併症の危険性が高まるので、薬剤選択は重要である。また、安易にオピオイド鎮痛薬を使うべきではない。(使って良くなった人がいない・・・)最近では安全面を考慮してミオガバリン低用量から始めることが多い。忍容性のある薬剤を使用して患者の日常生活動作(ADL)の向上を目指す。

最後に、薬物療法だけでは治療はできない、詳細な問診と診察を行う、求められるのはcureよりもcareである。

青年部会

令和元年度第14回青年薬剤師部会総会・情報交換会報告

日時:令和元年9月7日(土)19:00~22:00

会場:Resort dining. Poco a Poco おもろまち店

<式次第>

1. あいさつ

司会 青年薬剤師部会 会 計 座 覇 里 奈

沖縄県薬剤師会 会 長 亀 谷 浩 昌

青年薬剤師部会 部会長 上 原 卓 朗

2. 議題

第1号 平成30年度事業報告並びに決算報告 青年薬剤師部会 書 記 宮 城 勇

第2号 令和元年度事業計画

第3号 役員選出について

青年薬剤師部会 書 記 宮 城 勇 己 青年薬剤師部会 書 記 宮 城 勇 己

有年楽剤即部会 · 書 · 記 · 呂 · 璈 · 男 · □

青年薬剤師部会 部会長 上 原 卓 朗

3. 閉会の辞 青年薬剤師部会 副部会長 名 嘉 紀 勝・西 川 裕

去る9月7日に沖縄県青年部会総会ならびに 情報交換会がResort dining. Poco a Poco お もろまち店で行われましたので、ご報告致し ます。

まず、始めに行われた青年薬剤師部会の総会では、平成30年度事業報告並びに決算報告が行われ、令和元年事業計画が承認されました。また、今回新役員の選出も行われ副会長交代と新たに新役員が加わり、新体制でのスタートになりました。

情報交換会では多くの若手薬剤師が、参加 して頂いた先輩薬剤師の先生方へ質問してい



青年薬剤師部会 副部会長 宮城 勇己

た姿が印象的でした。これからの世代を担う 薬剤師にとって非常に参考になったのではないかと個人的には感じております。来年は第 81回九州山口薬学大会が沖縄県で開催されます。若手薬剤師が日頃の研究成果を発表する 絶好の機会となります。青年薬剤師部会として、学術大会を成功に導くため若手会員の 期待に沿えるよう頑張っていく所存であります。

最後に、今回の総会において副部長に就任いたしました。新役員として部会長に上原卓郎先生、副会長に西川裕先生、書記に枡井 亮太先生、会計に座覇里奈先生と新体制で部 会の運営を担います。前副部会長の名嘉紀勝 先生、石川恵一先生には監事として運営を見守ってもらう事になりました。

新執行部では、青年部としての役割を明確にし、会員の皆様方の期待に沿えるよう、より一層努力して参ります。今後とも青年部会の活動にご協力くださいますようお願い申し上げます。

月例相談会

第175回健康とおくすり相談会報告

日時:令和元年11月10日(日)11:00~16:00

場所:沖縄セルラーパーク那覇

担当:那覇地区薬剤師会

そうごう薬局 新赤十字前店 槇原 真紀

沖縄セルラーパーク那覇で行われた、那覇 健康フェア「健康とおくすり相談会」に参加 いたしましたのでご報告いたします。

那覇市で毎年1回開催されている健康フェアで、他の医療機関や栄養士会など、健康に関わる機関が複数参加し、割り当てられたブースにて各々の特性を生かした取り組みを行っています。今年の薬剤師会の活動内容は、血圧脈波検査装置による動脈硬化度・血管年齢測定、体組成分析装置を用いた筋肉量・脂肪量・ミネラル量などの測定、測定結果のフィードバック及び薬の服用状況・食生活・運動習慣・普段の生活習慣に対するアンケート結果に基づく健康相談の実施でした。

今回の参加は数年ぶりでしたが、以前と同様に参加市民の方が非常に多く、準備の段階からブースをのぞき込み測定を希望される方がいらっしゃいました。測定、相談に来られた方のほとんどが今後の健康状態を心配されており、測定結果があまり良くなかった方からは「何がいけないのか?どうしたら改善できるのか?」などの相談を受け、アンケートをもとに話を伺って改善方法のアドバイスを



☑健康とおくすり相談会相談員

行い、一緒に何が出来るのかを考えさせていただきました。また測定結果が良かった方からは「これを維持していくには何に気を付ければ良いのか?」などの相談を受け、今実施されている運動習慣や食生活の良い点を継続することに加え、気を付けていって欲しい点などをアドバイスさせて頂きました。なかには「今日言われたことに気を付けてみてまた半年後とかに測定してみたいけど、測定できる所はあるの?」と質問される方もいらっしゃり、ショッピングモールなどで年に数回こういった測定と相談会を実施している事をお伝えしました。

今回相談員の数が少なく、待ち時間が長かったにも関わらず多くの方から「ありがとう」「来れて良かった」などの温かいお言葉をいただき、こういった場を望んでいる方が多くいらっしゃることを実感いたしました。

当日朝早くから準備をし、ずっと測定を 行っていただいたスタッフの皆さま、ご一緒 に参加された先生方、有難うございました。 また大変お疲れ様でした。今後また参加させ ていただく際は宜しくお願いいたします。



写真提供:那覇地区薬剤師会

(敬称略・順不同)

○吉田 洋史 ○渡具知 一枝 ○槇原 真紀 ○仲宗根 かおり ○金城 昭子

あまくま薬立つ情報

→ 健康とおくすり相談会

健康とおくすり相談会は、県内各地(離島も含む)の公共の施設や広場、デパート、ショッピングセンターにおいて、毎月開催!薬剤師がアドバイザーとして、直接、お薬や健康について無料で相談に応じています。また、相談会場では体成分測定機や動脈硬化度チェックなどの機器も備え、皆様の健康維持に役立つように取り組んでいます。(会場によっては、測定機器の内容が変わることがあります。)

開催日時や会場、相談会内容などについて、お気軽にお問い合わせください。

電 話 098-963-8930

→ おくすり相談室

県民の皆様からのお薬に関する疑問、質問にお答えしています。お気軽にご相談ください。 (薬局・薬店で販売されているお薬や調剤されたお薬についてのご相談など)

電 話 098-963-8935

→ 試験検査センター

試験検査センターでは、薬事法施行規則第12条第1項に関する試験検査機関の登録機関 として、医薬品等の検査を行っています。

薬局で調剤されたお薬について検査を行いたい時にご相談をお受けします。(検査の際は、 調剤した薬局やその他の機関への協力を仰ぐことがあります。)

なお、当センター施設設備では対応が難しい場合がありますのでご了承下さい。

電話 098-963-8934 e-mail siken@okiyaku.or.jp

→ 蒸局情報・その他

沖縄県薬剤師会から県内の「薬局マップ」が得られます。禁煙サポート薬局や訪問服薬指導実施(在宅支援)薬局などの薬局情報もお知らせします。ぜひ、あなたの "かかりつけ薬局" をおもちになってください。(詳細は沖縄県薬剤師会ホームページを閲覧ください。)

沖縄県薬剤師会ホームページでは、「沖縄の薬草」や「サプリメント」などの情報も随時アップ <ホームページアドレス http://www.okiyaku.or.jp>

薬事情報おきなわ No.257

2019年 11-12月号 : Vol.34 No.5

薬事情報センター TEL:098-963-8931

FAX: 098-963-8937

薬価基準追補収載品目

●新医薬品 2019年11月19日付

	●新医薬品 2019年11月19日付								
区分	販売名 ()内は識別コードまたは製剤表示	規格単位	薬価	会社名	成分名:適応症•効能効果				
	エクフィナ錠 (エクフィナ)	50mg1錠	963.90	MeijiSeikaファル マ	サフィナミドメシル酸塩:パーキンソン病治療剤(レボドパ含有製剤で治療中のパーキンソン病におけるwearing off現象の改善)(新有効成分)				
	トリンテリックス錠10mg (@114/10)	10mg1錠	168.90	武田薬品工業	ボルチオキセチン臭化水素酸塩:セロトニン再取り込み阻害・セロトニン受容体調節剤(うつ病・うつ状態)(新有効成分)				
	トリンテリックス錠20mg (@115/20)	20mg1錠	253.40						
	コララン錠2.5mg (コララン2.5/コララン2.5)	2.5mg1錠	82.90	小野薬品工業	イバブラジン塩酸塩:HCNチャネル遮断薬(洞調律かつ投 与開始時の安静時心拍数が75回/分以上の慢性心不全た だし、β 遮断薬を含む慢性腎不全の標準的な治療を受け				
	コララン錠5mg (コララン5/コララン5)	5mg1錠	145.40		たし、F 歴朝業を占む慢性胃不主の標準的な石族を支げている患者に限る) (新有効成分)				
	コララン錠7.5mg (コララン7.5/コララン7.5)	7.5mg1錠	201.90						
内	エベレング錠20mg (@602)	20mg1錠	387.40		ロキサデュスタット: 抗HIF-PH阻害薬 腎性貧血治療薬(透析施工中の腎性貧血)(新有効成分)				
用	エベレング錠50mg (@605)	50mg1錠	819.20	アステラス製 薬					
薬	エベレング錠100mg (@610)	100mg1錠	1,443.50						
	ベネクレクスタ錠10mg (10/V)	10mg1錠	874.60	-	ベネトクラクス:抗悪性腫瘍剤/BCL-2阻害剤(再発叉は難治性の慢性リンパ性白血病(小リンパ球性リンパ腫を含む))(新有効成分)				
	ベネクレクスタ錠50mg (50/V)	50mg1錠	3,964.50						
	ベネクレクスタ錠100mg (100/V)	100mg1錠	7,601.10						
	ラスビック錠75mg (ラスビック)	75mgl錠	361.40	杏林製薬	ラスクフロキサシン塩酸塩:キノロン系経口抗菌剤(〈適応菌種〉本剤に感性のブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌、モラクセラ(ブタンメハラ)・カタラーリス、クレブシエラ属、エンテロバクター属、インフルエンザ菌、レジオネラ・ニューモフィラ、プレボテラ属、肺炎マイコプラズマ(マイコプラズマ・ニューモニエ)〈適応症〉咽頭・喉頭炎、扁桃炎(扁桃周囲炎、扁桃周囲腫瘍を含む)、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、中耳炎、副鼻腔炎)(新有効成分)				
	フィアスプ注フレックスタッチ	300単位1キット	1,918		インスリンアスバルト(遺伝子組換え):超速攻インスリンア ナログ注射液(インスリン療法が適応となる糖尿病)(新剤形)				
	フィアスプ注ペンフィル	300単位1筒	1,338	ノボノルディス クファーマ					
	フィアスプ注100単位/mL	100単位1mLバイ アル	334						
注 	ブリニューラ脳室内注射液150mg	150mg5mL1瓶	1,327.645	BioMarin Pharmaceutica 1 Japan	セルリポナーゼアルファ(遺伝子組換え): セロイドリポフスチン症2型治療剤(セロイドリポフスチン症2型)(新有効成分)				
射 	クリースビータ皮下注10mg	10mg1mL1瓶	304,818		プロスマブ(遺伝子組換え):ヒト型抗FGF23モノクロナー 抗体(FGF23関連低リン血症性くる病・骨軟化症)(新有効				
薬	クリースビータ皮下注20mg	20mg1mL1瓶	608,282	協和キリン	成分)				
	クリースビータ皮下注30mg	30mg1mL1瓶	911,812						
	ポートラーザ点滴静注液800mg	800mg50mL1瓶	238,706	日本化薬	ネシツムマブ(遺伝子組換え):抗悪性腫瘍剤 ヒト型抗 EGFRモノクロナール抗体(切除不能な進行・再発の扁平上 皮非小細胞肺癌)(新有効成分)				

区分	販売名 ()内は識別コードまたは製剤表示	規格単位	薬価	会社名	成分名∶適応症・効能効果
	イスパロクト静注用500	500国際単位1瓶 (溶解液付)	67,436		ツロクトコグ アルファ ペゴル(遺伝子組換え):ペグ化遺伝子組換え血液凝固第VIII因子製剤(血液凝固第VIII因子欠乏患者における出血傾向の抑制)(新有効成分)
	イスパロクト静注用1000	1,000国際単位 1瓶(溶解液付)	124,632		
	イスパロクト静注用1500	1,500国際単位 1瓶(溶解液付)	178,510	ノボノルディス クファーマ	
	イスパロクト静注用2000	2,000国際単位 1瓶(溶解液付)	230,339		
	イスパロクト静注用3000	3,000国際単位 1瓶(溶解液付)	329,913		
	ハルロピテープ8mg	8mg1枚	404.90		ロピニロール塩酸塩経皮吸収型製剤:経皮吸収型ドパミン 作動性パーキンソン病治療剤(パーキンソン病)(新投与経 路)
	ハルロピテープ16mg	16mg1枚	623.00		<i>µ</i> П/
	ハルロピテープ24mg	24mg1枚	801.50	久光製薬	
外	ハルロピテープ32mg	32mg1枚	958.40		
用	ハルロピテープ40mg	40mg1枚	1,101.00		
薬	アイベータ配合点眼液	1mL	456.00	千寿製薬	プリモニジン酒石酸塩・チモロールマレイン酸塩配合点眼液:抗α2作動薬/β遮断薬配合剤緑内障・高眼圧症治療剤(次の疾患で、他の緑内障治療薬が効果不十分な場合:緑内障、高眼圧症)(新医療用配合剤)
	リティンパ耳科用250 μ gセット	1セット	32,691.30	ノーベル ファーマ	トラフェルミン(遺伝子組換え): 鼓膜穿孔治療剤(鼓膜穿孔)(新投与経路)

●報告品目・新キット製品 2019年11月27日付

区	販売名	規格単位	薬価	会社名	成分名:適応症・効能効果
分	()内は識別コードまたは製剤表示	况借单位	栄温	云仙石	
	サムスカOD錠7.5mg (サムスカOD/7.5)	7.5mg1錠	1,298.50		トルバプタン製剤:抗V2-受容体拮抗薬(・ループ利尿薬等の他の利尿薬で効果不十分な心不全における体液貯留・ループ利尿薬等の他の利尿薬で効果不十分な肝硬変における体液貯留・腎容積が既に増大しており、かつ、腎容積の増大速度が速い常染色体優性多発性のう胞腎の進行抑制)(再審査期間中の剤形追加)
内用	サムスカOD錠15mg (サムスカOD15)	15mg1錠	1,975.40	大塚製薬	トルバプタン製剤:抗V2-受容体拮抗薬(・ループ利尿薬等の他の利尿薬で効果不十分な心不全における体液貯留・腎容積が既に増大しており、かつ、腎容積の増大速度が速い常染色体優性多発性のう胞腎の進行抑制)(再審査期間中の剤形追加)
薬	サムスカOD錠30mg (サムスカOD30)	30mg1錠	2,999.90		トルパプタン製剤:抗V2-受容体拮抗薬(・腎容積が既に増大しており、かつ、腎容積の増大速度が速い常染色体優性多発性のう胞腎の進行抑制)(再審査期間中の剤形追加)
	ザファテック錠25mg (ザファテックザファテック25)	25mg1錠	278.40	武田薬品工業	トレラグリプチンコハク酸塩:持続性選択的DPP-4阻害剤(2型糖尿病)(再審査期間中の規格追加)
	ジカディア錠150mg (NVR/ZY1)	150mg1錠	6,413.60	ノバルティス ファーマ	セリニチブ:抗悪性腫瘍剤/チロシンキナーゼ阻害剤(ALK 融合遺伝子陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌)(再審査期間中の剤形追加)
	テリボン皮下注28.2 μgオートインジェ クター	28.2 μ g1キット	6,018	旭化成ファー マ	テリペラチド酢酸塩:骨粗鬆症治療剤(骨折の危険性の高い骨粗鬆症)(新用量、新キット製品)
注	テリパラチドBS皮下注キット600μg「モ チダ」	600 μ g1キット	26,491	持田製薬	テリペラチド(遺伝子組換え)[テリペラチド後続1]:骨粗鬆症治療剤(骨折の危険性の高い骨粗鬆症)(バイオ後続品)
射薬	エタネルセプトBS皮下注10mgシリン ジ1.0mL「日医工」	10mg1mL1筒	3,509	共和薬品工業	エタネルセプト(遺伝子組換え)[エタネルセプト後続2]: 完全ヒト型可溶性TNF α /LT α レセプター製剤(既存治療で効果不十分な下記疾患 関節リウマチ(関節の構造的損
	エタネルセプトBS皮下注25mgシリンジ0.5mL「日医工」	2.5mg0.5mL1筒	8,675		傷の防止を含む) 多関節に活動性を有する若年性特発性関節炎) (バイオ後続品)

区分	販売名 ()内は識別コードまたは製剤表示	規格単位	薬価	会社名	成分名:適応症•効能効果	
	エタネルセプトBS皮下注50mgシリン ジ1.0mL「日医工」	50mg1mL1筒	17,109		エタネルセプト(遺伝子組換え)[エタネルセプト後続2]: 完全ヒト型可溶性TNF α /LT α レセプター製剤(既存治療 で効果不十分な関節リウマチ(関節の構造的損傷の防止を	
	エタネルセプトBS皮下注50mgペン1.0 mL「日医工」	50mg1.0mL1キット	17,246	共和薬品工業	含む))(バイオ後続品)	
	ダルベポエチンアルファBS注5μgシリンジ「JCR」	5μg0.5mL1筒	826		ダルベポエチンアルファ(遺伝子組換え)[ダルボポエチンアルファ後続1]:持続型赤血球造血刺激因子製剤(腎性貧血)(バイオ後続品)	
	ダルベポエチンアルファBS注10μgシ リンジ「JCR」	10μg0.5mL1筒	1,459			
	ダルベポエチンアルファBS注15μgシ リンジ「JCR」	15 μ g0.5mL1筒	2,032			
	ダルベポエチンアルファBS注20μgシ リンジ「JCR」	20 μ g0.5mL1筒	2,573			
	ダルベポエチンアルファBS注30μgシ リンジ「JCR」	30 μ g0.5mL1筒	3,586	JCRファーマ		
	ダルベポエチンアルファBS注40μgシ リンジ「JCR」	40μg0.5mL1筒	4,539			
	ダルベポエチンアルファBS注60μgシ リンジ「JCR」	60 μ g0.5mL1筒	6,327			
	ダルベポエチンアルファBS注120μg シリンジ「JCR」	120μg0.5mL1筒	11,162			
	ダルベポエチンアルファBS注180μg シリンジ「JCR」	180μg0.5mL1筒	15,560			
	ダルベポエチンアルファBS注5μgシリ ンジ「三和」	5μg0.5mL1筒	826	三和化学研究 所	ダルベポエチンアルファ(遺伝子組換え)[ダルボポエチンアルファ後続2]:持続型赤血球造血刺激因子製剤(腎性貧血)(バイオ後続品)	
射	ダルベポエチンアルファBS注10 μ gシ リンジ「三和」	10μg0.5mL1筒	1,459			
	ダルベポエチンアルファBS注15μgシ リンジ「三和」	15μg0.5mL1筒	2,032			
薬	ダルベポエチンアルファBS注20μgシ リンジ「三和」	20μg0.5mL1筒	2,573			
	ダルベポエチンアルファBS注30 μ gシ リンジ「三和」	30μg0.5mL1筒	3,586			
	ダルベポエチンアルファBS注40 μ gシ リンジ「三和」	40μg0.5mL1筒	4,539			
	ダルベポエチンアルファBS注60 μ gシ リンジ「三和」	60μg0.5mL1筒	6,327			
	ダルベポエチンアルファBS注120μg シリンジ「三和」	120μg0.5mL1筒	11,162			
	ダルベポエチンアルファBS注180μg シリンジ「三和」	180μg0.5mL1筒	15,560			
	ダルベポエチンアルファBS注5μgシリンジ「MYL」	5μg0.5mL1筒	826	マイランEPD	ダルベポエチンアルファ(遺伝子組換え)[ダルボポエチン アルファ後続3]:持続型赤血球造血刺激因子製剤(腎性 貧血)(バイオ後続品)	
	ダルベポエチンアルファBS注10μgシ リンジ「MYL」	10μg0.5mL1筒	1,459			
	ダルベポエチンアルファBS注15μgシ リンジ「MYL」	15μg0.5mL1筒	2,032			
	ダルベポエチンアルファBS注20μgシ リンジ「MYL」	20μg0.5mL1筒	2,573			
	ダルベポエチンアルファBS注30μgシ リンジ「MYL」	30μg0.5mL1筒	3,586			
	ダルベポエチンアルファBS注40μgシ リンジ「MYL」	40μg0.5mL1筒	4,539			

区分	販売名 ()内は識別コードまたは製剤表示	規格単位	薬価	会社名	成分名:適応症・効能効果
	ダルベポエチンアルファBS注60 μgシ リン「MYL」	60μg0.5mL1筒	6,327		ダルベポエチンアルファ(遺伝子組換え)[ダルボポエチンアルファ後続3]:持続型赤血球造血刺激因子製剤(腎性
	ダルベポエチンアルファBS注120μg シリンジ「MYL」	120μg0.5mL1筒	11,162	マイランEPD	貧血) (バイオ後続品)
	ダルベポエチンアルファBS注180μg シリンジ「MYL」	180μg0.5mL1筒	15,560		
	テセントリク点滴静注840mg	840mg14mL1筒	448,853	中外製薬	アテゾリズマブ(遺伝子組換え)注:抗悪性腫瘍剤/抗PD- L1ピト化モノクロナール抗体(PD-L1陽性のホルモン受容体 陰性かつHER2陰性の手術不能叉は再発乳癌)(新効能、 新用量、再審査期間中の規格追加)
	ベバシズマブBS点滴静注100mg「ファ イザー」	100mg4mL1瓶	26,492		ベバシズマブ(遺伝子組換え)[ベマシズマブ後続1]:抗悪 性腫瘍剤/抗VEGFヒト化モノクロナール抗体(治癒切除不
	ベバシズマブBS点滴静注400mg「ファ イザー」	400mg16mL1瓶	100,885	ファイザー	能な進行・再発の結腸・直腸癌)(バイオ後続品)
	ベバシズマブBS点滴静注100mg「第 一三共」	100mg4mL1瓶	26,492	第一三共	ベバシズマブ(遺伝子組換え)[ベマシズマブ後続2]: 抗悪性腫瘍剤/抗VEGFとト化モノクロナール抗体(治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌) (バイオ後続品)
注	ベバシズマブBS点滴静注400mg「第 一三共」	400mg16mL1瓶	100,885		用とない。1、日子光・ノ州市物・1旦7物(電子)(ハイス)を初に印)
射	リツキシマブBS点滴静注100mg「ファイザー」	100mg10mL1瓶	21,247		リッキシマブ(遺伝子組換え)[リッキシマブ後続2]:抗 CD20モノクロナール抗体・CD20陽性のB細胞性非ホジキ ンリンパ腫・免疫抑制状態下のCD20陽性のB細胞性リン
薬	リツキシマブBS点滴静注500mg「ファイザー」	500mg50mL1瓶	104,404	ファイザー	パ増殖性疾患・多発血管炎性肉芽腫症、顕微鏡的多発血管炎)(バイオ後続品)
*	アドベイト静注用キット250	250国際単位1キット(溶解液付)	22,431		ルリオクトコグアルファ(遺伝子組換え):遺伝子組換え血 液凝固第1 ¹¹ 四因子製剤(血液凝固第1 ¹¹ 四日子欠乏患者に対 し、血漿中の血液凝固第1 ¹¹ 1四子を補い、その出血傾向を
	アドベイト静注用キット500	500国際単位1キット(溶解液付)	41,553		抑制する)(新キット製品)
	アドベイト静注用キット1000	1,000国際単位1 キット(溶解液付)	76,977	シャイアー・	
	アドベイト静注用キット1500	1,500国際単位1 キット(溶解液付)	110,405	ジャパン	
	アドベイト静注用キット2000	2,000国際単位1 キット(溶解液付)	142,600		
	アドベイト静注用キット3000	3,000国際単位1 キット(溶解液付)	204,526		
	イデルビオン静注3500	3,500国際単位1瓶 (溶解液付)	1,190,087	CSLベーリング	アルブトレペノナコグアルファ(遺伝子組換え):遺伝子組換え血液凝固第IX因子アルブミン配合タンパク質製剤(血液凝固第IX因子欠乏患者における出血傾向の抑制)(再審査期間中の規格追加)
	アレジオンLX点眼液0.1%	0.1%1mL	712.60	参天製薬	エピナスチン塩酸塩:抗アレルギー点眼剤(アレルギー性 結膜炎) (新用量)
ы	ラフェンタテープ1.38mg	1.38mg1枚	1,222.80		フェンタニル:経皮吸収型 持続性がん疼痛治療剤(非オピオイド鎮痛剤及び弱オピオイド鎮痛剤で治療困難な下記疾
外 用	ラフェンタテープ2.75mg	2.75mg1枚	2,260.80		患における鎮痛(ただし、他のオピオイド鎮痛剤から切り替えて使用する場合に限る)中等度から高度の疼痛を伴う各種がん)(新剤形)
薬	ラフェンタテープ5.5mg	5.5mg1枚	4,201.90	日本臓器製薬	
	ラフェンタテープ8.25mg	8.25mg1枚	5,855.10		
	ラフェンタテープ11mg	11mg1枚	7,883.80		

^{*}識別記号の「@」は製薬会社のマークの代用としています。



●ヒヤリ・ハット8万件-疑義照会6割超~日本医療機 能評価機構(薬事日報 10月2日)

日本医療機能評価機構は、2018年の薬局ヒヤリ・ハット事例をまとめた。薬局における報告件数は7万9973件。うち、疑義照会関連が5万1030件。いずれも過去最多。調剤関連は2万8715件(全体の35.9%)だった。内訳は、薬剤取り違えが6342件、数量間違いが6124件、規格・剤形間違いが6024件の順に多かった。一方、疑義照会関連は5万1030件(63.8%)に伸びた。疑義照会関連が大幅に増加した理由として、薬剤師の安全に対する意識が高まっていることや18年度調剤報酬改定での地域支援体制加算の新設などを挙げている。

●薬局の業務支援にRWD-薬歴をエビデンス創出に活用(薬事日報10月25日)

名城大学薬学部の大津教授、保険薬局経営者連合会らの グループは、各薬局から薬歴等のリアルワールドデータ (RWD) を集め、人工知能(AI)等で自動的に解析して、 薬局薬剤師の業務支援や新たなエビデンス創出に役立て るシステム開発に着手した。

●後発医薬品から発がん性物質、約5千箱回収 胃潰瘍 などの薬(京都新聞10月24日)

滋賀県は23日、大原薬品工業が製造販売した薬から発がん性物質が検出されたとして、同社が約5千箱の自主回収を決めたと発表。健康被害の報告はない。回収対象は「ニザチジンカプセル『オーハラ』」75mgと150mgの2種類。厚生労働省の指示で同社が分析、基準値を超える発がん性物質が含まれていた。

●「重大なことだと認識を」レスリング男子選手、製薬会社提訴(共同通信10月25日)

レスリング男子選手(26)が24日、東京都内で記者会見し、 製薬会社に損害賠償を求めて提訴した経緯を説明。選手 は昨年6月、全日本選抜選手権で服用した胃腸薬に問題 があり、禁止物質「アセタゾラミド」の陽性反応が出て 暫定資格停止処分を受けた。選手は意図的な摂取ではな いとして2月に処分を取り消されたが、約半年練習や大 会に参加できないなどの被害を受けたとしている。沢井 製薬と陽進堂は4月、インドの原薬メーカーの製造段階 で禁止物質が混入していたと発表している。

●突然走る・飛び降り…インフル異常行動、昨季72件確認(朝日新聞10月30日)

突然走り出す等重度の異常行動を起こしたインフルエンザ患者(4~18歳)の報告が昨季72件あったと、厚生労働省研究班が公表。治療薬別では、ゾフルーザ25件、タミフル12件、イナビル12件、リレンザ7件等。性別では、男性71%、女性29%。年齢別では、10歳が最多。薬を服用していないケースも10件あった。

●愛知県薬、非薬剤師向け研修会開催-事務職など150 人が受講 (薬事日報11月18日)

愛知県薬剤師会は4日、名古屋市内で薬剤師以外の薬局 スタッフを対象とした研修会「非薬剤師による準備行為 研修会」を開催した。

●佐賀大学病院 術前休薬期間をアプリ検索 – 有効性確認 (薬事日報11月25日)

佐賀大学病院は、手術の手技などに応じて抗血栓薬の術前休薬期間を表示する「術前中止薬管理ウェブアプリ」を開発した。昨年9月から、試用した結果、術前の休薬忘れは半減。術後再開忘れは約10分の1に減少した。同院では有効性と安全性を確認できたとして、今年度内をメドにアプリを全国の医療従事者に無料開放する計画だ。

●小児の3割に耐性ウイルス ゾフルーザ服用で、東大 (共同通信11月26日)

ゾフルーザを飲んだ15歳以下の患者の約3割から、薬の 効かない耐性ウイルスが検出されたと、東京大の河岡教 授らのチームが25日付の英科学誌に発表した。通常のウ イルスと同程度の病原性を持つと考えられ、「耐性ウイ ルスによって熱が再び出て治癒が長引く可能性がある」 と注意を呼び掛けている。

●ネット販売飲料 医薬成分を検出 県調査、健康被害の恐れ(茨城新聞11月28日)

健康食品などに関する本年度の買い上げ調査の結果、強 壮作用などをうたいインターネットで販売されている 「ダンディコーヒー」から医薬品成分を検出したと発表。 医薬品医療機器法違反に当たり、健康被害の恐れがある として使用中止を呼び掛けている。調査は、県内の小売 業者やインターネット販売業者から25品目を買い上げ、 県衛生研究所で分析。「hibi」(新宿区)が販売する同製 品から「シルデナフィル」と「タダラフィル」が検出さ れた。現時点で健康被害の報告はない。

●オンライン服薬指導 通院困難者ら対象に(読売新聞 11月29日)

スマートフォンやパソコンなどを使って薬剤師が薬の使い方を説明する「オンライン服薬指導」について、厚生労働省は、通院が困難な訪問診療などの患者に対象を限定する方針を固めた。近く改正する省令に明記する。

●「濫用のおそれのある医薬品について」対応案を伝達 日薬(薬局新聞12月5日)

日本薬剤師会は濫用のおそれのある医薬品の取扱いについて、都道府県薬会長宛に対応案を通知した。平成30年度医薬品販売制度実態把握調査において10代が濫用する薬物はOTC医薬品が約4割を占めると報告されており、購入者が直接手の届く範囲での陳列が可能である特性を重視し、改めて会員薬局に自主的な販売対策の実施を呼びかけている。



沖縄県薬剤師会・消費者くすり相談窓口 「おくすり相談室」受付事例から

消費者専用電話:098-963-8935

●医薬品一般●

[質問] ウィルソン病と言われたが、その病気と治療法 を教えてください。(男性)

[回答] ウィルソン病は食事中に摂取される銅が、正常 に肝臓から胆汁中に排泄されず、肝臓・腎臓・脳・眼 などに多量に蓄積し、様々な障害を引き起こします。 遺伝性の病気のため、ご家族にウィルソン病の方がお られる場合は、確率は高くなります。食生活や日常生 活が原因になることはありません。症状は様々で、小 児期に重い肝障害(肝炎・肝硬変)を起こしたり、震え やうまくしゃべれなくなるなどの中枢神経障害を起こ します。しかしながら、早期に発見し治療を行えば十 分な社会復帰あるいは発症の予防が可能です。治療は、 銅と結びついて銅を体外に排出するD-ペニシラミンや 塩酸トリエンチン、食事中の銅の吸収を妨げる亜鉛薬 が処方されます。薬は生涯服用する必要があります。 肝移植という方法もあります。食生活では銅を多く含 む食品、特にチョコレート、エビ、カニ、レバーなど を控える事が重要です。この病気は、国が指定する難 病医療費助成制度の対象疾病(指定難病)になってい ます。

参考:難病情報センター HP, ノーベルファーマ (株) HP

●安全性情報●

[質問] 排尿障害があり、ナフトピジルという薬から ザルティア(一般名:タダラフィル)に薬が変わった。 飲んで1週間目くらいからふくらはぎが痛く、重くなっ た。翌日からは大腿部の痛みも続いているので、今朝 は飲まなかった。どうすればいいですか。(男性)

[回答] ザルティアには頻度は低いものの、筋肉痛や手や足の痛みが報告されています。副作用の可能性がありますので、担当医に連絡し、指示を仰いでください。

[質問] 安定剤を飲んでいると、認知症になると聞いた。(男性)

[回答] ベンゾジアゼピン系と言われる安定剤について、認知症と関連する海外報告があります。ある調査では服用していない高齢者に比較して服用中の高齢者が1.5倍、認知症にかかりやすいとの結果が出ており、またベンゾジアゼピンの長期連用はアルツハイマー病につながる可能性が強いとの研究論文もあります。高齢者においては、代謝能力の低下や体内蓄積が起こりやすいこともあり、認知症の発症リスクが高くなる可

能性があります。このことからもベンゾジアゼピン系 安定剤や睡眠薬の服用は必要最低限に留めておいた方 が良いとされています。ベンゾジアゼピン系ではない 安定剤もありますので、主治医とよくご相談ください。

[質問]リリカ、ロキソニン、トラムセットを服用中。 先週から風邪で麦門冬湯と苓桂朮甘湯を飲み始めた。 検査でカリウムが低いと言われたが、この中にカリウ ムが下がる薬がありますか。カリウムが低いと何が起 こりますか? (男性)

[回答] リリカには頻度不明ですがカリウム低下の報告があります。また、麦門冬湯、苓桂朮甘湯は併用するとカンゾウという成分の量が多くなり、低カリウム症の副作用の可能性が高くなります。カリウムは、心臓を含む筋肉や神経の活動に重要な役割を果たしています。人が健康を保つ上で重要な物質です。軽度では症状は殆どありませんが、血清カリウム濃度が3mEq/L未満になると筋力低下が起こり手足の麻痺やけいれん、筋肉のぴくつきやこわばりが起こることがあります。処方医に相談し、飲む必要があるのか確認されたほうがいいでしょう。

●ドーピング●

[質問] 1.「JUCOLA」というクエン酸補給のサプリメントについて、製品HPに「アンチドーピング対応」とありますが、大丈夫ですか。

2. カップヌードルを食する選手がいますが、インス タント食品は、添加物などの面で食して大丈夫でしょ うか。(スポーツ指導者)

[回答] 1. LGC社が検査を行っているサプリのようですが、信頼性の高いとされるアンチ・ドーピング認証プログラム「インフォームド・チョイス」を運営しています。まずは、商品に認証マークがついているかを確認してください。安全性の高いものとして評価されていることになります。ただし、これは安全性の高い商品を見分けるためのものであって、安全性を保障するものではないことをご理解ください。

2. アスリートは食事にも注意を払わなくてはいけません。今の所、日本では食品添加物が原因のドーピング違反の報告はありません。ただ、インスタント食品ばかりに頼りすぎると、栄養学的にも塩分や炭水化物の摂りすぎとなりますので注意が必要です。

Medical Magazines titles

今月の特集・論文

*薬事情報センターで購読している雑誌の中より文献情報を掲載しました。

【今月の特集】

- ◇エキスパートナース 35巻10号
- *「周術期」先輩ナースはこうして患者をみている
- ◇エキスパートナース 35巻11号
- *夜間によく使う薬(事前指示の薬)~こんな状況は ここに注意!
- ◇エキスパートナース 35巻12号
- *ヤンデル先生の病気の話 (病理学)
- ◇月刊薬事 61巻13号
- *腎機能に応じた投与設計
- ◇月刊薬事 61巻14号 (増刊)
- *病棟・カンファレンスでそのまま使える想定問答 集151
- ◇月刊薬事 61巻15号
- *発熱、脱水、便秘、誤嚥性肺炎…ここを確認!老年症候群の非薬物療法と薬物療法
- ◇産科と婦人科 86巻11号
- *新時代の子宮鏡診療
- ◇産科と婦人科 86巻12号
- *オフィスギネコロジーにおける脂質管理~そのポイントと診療のコツ
- ◇総合診療 29巻10号
- *教えて! 医師のためのビジネス・スキル
- ◇総合診療 29巻11号
- *臨床写真図鑑レアな疾患編 見逃したくない疾患の コモンな所見
- ◇調剤と情報 25巻13号
- *ヒヤリ・ハット、みんなどうしてる?
- ◇調剤と情報 25巻14号
- *デキる薬剤師をつくる現場の教科書
- ◇調剤と情報 25巻15号
- *患者のQにきっぱり答えるおとなの予防接種
- ◇治療 101巻10号
- *認知症診療、全部まるミエ!?
- ◇治療 101巻11号
- *医療と地域をつなげる貧困対策
- ◇治療 101巻12号
- *急性冠症候群

- ◇日経ドラッグインフォメーション 264号
- *目薬の服薬指導
- ◇日経ドラッグインフォメーション 265号
- *抗結核薬の処方箋
- ◇日経ドラッグインフォメーション 266号
- *今冬の抗インフルエンザ薬
- ◇日経メディカル 623号
- *医師が薬を自由に使えなくなる日
- ◇日経メディカル 624号
- *日経メディクイズSpecial
- ◇日本医事新報 4978号
- *小児の痙攣と抗ヒスタミン薬の使用法
- ◇日本医事新報 4981号
- *病院・施設における感染症制御
- ◇日本医事新報 4984号
- *危険な頭痛を見逃さない
- ◇日本医事新報 4985号
- *職業性アレルギー疾患の診かた
- ◇日本医事新報 4986号
- *外来での悪性リンパ腫診断・治療Q&A
- ◇日本医事新報 4987号
- *肩こり・腰痛・膝痛患者に対する整形内科的生活 指導
- ◇薬局 70巻10号
- *高血圧~地域包括ケアで薬立つ血圧管理の勘所
- ◇薬局 70巻11号
- *気管支喘息~最新の戦略的・継続的マネジメント
- ◇薬局 70巻12号
- *急性冠症候群〜実臨床に活きる薬物治療の知識と スキルを身につける

【今月の論文等】

■薬物療法■

►超高齢社会シコウの利尿薬適正使用シコウ (4) 利尿 薬は腎尿細管に作用してNaを排泄する薬剤であり、 尿細管機能を維持する薬剤だ

治療 101 (10) p.1237

- ►超高齢社会シコウの利尿薬適正使用シコウ (5) 高齢 慢性うっ血性心不全におけるループ利尿薬の功罪 慢性期うっ血性心不全における利尿薬のエビデンス 治療 101 (11) p.1356
- ►頭痛の訴えがないのに片頭痛予防薬を処方した理由 日経ドラッグインフォメーション (264) p. PE021
- ►プレマリンが連続投与に変更された患者 日経ドラッグインフォメーション (264) p. PE039
- ►リバスチグミンを夕方剥がし 就寝前に貼付させる 理由

日経ドラッグインフォメーション (265) p. PE024

- ►経腸栄養剤イノラスの摂取量日経ドラッグインフォメーション (265) p. PE043
- ▶老年症候群と薬剤──薬剤起因性老年症候群と非薬物療法

月刊薬事61 (15) p.15

►添付文書等に記載されている腎機能別至適投与量の ピットフォール

月刊薬事61 (13) p.69

■新薬■

►審査報告書から見る新薬の裏側 [33] アーリーダ[®]錠 60mg (アパルタミド)

月刊薬事61 (13) p.158

►審査報告書から見る新薬の裏側 [32] ロナセン[®]テープ 20mg、30mg、40mg (ブロナンセリン) 月刊薬事61 (15) p.34

■安全性情報■

- ► がん化学療法の副作用としての血圧上昇 薬局70 (10) p. 103
- ► 急性冠症候群患者における副作用・相互作用のチェック ポイント

薬局70 (12) p. 92

▼薬剤性腎障害

月刊薬事61 (15) p.96

- ►胆石に禁忌の脂質異常症治療薬 日経ドラッグインフォメーション (264) p. PE031
- ▶降圧薬で注意すべき副作用とそのチェックポイント薬局70 (10) p. 85

■薬剤師業務■

- ► かかりつけ薬剤師のための目薬の服薬指導 日経ドラッグインフォメーション (264) p. PE001
- ►添付文書の腎機能表記のピットフォール 月刊薬事61 (13) p.23

► これなら医学論文が読める!使える!医薬品情報を 引き出すイージーアプローチ 観察研究の論文を用 いた処方提案

調剤と情報25 (13) p.86

- ► これなら医学論文が読める!使える!医薬品情報を 引き出すイージーアプローチ 患者さんの薬で「困った」 を解決する―その手段としての論文情報 調剤と情報25(15)p.95
- ▶大解剖!「ヒヤリ・ハット事例報告」どうやるの? 調剤と情報25(13) p.14
- ►医療事故から学ぶ薬局ヒヤリ・ハット 調剤と情報25 (13) p.20
- ►個別指導でなぜ怒られるのか?レセプト・薬歴から考える正しい保険調剤〜保険調剤を正しく理解するために―「一包化加算」を例に
- ►吸入療法を開始する患者への初回指導のポイント 薬局70 (11) p.51
- ►吸入指導のサポートツールと患者によくみられる誤 操作

薬局70(11)p. 57

調剤と情報25 (15) p.81

- ►喘息重症化因子とそのマネジメント~アレルゲン 薬局70(11) p. 74
- ► 高齢者のポリファーマシー対策 日本医事新報 (4978) p. 51

■産科・婦人科■

- ►妊娠したらアドエアは中止した方がいい? 日経ドラッグインフォメーション (264) p. PE028
- ►妊婦の不眠に処方された鉄剤 日経ドラッグインフォメーション (265) p. 023

■その他■

►鉄補充療法の開始基準におけるフェリチン値の意味は?

日本医事新報 (4980) p. 56

▶夜間血圧を測定する意義と測定によってわかることは何か

薬局70(10)p. 24

- ▶薬剤師として接種するべきワクチン 調剤と情報25 (15) p.46
- ▶政府文書の読み方、とらえ方 調剤と情報25 (15) p.51

医薬雑誌ひろい読み

Medical Magazines Browsing

アルツハイマー病への抗認知症薬投与の是非

报 4985号 日本医事新報 4975号

日本医事新報 4985号

条件つきで投与する。抗認知症薬は「使用 中は症状の進行を半年程度先送りにする」 ものであり、その効果が検証されているの は、ほとんどがアルツハイマー病である。 しかし, わが国で抗認知症薬を投与された 患者の半数以上において, 基本中の基本と も言える甲状腺機能が検査されておらず, 医師の診断の杜撰さが明るみに出てしまっ た。2018年8月、フランスでは抗認知症薬が 公的医療保険の対象から外れた。これは薬 価の問題でなく、効果の乏しさと副作用の 大きさによる,というのは注目すべきであ ろう。投与の条件:ドネペジル以外の抗認 知症薬は、国内第3相試験で主要評価項目を 達成できなかった。抗認知症薬は効果が限 定的であり、薬剤間での差異もほとんどな いため、唯一後発品のあるドネペジルを第 一選択としている。抗認知症薬は「改善さ せる」よりも「使用中は症状の進行を少し 遅らせる」ものであり、この「少し遅らせ る」ということに意味を持たせられるので あれば, 投与は許容されるでしょう。

可知記念病院 精神科 宮内 倫也

抗コリン薬開始時の有害事象の説明は 医院と薬局の連携で行った方がよい

新薬と臨床 11月号

過活動膀胱の薬物治療には抗コリン薬が広 く使用される。しかし、他の生活習慣病の 薬剤に比べ、口内乾燥や便秘を来しやす く、服薬継続率が低くなる。過活動膀胱と 診断され, 抗コリン薬フェソテロジンによ る治療が開始となった初診患者を対象とし た。医院と薬局で薬についての説明の連携 が取れてなかった2015年までの33例(A群) と,2016年以降の50例(B群)の1年間の服 薬継続率について、後ろ向きに調査した。 2016年以降は医院と薬局で共通のパンフ レットを使用して、有害事象の説明は医院 と薬局で重複しないように工夫した。1年後 の継続率はA群の24.2%に比べ, B群は 50.0%と有意に高かった。1年経過時の改善 度は,継続群および有効中止群で,途中中 止群に比べ有意に高かった。起こりうる有 害事象の説明を分担し工夫することで、服 薬継続率が高く維持され, 治療効果が改善 すると考えられた。

かげやま医院 影山 慎二

小児に適応のある鎮咳薬は、偽薬もしくは 同効薬との比較試験が実施されたものはあ りません。そもそもかぜ症候群における急 性期の咳嗽を止める必要があるのか, 止め てよいのか、という議論もあります。気道 に垂れ込んだり気道からせり上がってきた りする病原体を含む分泌物を外に排出する ために,咳嗽は一定の役割をはたしていま す。強力な鎮咳作用を有するコデイン類で あればなおさら, そこまでする必要のある 状態か、そこまでしてよいのか、という視 点です。もう1点、圧倒的な患者数となるか ぜ症候群の診療において, いわゆるかぜ薬 が, 慣習のように流れ作業的に処方されて はいないでしょうか。「患者が求めるか ら」「処方しないと申し訳ないから」「処 方しない理由を説明することが面倒だか ら」といった言い訳は、まったく医学的で はありません。咳と咳止めに限らず,かぜ の諸症状とかぜ薬について, それらの意味や意義を見つめ直す, 考え直す時期と言え るでしょう。

小児に対する咳止めの処方に関する考え方は?

川崎医科大学 田中孝明 静岡厚生病院 小児科 田中 敏博

がん化学療法の副作用としての血圧上昇

薬局 10月号

血管新生阻害作用を有する抗がん薬の使用 により, 血圧上昇が高頻度に認められる。 血管新生阻害薬による血圧上昇の発生頻度 は約4-13%と約1割近くの患者で重度の血圧 上昇が発現する可能性がある。一般的に薬 剤投与後1カ月以内に発現することが多い。 この時期の血圧上昇はいわゆる急性期の血 圧上昇であり、NO産生低下に伴う血管収縮 が関与していると考えられる。一方,慢性 期の血圧上昇には血管床減少による末梢血 管抵抗の上昇が関与していると推察され, 血管新生阻害薬使用中は継続した血圧管理 が必要となる。治療は、一般的に高血圧ガイドラインに従い降圧薬を使用する。第一 選択薬として、ARBやACE阻害薬、カルシウム拮抗薬が選択されることが多い。一部の 血管新生阻害薬では、治療効果と血圧上昇 の出現に関連があると考えられており,安 易な治療中止ではなく,血管新生阻害薬を 継続、あるいは一時休薬をした上での降圧 薬による血圧コントロールが肝要である。

> 宮城県立がんセンター 土屋 雅美

BookInformation

日薬斡旋図書のご注文は事務局(代表 098-963-8930)までお願いします。

- ※日薬斡旋図書は会員価格で購入できます。
- ※会員価格のない書籍については定価での購入となります。
- ★印は事務局カウンターまたは、情報センターに見本があります。

錠剤・カプセル剤粉砕ハンドブック 第8版

【編著】佐川 賢一、木村 利美、伊東 俊雅 【発行】じほう 【発行日】2019 年 12 月 【版型/頁】B6 判/1,640 頁 【定価】7,040 円 (税込)

市販されている先発品およびジェネリック医薬品の 95%に相当する約 7,900 品目(前版は約6,800 品目)の粉砕可否およびその理由を、製薬企業より提供された各種データと著者による様々な臨床的判断・コメントを加え一覧表としている。原薬の水に対する溶解性情報、錠剤、カプセル剤の形状と錠剤の割線情報も網羅し、さらに使いやすい調剤業務必須の 1 冊。

実践的ケーススタディ 薬剤レビュー 薬剤師のためのプロセスガイド 第2版(日本語版)

【翻訳】一般社団法人上田薬剤師会 【発行】薬事日報社 【発行日】2019 年 11 月 【版型/頁】B5 判/244 頁 【定価】4,400 円(税込)

オーストラリア薬剤師会が作成した薬剤レビュー(薬物治療レビュー)学習のためのケースブックの日本語版。薬剤レビューとは、薬物治療に関連する問題を薬剤師が評価し、患者固有の情報を収集・分析して医師や患者等に伝達する体系的なプロセスである。その目的は、薬剤師による薬物治療の評価に基づく医師への提案および患者等に対するアドバイス(リスクの最小化とベネフィットの最大化)にある。薬剤レビューに不可欠な意思決定力や判断力を醸成するためのテキストであり、具体的な症例を題材にすることによって、薬剤レビューの手順(流れ)を身近に感じられる内容としたもの。

整理して理解する 抗がん薬 薬理・作用機序から理解する抗がん薬の使い方

【編集】鈴木 賢一、大橋 養賢、内田 まやこ、藤田 行代志 【発行】じほう 【発行日】2019 年 9 月 【版型/頁】B5 判/432 頁 【定価】6,380 円(税込)

殺細胞性抗がん薬に加え、分子標的治療薬や免疫チェックポイント阻害薬など、さまざまな作用機序の抗がん薬が使用されるがん薬物療法。異なる作用機序の抗がん薬の組み合わせによるレジメンも次々と開発、実施。一方で、多岐にわたる副作用の発現や患者 QOL の低下などによる治療中断にもつながっている。複雑化するがん薬物療法において、抗がん薬の薬理・作用機序の知識を整理・理解することで、より安全で効果的な副作用対策、処方提案ができるようになることを目指した 1 冊。

第2版 症例から考える代表的な8疾患 解答・解説付

【編集】京都府薬剤師会 【発行】じほう 【発行日】2019年9月 【版型/頁】B5 判/472 頁 【定価】4,620円(税込)

平成 25 年度に改訂された薬学教育モデル・コアカリキュラムに準拠した実務実習では、公平で幅広く参加・体験できる実習を目的として、全ての実習生がどの施設でも標準的な疾患について広く学べるよう代表的な 8 疾患が提示された。その代表的な 8 疾患の設問を考えることで、実践的な臨床対応能力を身に付けることができるようになっている。各章では当該疾患にかかわる基礎問題と処方箋ベースの症例問題(CASE)で構成。実務実習受入施設における教材、大学での臨床準備教育で活用できる。

BookInformation

日薬斡旋図書のご注文は事務局(代表 098-963-8930)までお願いします。

※日薬斡旋図書は会員価格で購入できます。

※会員価格のない書籍については定価での購入となります。

★印は事務局カウンターまたは、情報センターに見本があります。

【日薬斡旋図書】保険薬事典 Plus+ 令和元年 10 月版

【編著】薬業研究会 【発行】じほう 【発行日】2019 年 9 月 【版型/頁】A5 判/1,098 頁 【定価】5,060 円(税込)【斡旋価格】4,550 円(税込)

同成分の中で剤形・薬価別にまとめ、規格単位ごとの薬価だけでなく「適応・用法」情報も確認できる。適応外使用に係る公知申請が認められているものを適応に記載。ジェネリック医薬品における、適応・用法違いの確認に最適で、一般名からも検索可能で使いやすいと好評な医療用医薬品リストの定番書籍。

どんぐり未来塾の薬物動態マスター術 第2版

【監修】 菅野 彊 【発行】 じほう 【発行日】 2019 年 9 月 【版型/頁】 B5 判/272 頁 【定価】 3,520 円(税込)

薬物動態の知識を基礎から学べる好評書の第 2 版。よりわかりやすく系統立てて学べるよう初版の内容を再編成し、最近の頻用薬に関する症例を取り上げるなど大幅な加筆を行った。各 Lesson で学んだ内容をもとに考える「練習問題」もさらに充実。薬物動態の基礎がしっかり身につく。薬物動態を薬局で活用するための知識とノウハウが詰まった 1 冊。

薬局から研究を発信しよう

【著者】尾関 佳代子 【発行】薬事日報社 【発行日】2019 年 10 月 【版型/頁】A5 判/158 頁 【定価】2,420 円(税込)

"薬剤師が日々の業務から研究の種を見つけ出し論文掲載という花を咲かせよう"をコンセプトに、薬局薬剤師として活躍する傍ら、大学で研究を続ける著者の実体験に基づき、「研究を行う意義」「研究の始め方」「学会発表」「論文作成・掲載」などについてわかりやすく解説。

腎臓病薬物療法 トレーニングブック 第2版

【編集】日本腎臓薬物療法学会 学術教育委員会 【発行】じほう 【発行日】2019 年 9 月 【版型/頁】B5 判/288 頁 【定価】4.180 円(税込)

さまざまな症例を通じて、腎機能低下患者や透析患者の薬物治療に関してどこに着目し、どのような思考プロセスで適切な薬学的介入を行うべきかを解説。適切な薬物療法を提供するための基本的な知識を理解しながら、複雑・多岐にわたる症例へのアプローチ法をトレーニングでき「薬剤師としての気づきの能力」を養うことのできる1冊。

向精神薬がわかる!使える!答えられる! 改訂第2版

【編著】吉尾 隆 【発行】南江堂 【発行日】2019 年 11 月 【版型/頁】A5 判/232 頁 【定価】3,520 円(税込)

「降圧薬と抗うつ薬は一緒に服用しても大丈夫?」そんな向精神薬に関する疑問に答える好評書。 糖尿病や高血圧、腎機能障害などを合併している場合の薬の使い方をさらに充実させ、注意すべき 相互作用、具体的な処方例まで解説。うつ病や双極性障害にも使われるようになった抗精神病薬も カバーし、向精神薬をざっくり知りたい方、精神科を専門としない医師、薬剤師、看護師にお勧めの 冊。

薬事情報センターの利用のしかた

〇業務内容

(1)医薬品情報の提供 (2)「薬事情報おきなわ」の編集・発行 (3)医薬品に関するお問い合わせ (4)県薬ホームページの制作・管理 (5)消費者薬相談業務「おくすり相談室」 (6)ドーピング防止ホットライン業務

〇業務時間

(会員対象) 平日 午前:8時30分~12時 午後:1時~5時30分 (土・日・祝日休業) (一般対象) 「おくすり相談室」・「薬剤師会ドーピング防止ホットライン」

平日(月~金)午前:9時~12時 午後:1時~5時

<u>※おくすり相談室及びドーピング防止ホットラインの電話は **098-963-8935** になります。お気軽にご利用ください。</u>

〇会員の利用方法

医薬品等に関するご質問は、電話、ファクシミリで受付けています。また、情報センター所蔵図書の閲覧、 文献調査、オンラインデータベース・インターネット利用等の目的で直接お越しいただく場合は、係の者が 対応致しますので、なるべく事前にご連絡下さい。

> TEL: 098-963-8931 FAX: 098-963-8937 沖縄県薬剤師会 薬事情報センター

* * 海外文献から (JAPIC 医薬情報より) * *

- ●急性疼痛発作後のTramadol の長期使用:コホート研究 (British Medical Journal 365(8199)11849- (2019.5)) 米国における 2009 年 1 月 1 日-2018 年 6 月 30 日の個人保険および Medicare Advantage 利用者データを用いて、opioid 使用歴がない待機的手術患者における観察研究を行った。主要アウトカムは tramadol 単独治療患者における退院後の opioid 使用長期化のリスクとした。opioid 使用長期化の定義は、追加的使用 (術後 90-180 日における 1 回以上の opioid 処方)、持続的使用 (術後 180 日以内に始まり 90 日以上続く opioid 使用)、CONSORT 定義による使用 (術後 180 日 以内に始まり 90 日以上続く、10 回以上の処方あるいは 120 日用量分以上の供給)の 3 基準を用いた。結果、患者 444764 例のうち、357884 例で退院時に 1 種類以上の opioid 処方を受けていた。最も処方率が高かったのは hydrocodone、続いて短時間作用型の oxycodone、tramadol。 術後の opioid 使用長期化の未調整リスクは、追加的使用で 7.1%、持続的使用で 1.0%、CONSORT 定義による使用で 0.5%だった。 tramadol 単独投与患者では、他の短時間作用型 opioid 投与患者と比較して、追加的 opioid 使用リスクが 6%増加、持続的 opioid 使用リスクが 47%増加、CONSORT 定義による長期 opioid 使用リスクが 41%増加していた。
- ●Gabapentinoids と自殺行為, 偶発的過量投与, 外傷, 交通事故および凶悪犯罪との関連性: スウェーデンにおける集団ベースのコホート研究 (British Medical Journal 365(8203)12147-(2019.6))

2006 年-2013 年に gabapentinoids (pregabalin または gabapentin) の処方を受けた 191973 例を対象とした母集団コホート研究を行った。主要転帰は、自殺行動、偶発的過量服用、頭部/体部外傷、交通事故/違反、暴力犯罪による逮捕とした。Cox 比例ハザード回帰を用いて、それぞれの患者の gabapentinoids 治療期間と非治療期間の比較を行った。結果:調査期間中に 10026 例(5.2%) が自殺行動の治療を行うか自殺により死亡、17144 例(8.9%) が偶発的過量服用を経験し、12070 例(6.3%) が交通事故/違反をおこし、70522 例(36.7%) が頭部/体部外傷を来たし、7984 例(4.1%) が暴力犯罪で逮捕された。個人内解析では、gabapentinoidによる治療は、自殺行動/自殺による死亡、偶発的過量服用、頭部/体部外傷、交通事故/違反の増加と関連していた。pregabalin は全転帰のハザード比増大と関連しており、gabapentin ではハザード比を低減させるか、有意な変化をもたらさなかった。

●脱力, 暗色尿および嚥下障害を呈した 65歳の女性 (The New England Journal of Medicine 381(3)275-(2019.7)) 患者(女,65歳)は,転倒,脱力感,暗色尿及び嚥下困難のため入院。患者は 35年前男性から女性への段階的性別適合手術を受け,estrogen 療法中だった。17ヵ月前に,転倒,失語と左部の顔面,腕,下肢運動障害のため搬送され,既心原性塞栓による脳卒中が疑われた。estrogen 療法は中止し,aspirin,atorvastatin,furosemide の投薬を開始。その後脱力が持続したため,warfarinを開始。病歴は,高血圧,非虚血性心筋症,緑内障,腸閉塞,大腸ポリープ,頸椎変性疾患であった。筋力低下,筋痛,暗色尿および CK 高値から横紋筋融解症と診断され,原因はatorvastatin と特定され、解剖学的診断で statin 誘発性自己免疫性筋症と診断された。statin を中止,prednisone (開始時 1 日 70mg)と rituximabによる治療を施行した。退院の2週間後,心不全増悪のため再入院,脱力と CK 上昇が持続したため,1ヵ月後に IVIG を施行し、その2ヵ月後に CK 値は正常となった。rituximabと毎月1回の IVIG を併用した prednisone 漸減療法と集中的理学療法を実施した。最初の入院後2年経過した現在,筋力,嚥下機能が回復し,rituximabと IVIG も中止した。

追悼

書家 豊平峰雲(信則) 先生を偲ぶ

沖縄の書道界を代表する書家の豊平峰雲先生が死去されました。峰雲先生は、沖縄県書作家協会木筆會会長で毎日書道展審査会員・福州市書法協会顧問等、多くの要職に就き沖縄の書道界の充実、発展に尽くされてきました。

代表作品に沖縄県所蔵「萬国津梁之鐘銘屏風」、碑文として「徐葆光顕彰の碑」「劇聖玉城朝薫生誕三百年記念碑」、社名銘板として「国立劇場おきなわ」「沖縄都市モノレール株式会社」「沖縄大学」「南ぬ島石垣空港」等、筆跡が数多くあります。また、沖縄タイムス芸術選賞大会受賞、文化賞受賞、沖縄県文化功労章等を受章されております。

私は、峰雲先生の卓越した筆書術に魅せられ、本会会報誌の表紙の題字「おきなわ薬剤師会報」をはじめ、私の思いを訓字にした「世

沖縄県薬剤師会相談役 神村 武之 益薬学」を筆墨して頂きました。峰雲先生は、何時も明るく活動的で心温かい人でした。本 会会館内に掲示してあります薬剤師綱領を 筆書した会員の太田節子さんの師匠でもあります。

念願でありました「沖縄県薬剤師会館」の 銘板も手掛けて下さり、大変感銘致しまし た。おきなわ薬剤師会報に連載している橋の 下の「一包一話」集の題字をも筆書して下さ り、さらに「医食同源」の掛け軸をご寄贈下 さいました。

これらの既存作品は、沖縄県薬剤師会として永久に保存したいと思います。

沖縄書道界の大きな柱を失った事を残念に 思い、本会への御協力に深く感謝を申し上げ、 ご冥福を心からお祈り申し上げます。合掌



ありし日の豊平峰雲先生



会館銘板



「おきなわ薬剤師会報」表紙題字



寄贈掛軸「医食同源」



会館に掲げられた訓字



「一包一話集」表紙

第42回 **暮らしの中の薬草学** 身近な薬草を知ろう

女性薬剤師部会 狩俣 イソ

「フクギをこよなく愛しフクギ酒・フクギジャムを作っている」人の話が新聞の投稿欄に 掲載されていました。防風林のイメージでしか捉えていなかったフクギの魅力発見です。

フクギ:福木

学 Garcinia subelliptica Merr. 名 オトギリソウ科 Guttiferae 科

またはフクギ科 Clusiaceae

フクギ属 Garcinia 属 名 使用部位 葉、茎、根、花、果実 garcinielliptone F · I 有効成分 garsubellin A, garcinielliptin oxide

xanthochymol





<フクギの特徴>

フクギ100gあたり

フクギは、オトギリソウ科 (クロンキスト体 系or新エングラー体系)またはフクギ科の、フ クギ属、熱帯性常緑高木で、樹高は10-20m。主 幹は直立に伸長し、幹が丈夫で樹皮は黒色、若枝 は緑色。葉は対生で密につき、厚く革質、長楕円 形~卵状楕円形で長さ8-14cm、厚く光沢がある。 雌雄異株で雌花と雄花は別の木に付け、花期は 5-6月、1.5cmほどのクリーム色の五弁花を葉の付 け根に咲かせる。果実は直径3cmほどの球形、外 皮は革質、3-4個の種子を含む液果で橙黄色に熟 し、クビワオオコウモリ等のオオコウモリ類の 餌となる。柿にやや似た味だが甘みは少なく、 特有の香りと粘りがある。フクギと同グループ に、果物の女王と呼ばれるマンゴスチンがある。

樹皮から黄色の染料が採れる。材は淡黄色で 木目があって堅緻で建築材になる。風害や塩害 に強いため防風林・防潮林に適し、耐火性があ ることから屋敷林として植栽される。緑の壁の ように植えておくと隣家の火事による延焼を食 い止められるとされる。肉厚な葉は日除けにも なる。姿形が美しく公園樹として、また深根性 であり街路樹として適する。沖縄県名護市はフ クギを街路樹として植えている。本部町備瀬の 「備瀬のフクギ並木」や久米島町真謝の「チュ ラフクギ」などが有名である。

<フクギの分布>

原産地はアジアの熱帯地方で、台湾(タイワ ンフクギ)・フィリピンに分布し、台湾ではフィ リピンと同じ生物圏に属する台東県の蘭嶼、緑 島に分布する他、台湾本島にも移入され植栽さ れている。東南アジアでは、同属の根は煎じて 飲むと月経困難に効果があるとして利用されて いる。日本では沖縄県や奄美群島等に古い時代 に渡来したものとされる。八重山諸島(石垣島、 西表島、与那国島) には自生個体もあるという 見解がある。

<染料成分>

フラボン系のフクゲチン色素、イソフクゲチ ン、ガルギニンなどの黄色色素が、心材や樹皮中 に多く含まれる。古くから紅型、琉球紬、久米島 紬などの黄色染めに用いられてきた。フクギの 色素はアルカリ媒染で赤味の黄色に、すず媒染 で黄色に、銅媒染で黄緑色に、また鉄媒染で黒味 の青緑色にそれぞれ染色される。

伊澤一男著:薬草カラー図鑑より引用

<沖縄山菜類データベースより>

- ・抗癌作用:Hela細胞増殖抑制試験で強い細胞 毒性が見られた
- ・抗酸化物質(ポリフェノール等) 0.63 g/100g

沖縄山菜類データベースより

エネルギー	タンパク質	脂質	食物繊維	カロテン	レチノール当量	ビタミンB1
98kcal	1.3 g	0.8 g	7.6 g	69.0 μ g	5.3 μ g	0.11m g
ビタミンB2	ナイアシン	ビタミンC	γ-フェロール	δ-トコフェロール	葉酸	ビタミンK
0.05m g	0.42m g	20m g	2.4 μ g	0.6 μ g	33μg	16μg

- ・DPPHラジカル消去活性試験 26μ molTE/g
- 糖尿病: α-グルコシダーゼ阻害試験で濃度依存的な活性が見られた
- B16細胞チロシナーゼ活性阻害試験:有効性なし 参考:琉球植物誌(初島住彦)・かぎけん花図鑑 琉球列島有用樹木誌(天野鉄夫)

<糖尿病性合併症予防>

アルドースレダクターゼ阻害物質は、糖尿病性白内障、糖尿病性神経症、糖尿病性腎疾患、糖尿病性網膜症、糖尿病性角膜症などの糖尿病性合併症の予防及び治療薬として開発が期待される。フクギを乾燥後、溶媒抽出し、抽出成分を含む有機溶媒を濃縮し抽出成分を単離する。アルドースレダクターゼ阻害活性を測定すると、実施例により得られた分画は既存薬(エパルレスタット)と同程度の阻害率を示した。フクギの抽出成分を有効成分とするアルドースレダクターゼ阻害剤を提供し、糖尿病性合併症の予防、治療剤として有効に使用することができる。天然物であり毒性もなく、古くから漢方薬的な使われ方をしており、安全性が高い。

<アルドースレダクターゼの阻害作用>

グルコースは、正常時には大部分がヘキソキナーゼの作用によりグルコース-6-リン酸になり解糖系で代謝され、重要なエネルギー源となっている。しかし糖尿病のような高血糖状態では、グルコースがソルビトールを介してフラクトースに代謝されるポリオール代謝系が亢進される。その結果、ソルビトールの異常蓄積が助長される。このソルビトールは極性が高いため、細胞外への移行が少なく、細胞内に蓄積がれその結果、細胞内の浸透圧が高まり、組織傷害を起こすと考えられている。そこでポリオール代謝系でグルコースをソルビトールに変えている酵素であるアルドースレダクターゼを阻害することにより糖尿病性合併症の予防及び治療が可能となる。

参考:日本鋼管株式会社 日本特許情報

<フクギの化学的研究>

フクギの材から1,2,5-trihydroxyxanthone、1,2-dihydroxy-5,6-dimethoxyxanthone、1,8-dihydroxy-6-methoxyxanthone、garcinoxanthone、1,4,5-trihydroxyxanthoneが単離され、種子からはgarcinielliptoneF、garcinielliptone oxideが単離されている。

<フクギの薬理学的研究>

これまで抗炎症作用、抗菌作用、コリンアセチルトランスフェラーゼ賦活作用、過酸化物スカヴェンジング作用(ラジカル消去作用)が報告されている。抗炎症作用に関しては、種子から抽出されたgarcinielliptone F にラット好

中球からの β -グルクロニダーゼとリゾチームの産生抑制に効果があり、同じく種子から抽出されたgarcinielliptone I にもNO産生抑制効果が報告されている。また、garsubellin Aとgarcinielliptin oxideにはマスト細胞に対する β -グルクロニダーゼ、ヒスタミン産生抑制作用が報告されている。garcinielliptin oxideには好中球の過酸化物の形成を阻害する作用がある。また、木材より抽出されたgarsubellin Aはラットの培養中隔神経でのコリンアセチルトランスフェラーゼ活性を上昇させ、garciniaxanthoneをはじめとするxanthone類にはラジカルスカヴェンジャーとしての作用が確認されている。

抗菌作用についてはフクギの果皮より抽出されたxanthochymolがMRSAに対しバンコマイシンに相当する強い抗菌作用を持つことが報告されている。

活性酸素消去作用剤、紫外線吸収剤及びそれ を配合した皮膚外用剤、アルドースリダクター ゼ阻害剤に使用されたりしている。

<抗アレルギー作用、抗掻痒作用>

実験方法;18時間絶食したICR系雄性マウスに被検体を経口投与し、その1時間後、マウス背部に48/80生理食塩液0.1 mlを皮下注射し、引っ掻き行動を惹起させた。後肢で注射部位を引っ掻く行動を掻痒行動とし、注射直後から10分間、その引っ掻き行動の回数を求めた。なお、陽性対照薬とてdiphenhyd-ramineを用いた。

ラット腹腔内マスト細胞にcompound 48/80 を作用させたところ、マスト細胞からヒスタミンが82.3 \pm 0.4% 遊離した。陽性対照薬の sodium cromoglycate (SCG) は500 μ g/mlの濃度で20.9%の抑制作用を示した。フクギエキスは 200 μ g/mlで48.5%、500 μ g/mlで95.6%の抑制作用を示した

48/80生理食塩液をマウスの背部皮下に投与したところ、対照群で72.9±7.8回の引っ掻き行動が認められた。陽性対照薬であるdiphenhydramineは50 mg/kgの用量でcompound 48/80による引っ掻き行動を有意に抑制した。フクギエキスは200、500 mg/kgの用量でこの引っ掻き行動を有意に抑制した。

参考:株式会社 ア・ファーマ近大

<フクギ抽出物の美白効果>

測定したフクギ抽出物のチロシナーゼ活性阻害率は57.2%、黒色化阻害活性は、0.29で、特異的に強いものであった。メラニン生成抑制効果、美白効果を有する安全性の高い美白用皮膚外用剤になりえる。

参考:株式会社資生堂

「ドタバタWebテスト」

8月に「JPALSシステム」から「専門分野別 学識試験を実施するので受験してみません か?」という案内があった。〈腎臓病薬物療 法分野><緩和医療薬学分野>の2分野につ いて実施するという。私にはとても無理だろ うと思い無視するつもりであったが、患者さ んのなかに透析を受けていらっしゃる方が多 いので「腎臓病」という言葉に引かれてしま い、ついつい申し込んでしまった。申し込ん だのはよいが「さてどうしよう~」と思案に くれているとネット上に日本腎臓病学会薬物 療法学会 専門・認定薬剤師認定試験 模擬 問題を見つけた。たった10問だが問題を解い てみると、覚えているようで実は全く覚えて いないということに気づいてしまった。これ は大変なことになったと思い、早速学会推奨 の本を2冊購入する事にした。試験実施期間 は 10月1日~10月31日までなのだが、届い たテキストは500ページ以上あった。じっく り読んでいたのでは時間が足りないので斜め に読むようにして(?)何とか読み終えたが 読んだそばから忘れてしまうので不安は募る



ばかり。ぎりぎりまで待って10月29日に受験。 試験時間は140分(2時間20分)で80間。60%(48 問)以上の正解で合格になる。例の本をお守 り代わりに横に置きいざスタート。

ほとんどが5択、6択の問題でうろ覚えの知識では迷う問題ばかりであった。しかも問題は1問ずつ出てきてやさしい問題から手を付けるということが出来ない。

たっぷり時間はある、と思っていたが気がつくと残り時間30分は切っているのにまだ30間以上残っている。あとは無我夢中でやっとの事で80間を終了し、自信のない問題を見直そうとしていると時間切れ~~。自動的に採点が始まって・・・・・・受かるはずはないので良い経験をしたとあきらめていたらなんと合格してしまった!

どしどし お寄せ

でさい!

皆さんも是非受けてみて下さい。

次号には、運天芳生 先生がバトンを受けて下さいました。ご期待下さい!

会報原稿募集のご案内

広報委員会

おきなわ薬剤師会報は皆様の会報です。 広報委員会では、会員の皆様からの原稿や 作品を多方面にわたり募集致します。活発な 御投稿をお待ち致しておりますので、是非、 御協力下さいますようお願い致します。

【会報表紙及びカット写真】

写真にタイトルを付けて奮ってご応募願います。写真の採否、掲載月については広報委員会に一任頂きますのでご了承下さい。表紙写真はカラー、カットについては白黒印刷となります。

【会員からの意見箱】

皆様の質問、意見、主張を掲載します(薬 剤師会活動や社会に対する本音など何でも結 構です)。日常業務の中での疑問、薬剤師会 活動、賠償責任保険、医薬分業、一般薬販売 等について質問を受け付けます。

- ・誌上匿名は可能です。
- ・回答者を指名されても結構です。

【寄稿コーナー】

勤務薬剤師としての立場から見られた日常 業務、過去、現在の職場に対する長短所・要 望等。若い先生方からの御意見、御投稿をお 待ちしております。

同時にベテランの先生方からの店舗経営に 関する事、開業顛末記等、今後の進路を決め る若い先生方へのアドバイス等についても募 集します。

【会員作品・趣味のコーナー】

会員からの作品・趣味等を随時募集しております(手記、随筆、紀行文、詩、短歌、俳句、川柳、写真、絵画、毛筆等の作品、スポーツ同好会や趣味の集い等の紹介や活動状況報告など何でも歓迎します)。

☆原稿送付先(会報に関する問い合わせ)

沖縄県薬剤師会事務局 大城まで〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川 218-10TEL 098-963-8930FAX 098-963-8932e-mail: kouhou@okiyaku.or.jp



本田あきこ オレンジ日記

第200回臨時国会が召集される

厚生労働委員会・議院運営委員会・〇DA特別委員会 委員 自民党女性局次長・厚生関係団体委員会 副委員長

参議院議員・薬剤師 本田 顕子



10月4日(金)、第200回臨時国会が召集さ れました。開会式では、天皇陛下が開会のお 言葉を述べられ、その後の本会議では、安倍 首相の所信表明演説が行われました。演説で は、全ての世代が安心できる社会保障制度を 大胆に構想することを述べられました。

さて、第200回臨時国会の会期は、12月9日 までの67日間とされ、議員が所属する委員会 や調査会が決定されました。私は、厚生労働 委員会、議院運営委員会、政府開発援助等に 関する特別委員会(ODA特別委員会)及び 国民生活・経済に関する調査会の委員となり ました。藤井基之先生も厚生労働委員会の委 員となられましたので、ご指導をいただきな がら、精一杯がんばりたいと思います。先の 通常国会において継続審議となっております 「薬機法改正案」の審議が始まる予定であり、 厚生労働省からの説明を受けるなど準備に励 んでおります。

委員会の所管事項ですが、厚生労働委員会 は文字通り「厚生労働省の所管に関する事項」 とされております。議院運営委員会は「議院 の運営、国会法その他議院の法規、国立国会 図書館の運営等に関する事項」とされていま す。ODA特別委員会は「国際援助・協力に 関する諸問題を調査する」ことを設置目的と しています。

「調査会」とは解散のない参議院独自の機 関で、議員の任期が6年であることに着目し、 長期的かつ総合的な調査を行う目的で設けら れています。平成28年9月に設置された「国 民生活・経済に関する調査会」は、「あらゆ る立場の人々が参画できる社会の構築」を調 杳テーマとして、本年5月に調査報告書を取 りまとめ、議長に提出しています。

いよいよ本格的な国会での論議が始動しま した。皆様の声を背中に感じながら、私らし く進んでまいります。

スポーツファーマシストの活用

東京オリンピック・パラリンピックの開催 が、いよいよ来年に迫ってきました。オリン ピックを日本が招致できた理由の一つに、日 本がドーピングにクリーンな国であることが 挙げられたと聞いています。これまでオリン ピックが閉幕すると、ドーピング違反でメダ ルをはく奪されたとのニュースを目にするこ とがありますが、我が国選手のオリンピック での違反事例はほとんど聞いたことがありま せん。

我が国のアンチ・ドーピング対策は、日本 アンチ・ドーピング機構(JADA)が担当 しています。IADAでは、薬剤師にドーピ ング防止活動に参加してもらおうと、「公認 スポーツファーマシスト認定制度」を創設し、 認定者は約1万人になったと聞いています。 私は、小・中学校時代にバドミントン部に 属していたことからスポーツに関心があり、

スポーツファーマシストの認定を受けてい

ところで、自民党には、様々な部会、調査 会等があり、私も時間の許す限り多くの会議 に参加し、勉強をしております。10月末に開 催されたスポーツ立国調査会・スポーツビジ ネス小委員会合同会議では、安全・安心なス ポーツに向けた現状と課題に関してスポーツ 関係団体からのヒアリングが行われました。 その会議で、スポーツファーマシストについ て説明させていただき、その活用について他 の議員から後押しの発言をいただきました。

また、日本薬剤師会は、本年2月に「アンチ・ ドーピング活動保険」を導入されたと聞いて おります。ドーピング禁止薬に関する問い合 わせに、安心して対応していただき、薬剤師 の新たな機能を発揮していただきたいと思い ます。



本田あきこ



メルマガ登録



本田あきこの部屋 @89314honda





国会レポート

~ 全世代型の社会保障制度づくりへ ~

政府は全世代型の社会保障制度づくりに向けて、その司令塔となる「全世代型社会保障検討会議」を新たに設け、9月20日に第1回会合を開きました。会合では、議長を務める安倍内閣総理大臣をはじめ、西村全世代型社会保障改革担当大臣や加藤厚生労働大臣等の関係閣僚の他、経済界や学識経験者等の9人の有識者が構成メンバーとなって論議が進められました。

一方、与党自民党では「人生100年時代戦略本部」(本部長:岸田政調会長)において、全世代型の社会保障制度のあり方の検討を行うこととなりました。岸田本部長は9月24日の戦略本部会議の冒頭で、i)長く働くことのできる就業しやすい社会、ii)人々の個性や多様性を尊重し、生き方や働き方により不公平のない社会、iii)大きなリスクを皆で支える保険の原則を踏まえ、持続可能性を重視した社会保障制度の3点を挙げ、これを原則として

自由民主党政務調査会会長代理 参議院議員・薬剤師 藤井 もとゆき



検討を進めていくことを表明しました。

また、戦略本部会議では、政府から第1回 全世代型社会保障検討会議での討議資料の説明、及び「健康寿命を延ばすための予防医療 等の重要性」や「給付と負担の見直しを議論 すべき」等、当日に出された意見概要の報告 を受け、今後は医療・介護等、社会保障に係 わる関係者から広く意見を聴取したうえ、党 としての考えをまとめていくことを確認しま した。

10月に消費税率が引き上げられましたが、 2025年には団塊世代の全てが75歳以上となり、社会保障費は更に増加することとなります。誰もが将来に向けて安心して暮らせる社会を築くため、十分な議論を重ねていかなければなりません。

~薬機法改正法案の審議スタート~

台風19号による記録的な大雨により、多数 の死傷者や家屋の倒壊・浸水等、甚大な被害 が発生しました。お亡くなりになられた方の ご冥福をお祈りしますとともに、被災された 皆様方に心よりお見舞い申し上げます。

さて、第200回臨時国会が召集されて一月が経過しました。先の通常国会で継続審議となっていた薬機法等改正法案は、11月6日の衆議院厚労委員会において審議が再開されました。また、参議院の厚労委員会においても、10月29日に加藤厚労大臣の所信を聴取し、11月7日に大臣所信等に対する一般質疑を行いました。

加藤大臣は所信の中で薬機法等改正法案について、国民のニーズに応える優れた医薬品等を迅速かつ効率的に提供するための「先駆け審査指定制度」「条件付き早期承認制度」の法制化が必要なこと。及び、住み慣れた地

域で患者が安心して医薬品が使用できるよう、薬剤師による継続的な服薬指導の義務化などが必要であることから、本法案の早期成立を求めました。また、革新的な医薬品・医療機器等の開発を促進するための環境整備に取り組むとともに、ベンチャー企業への支援を実施するとしています。

この他、健康寿命の延伸のため、「第2次健康日本21」に基づき、疾病の発症予防や重症化防止に取り組むとともに、保険者による特定健診・保健指導や糖尿病の重症化予防を進めること。ゲノム医療・AI等の最先端技術の活用など、データヘルス改革を戦略的・一体的に推進することも表明しました。

薬機法等改正法案の早期成立に努めていく とともに、医療提供の充実に引き続き尽力し て参りたいと思います。

藤井もとゆきホームページ http://mfujii.gr.jp/

令和元年度第7回理事会議事概要

日時:令和元年9月14日(土)19:00~21:10

場所:沖縄県薬剤師会館 研修室

<出席者>

出席者: 亀谷浩昌、川満直紀、中村克徳、金城雄一、佐藤雅美、西川裕、宮城幸枝、

村田美智子、新垣秀幸、笠原大吾、幸地良信、古謝真己、島袋さゆり、知名博樹、

友寄安彦、中尾滋久、盛本直也、吉田洋史

監事:江夏京子

事務局:又吉章元、大城喜仁、宮城豊英

欠席者:前濱朋子、上原卓朗

議題

(1) 日本薬剤師会との連携協力に関する覚書の締結について

<資料配布>

(又吉事務局長)

前回理事会に提出した案件である。北部地区薬剤師会、那覇地区薬剤師会が持ち帰って検討した結果、本件について承認するとの連絡をいただいた。他の地区薬剤師会は前回で了承いただいている。改めてご審議いただきたい。

特に異議無く全会一致で承認された。

(2) 11月幹事会・理事会の開催日変更について

(大城次長)

11月理事会の開催予定日である11月第2土曜日の11月9日に、日本薬剤師会令和元年度九州ブロック会議が開催されることになった。亀谷会長と前濱副会長が同会議に出席することから11月理事会を11月第1土曜日の11月2日に開催したい。また、理事会開催前の幹事会についても予定していた11月5日から前週月曜日にあたる10月第4月曜日の10月28日に開催したい。

特に異議無く全会一致で承認された。

(3) 薬と健康の週間について

<資料配布>

①地元紙論壇コーナーのへの投稿について

(大城次長)

毎年、薬と健康の週間(10月17日~23日)中に地元2紙の論壇コーナーへ、県民に向けて薬と健康に関する啓発の投稿を行っている。今年度の執筆者と投稿内容を本理事会にて決定したい。

日本薬剤師会が示した同週間の全国統一事業実施要領には、引き続き「かかりつけ薬剤師・薬局」のより一層の定着を図るなど、医薬品医療機器法や薬剤師法の改正案で示される薬剤の使用状況を継続的かつ的確に把握することを目指すための行動を展開し、さらに各薬局において「かかりつけ機能」に係る取り組みの「見える化」を推進することにより地域住民・患者の理解を深め、患者本位の医薬分業の実現を目指すなど、広く国民に周知することとなっている。

これをテーマに執筆していただきたい。

また、執筆者については、配布している資料に過年度の執筆者と執筆内容が記載されているが、できれば執筆したことのない理事や部会長に執筆していただきたい。去る幹事会で執筆希望の理事がいないなら、中尾理事と盛本理事に依頼してはどうかとの提案がある。

中尾理事と盛本理事から執筆の承諾を得たうえで、特に異議無く全会一致で決定した。執筆内容等については事務局の大城と調整することとした。

②くすりと健康フェアの新聞広告について

③琉球放送(RBC)テレビCM放送について

(大城次長)

薬と健康の週間中の10月20日に沖縄県立図書館で午後1時から3時に「くすりと健康フェア」が開催される。同フェアの広報として例年、地元2紙に広告を掲載している。過年度(平成28年度)に広告を掲載しなかったことで同フェアへの参加者が少なかったとの意見があり、改めて理事会に諮った上で掲載するか否かを決定することになり、今年も議案として提示している。新聞広告は各紙共に全5段カラーで掲載。

また、琉球放送と共作の「かかりつけ薬剤師を持ちましょう」をテーマとした30秒CMも例年のように放送したい。

両提案ともに昨年と同じ料金で、事業予算は獲得している。

(亀谷会長)

過年度に新聞広告を掲載しなかった理由は、同フェアが、沖縄県、那覇市との3社主催でありながら広告料の殆どを当会が支払っていることにある。今年度は人件費等を中心に事務委託料として沖縄県が一部負担してくれている。

(吉田理事)

同フェアの開催時間が2時間というのは短いのではないか。

(大城次長)

開催時間については、沖縄県、那覇市との3社担当者会議で決定している。今回の同フェアの状況をみて、次年度に向けて調整したい。また、同フェアの「健康とおくすり相談会」は例年、南部地区薬剤師会が主催してきたが、今回は、「こども向け調剤体験」や「薬と健康のミニ講話」も同時開催であるため共催としている。「こども向け調剤体験」や「薬と健康のミニ講話」は、当会の地域保健委員会が企画している。

質疑応答をふまえ、地元2紙への新聞広告の掲載、琉球放送のテレビCMの放送の両提案ともに、賛成多数で了承された。

(4) 各種委員会委嘱について

<資料配布>

(大城次長)

7月・8月の理事会で各委員会に配置された担当理事と委員の委嘱の承認を得たが、その後、 未だ推薦されていない地区薬剤師会や部会枠にも推薦が挙がってきたので、これらの各種委員 会に推薦で挙がってきた会員について、委員委嘱の承認をいただきたい。

推薦のあった新委員の確認をしたうえ、特に異議無く全会一致で承認された。

(5) パート職員の時給引き上げについて

<資料配布>

(又吉事務局長)

パート職員の契約期限が9月末ということもあり、本来、財務委員会で協議すべき事項であるが、時間的余裕が無かったことから委員にメール送信し、本件について了承を頂いた。内容は、現在800円でパート職員を募集しているが全然応募がない。現状では850円から900円まで時給を引き上げないと募集できない状況である。既存パート職員の時給を100円程度引き上げることで、新規募集を850円から出来る状況を作りたい。既存パート職員の時給を引き上げる(時給上限1,000円)ことで職員のモチベーションをあげる効果も期待できる。賃金引き上げによる影響はさほど無いと思われるので、平均100円の引き上げが望ましい(現時点で時給1,000円の職員は据え置き)。

(亀谷会長)

経営的に問題がないなら職員のQ0L向上のためにも取り組みたい。理事の中には薬局経営者が多くいるので、経営的な観点からも意見をいただきたい。

(佐藤常務理事)

FAXコーナー職員は他の職員と差があるがその理由は何か。

(又吉事務局長)

原則FAXコーナー職員と他の職員の仕事の質を勘案すると、差をつけるのが妥当である。

(盛本理事

正職員とパート職員で時給の逆転が起きたら正職員のモチベーションに影響はないか。 (又吉事務局長)

正職員とパートの時給を比較すると一部の職員が表面上で逆転が起こるが、正職員は毎年定例給与がアップするので、3年を待たずに時給逆転現象は解消する。一方、年間賃金ベースでみると上記職員でも賞与の支給などからパート職員の最高額を上回るので、他の正職員も含めてモチベーションが低下することは無いと思う。

(古謝理事)

利益水準からみると本件の影響は少ないことは理解できたが、総会の際に年度計画に上げた人件費がアップすることになる。特に問題はないか。

(又吉事務局長)

金額的に小さいので特に問題ないと考えている。また、時給のアップに際し事務の効率化に 努め残業を出来るだけ縮減することで、影響をいくらか小さくすることが可能と考える。

(江夏監事)

中部地域はもう少し給与水準は低いように思うが、地域的なものもあり那覇地域の水準は高いのだろう。職員のモチベーションを上げることは大事なことである。

(川満副会長)

宮古地区から見るとこの水準でも安いぐらいだ。

(佐藤常務理事)

金額的には高くない水準である。

(亀谷会長)

経営的に問題なさそうなので、本件について賛否を問いたいと思う。

質疑応答の結果、賛成多数で了承された。事務局は残業を減らす努力をするように。

報告(会)

(1) 会営薬局の調剤保険料等について

<資料配布>

(又吉事務局長)

毎月理事会で報告している資料である。会営薬局の経営実態が分かるよう資料の見直しを検 討している。次回理事会までに委員会を開催し、報告内容を検討したい。

(2) 沖縄県地域包括ケアシステム入退院 PT (プロジェクトチーム) 会議

7月16日(火)沖縄県医師会 <資料配布>

(笠原理事)

沖縄県地域包括ケアシステム推進会議の1つであり、入退院支援に関する会議である。行政、 各職能団体などから推薦された委員で構成されている。

(3) 令和元年度国民体育大会第39回九州ブロック大会 秋季大会監督会議

7月25日(木) 沖縄県体協スポーツ会館 <資料配布>

(笠原理事)

笠原理事と薬事情報センターの吉田典子氏が参加した。スポーツファーマシストに関する会議である。

(4) 沖縄県医療提供協議会小児医療部会

8月8日(木)沖縄県医師会 <資料配布>

(笠原理事)

沖縄県医療提供協議会の1つであり、小児医療分野に関する会議である。どの医療団体も小児医療分野の専門家が少ないという課題があり、小児医療に特化していかなければならないという声が上がった。

(5) 令和元年度第5回学校薬剤師部会役員会

8月18日(日) 県薬 <資料配布>

(知名理事)

今年度の事業計画について議論した。

(6) 株式会社じほうより取材

8月20日(火) 県薬 〈資料配布〉

(笠原理事)

本会が6月に立ち上げた「健康サポート薬局推進委員会」について取材があり、亀谷会長と 笠原理事が対応した。推進への取り組みと事業計画などを述べた。取材記事は、8月29日付の PHARMACY NEWS BREAKに掲載された。

(7) 令和元年度第1回健康サポート薬局県内100軒実現に向けての研修会

8月21日(水) 県薬 〈資料配布〉

(笠原理事)

「経営面から健康サポート薬局実現を考える」と題し、会営薬局うえはらの仲真薬局長と又 吉事務局長が講師を務めた。受講者は39名であった。

(8) 令和元年度第1回健康づくり推進協議会(福寿うちな~推進協議会)

8月22日(木) 全国健康保険協会沖縄支部 〈資料配布〉

(前濱副会長)

沖縄県はGE薬使用率全国1位である事や、インセンティブ制度の順位も上げてきている事が報告された。本会活動としては、GE薬利用促進に係る講演などを実施していく。

(9) 令和元年度第1回沖縄県医療提供体制協議会 8月23日

8月23日(金) 県庁 <資料配布>

(亀谷会長)

令和元年度の基金要望に関する会議であった。本会からは、訪問薬剤管理指導業務の研修補助事業、健康サポート薬局モデル化事業、薬剤師確保対策事業を要望している。

(10) 令和元年度沖縄県禁煙協議会総会

8月23日(金)沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ <資料配布>

(笠原理事)

勝連貴子氏が出席した。職能団体やマスコミ関係なども招いて開催している。昨年度の実績報告を笠原理事が作成し、勝連氏に報告してもらった。

(11) 令和元年度日本薬剤師会学校薬剤師部会学校環境衛生検査技術講習会・情報交換会

8月24・25日(土・日) 横浜薬科大学 <資料配布>

(知名理事)

上原理事と知名理事が出席した。技術習得を目的に行う講習会で、日本全国から74名の学校 薬剤師が参加した。2年に1回開催されている。会員に伝達講習会を実施していきたい。

(12) なごみ会主催第9回県民健康フェア2019

8月25日(日)沖縄コンベンションセンター <資料配布>

(盛本理事)

県内17の医療団体が参加した。薬剤師相談員が29名、本会ブースには約140名の参加者があり、 盛大に執り行われた。

(13) 令和元年度第3期薬局実務実習オリエンテーション 8月26日(月) 県薬 <資料配布> (佐藤常務理事)

第3期実務実習生3名にオリエンテーションを行った。

(14) 沖縄県振興審議会第2回福祉保健部会

8月27日(火) 県庁 <資料配布>

(亀谷会長)

子育でセーフティネットに関する会議であり、今後の事業計画等について報告された。9月中旬に開催される同議会内の「学術・人づくり部会」にて薬学部創設に関する話をするため、特別に許可を得て参加することが決定している。

(15) 令和元年度第1回薬事情報センター委員会

8月27日(火) 県薬 〈資料配布〉

(中尾理事)

同委員会にて、薬事情報センターに寄せられたクレームについて、各委員会や関係部署にも 情報提供し、接遇研修会や症例研修会等を開催してほしいと意見があった。亀谷会長から、監 事会や組織強化委員会で検討し、対応策や関係部署を決定していってはどうかと提案があった。

(16) 令和元年度第1回医療保険委員会

8月29日(木) 県薬 〈資料配布〉

(宮城常務理事)

新委員が委嘱された。個別指導立ち合いに関して、新規指導・個別指導での資料の準備不足 が多いと意見があった。また、調剤報酬改定説明会の日程について調整中である。

(17) 令和元年度健康長寿おきなわ復活県民会議 8月30日(金) 県庁 <資料配布>

(亀谷会長)

沖縄県の健康長寿復活に向けた会議である。県内企業の健康づくりの取り組みなどが紹介さ れた。会議では、亀谷会長は歩くことの重要性について発言した。

(18) 薬剤師のかかりつけ機能強化に向けた全国会議

9月1日(日) TKP市ヶ谷カンファレンスセンター <資料配布>

(西川常務理事)

川満副会長、潮平英郎氏、私の3名が参加した。日薬がシラバスを作成したのでそれを基に 県薬で研修会を実施してほしい。作成目的は、研修機会を充実し、体系的に学ぶ研修会を提供 することで6年卒との医療薬学教育のギャップを埋めるためである。また、県薬事業の論文化 にも積極的に取り組んでほしい。単なる報告書ではなく、成果が伴っている事を国民に周知し てほしいとの考えである。

(19) 令和元年度FAXコーナー職員向け研修会

9月1日(日) 県薬 <資料配布>

(大城次長)

同研修会は、FAXコーナー職員より開催要望の意見があり、初開催した。講師は平良恭子氏で、 受講者は各FAXコーナー職員。今後は2年に1度開催しているFAXコーナー担当者意見交換会に盛 り組むことを計画している。

(20) 沖縄県医療審議会並びに医療法人部会 9月3日(火) 県議会棟会議室 <資料配布> (亀谷会長)

委員として参加した。医科診療所4件、歯科診療所2件の医療法人設立認可についてと医療 法人吸収合併認可の可否について審議した。何れも申請通り認められた。

(21) 令和元年度沖縄県がん対策推進協議会

9月4日(水) 県庁 <資料配布>

(金城常務理事)

委員として参加した。委員は医療団体や多職種で構成されている。

(22) 令和元年度第1回スポーツ医・科学委員会

9月4日(水)沖縄県体協スポーツ会館 <資料配布>

(笠原理事)

笠原理事と薬事情報センターの吉田典子氏が参加した。スポーツファーマシストとして参加 している委員会である。

(23) **市町村地域診断カルテ説明会** 9月4日(水) パシフィックホテル沖縄 <資料配布> (笠原理事)

沖縄県地域包括ケアシステム推進会議委員として参加した。市町村の介護保険のレセプト データから地域診断カルテを作成したのでそれについての説明会であった。在宅医療に関係す るデータもあったので、今後提供していきたい。

(24) 令和元年度第2回医薬分業対策委員会

9月4日(水) 県薬 〈資料配布〉

(西川常務理事)

委員会の役職を決定した。今後の事業内容などについて協議した。

(25) 令和元年度健康サポート薬局推進委員会小会議 9月6日(金) 県薬 <資料配布> (笠原理事)

在宅医療推進に関する事業計画について協議した。

(26) 2019年度第3回認知症疾患医療連携に関する情報交換会

9月7日(土) P's SQUARE <資料配布>

(中尾理事)

笠原理事と中尾理事が参加した。各団体との連携を密にするための情報交換会である。各団体の取り組みや強み、今後の課題を発表・分析した。

(27) 令和元年度第3回沖縄県認知症施策推進会議

9月9日(月)沖縄県産業支援センター <資料配布>

(中尾理事)

沖縄県地域包括ケアシステム推進会議委員として参加した。薬剤師への課題として、服薬状況などから認知症の「早期発見」につながる様な連携を取っていける実践研修の必要性があると沖縄県から意見があった。

(28) 令和元年度第2回薬学生実務実習受入委員会

9月9日(月) 県薬 <資料配布>

(佐藤理事)

WS参加者の申請状況と令和2年度実務実習生の受入準備を既に行っている。

(29) 社会保険診療報酬支払基金幹事会

9月11日(水) 社会保険診療報酬支払基金 〈資料配布〉

(亀谷会長)

支払基金の定例報告と今後の決定事項などが報告された。

(30) 2019年第2回地域医療支援病院運営委員会 9月12日(木) 豊見城中央病院 <資料配布> (亀谷会長)

豊見城中央病院と地域の医療施設間の地域連携実績報告があった。その他、豊見城中央病院の「糖尿病・代謝内科」への取り組みについて説明があった。

(31) 沖縄県薬物乱用防止協会臨時総会

9月12日(木) 自治研修所 〈資料配布〉

(前濱副会長)

講演会への参加案内があった。学校薬剤師にはぜひ参加していただきたい内容の講演会である。

(32) 沖縄総合事務局公正取引室 来訪

9月13日(金) 県薬 〈資料配布〉

(又吉事務局長)

琉大FAXコーナー料金の値上げについて、背景・理由について説明した。

(33) 琉球大学医学部附属病院FAXコーナー FAX料金値上げについて

<資料配布>

(又吉事務局長)

前回理事会でFAX料金値上げについて了解いただいたので、関係先へ値上げ通知の文書を送付した。

(34) 代議員補欠選挙候補者受付の結果について

<資料配布>

(大城次長)

那覇東支部から北原久弥氏、上原幸代氏の2名、平良支部から下地仁氏が無投票で当選された。 従って、会員による投票の必要がなくなった。

(35) 厚生労働省関係国家戦略特別区域法施行規則の一部を改正する

省令(案)に関するご意見の募集について <資料配布>

(亀谷会長)

薬剤遠隔指導等を実施できる条件を緩和する改正に対して反対である旨のパブリックコメントを提出した。

(36) おくすり相談室に寄せられた一般からのご意見・苦情

<資料配布>

(中尾理事)

今年の7~8月に寄せられた意見・苦情である。

(37) その他

(川満副会長)

かかりつけシラバスについて、県薬と地区薬が密に連携を取り、研修会を実施する事が必要 になるため各担当理事はご留意ください。

(大城次長)

シラバスの研修内容を実施する委員会については、これから亀谷会長および西川常務理事と 協議し、各委員会に案内する予定である。

(村田常務理事)

沖縄県に女性の資質向上のために活動している「女性の翼」があるが、年に1度海外研修会と交流会がある。その講演会チケットを購入してほしい。

(大城次長)

研修会や委員会などの際に、小児保健協会の許可を得ていない場合は同駐車場を利用しないでほしい。

報告(薬連)

(1) 翁長雄志さんを偲ぶ会

8月22日(木) 沖縄空手会館 <資料配布>

亀谷会長が出席した。

(2) 日本薬剤師連盟 令和元年度組織強化に関する担当者全国会議

8月29日(木) スクワール麹町 〈資料配布〉

(亀谷会長)

本田あきこ議員の参院当選に関する分析報告と更なる組織強化に関する会議であった。3年後の参院選への取り組みについての説明があった。

令和元年度第8回理事会議事概要

日時:令和元年10月5日(土)19:00~20:45

場所:沖縄県薬剤師会館 研修室

<出席者>

出席者: 亀谷浩昌、川満直紀、中村克徳、前濱朋子、金城雄一、佐藤雅美、西川裕、

宮城幸枝、村田美智子、新垣秀幸、上原卓朗、笠原大吾、知名博樹、中尾滋久、

盛本直也、吉田洋史、下地睦夫(宮古地区代理)

監事:神谷朝雄

事務局:又吉章元、大城喜仁、長嶺勇作

欠席者:幸地良信、古謝真己、島袋さゆり、友寄安彦

議題

(1) 第81回臨時総会の開催日について

(大城次長)

毎年3月に開催している臨時総会の開催日について提案する。2年に1度、年度末に開催している集団指導及び調剤報酬改定説明会は、令和2年3月29日(日)に開催することになった。そこで、第81回臨時総会を同説明会開催日の前週にあたる令和2年3月22日(日)午後1時から開催することを提案する。

特に異議無く、全会一致で承認された。

(2) 令和元年度沖縄県薬剤師会会長表彰について

<資料配布>

(亀谷会長)

去る10月4日に表彰選考諮問委員会を開催し、5名の会員を表彰することに決定した。地区薬 剤師会(那覇、中部、南部、宮古)から4名、部会(女性薬剤師、行政薬剤師)から2名、計6 名の推薦があったが、会員歴や当会への貢献度を評価して4名を選出。あと1名は、学校薬剤師 及び県内2番目の健康サポート薬局開設者として地域貢献し、当会の各種委員会の委員として も尽力している平良恭子氏を、諮問委員の総意として会長推薦枠で選出した。

特に異議無く、全会一致で承認された。

(3) 公用車購入について

<資料配布>

(長嶺主任)

去る9月21日の台風により、公用車(事務局用・軽自動車)のリアガラスが割れてしまい、 使用できない状況である。修理を検討したが、外装の剥がれやその他不具合等もあることから 購入を検討することになった。普通車・軽自動車の新車・中古車の中から利便性・価格を重視 して事務局で検討し、購入後は理事会にて報告することとしたい。

意見として、

- ・災害対策委員会としては、今後を見据えて電気自動車も候補としていただきたい。
- ・破損した車は、新車で購入して16年使用してきた実績があることから、新車で購入した方が計画を立てやすいのではないか。

という提案があった。これらの提案も考慮し、購入することに対して特に意義無く、全会一致で承認された。

(4) 沖縄県総合医療フォーラム (仮称) 開催について

<資料配布>

(又吉事務局長)

去る9月24日に沖縄県医師会で沖縄県総合医療フォーラム(仮称)の構想について、真境名勉沖縄県歯科医師会会長から説明があった。趣旨に賛同いただけるかは各会で決定をしてもらいたいとのことだった。開催日は令和2年12月5日(土)と6日(日)の2日間。今後の高齢社会における地域包括ケアの推進等を目的に、多職種の交流・連携を図るべく、関係団体で合同学術大会を開催したい。プログラム、費用等、その他詳細は今後協議したいとのことだった。(亀谷会長)

各地域で医療団体が協同で地域包括ケア事業を進めることを推奨している。

特に異議無く、全会一致で承認された。

報告(会)

(1) 会営薬局の調剤保険料等について

<資料配布>

(又吉事務局長)

毎月理事会で報告している資料である。会営薬局とよみに関しては豊見城中央病院移転に備えた動きが影響して、漸減していると思われる。

(2) 令和元年度第1回医薬分業対策委員会主催研修会 9月15日(日) 県薬 <資料配布> (西川常務理事)

「これからの調剤業務のあり方~薬学的視点による患者対応/処方提案へ~」と題して、北海道科学大学薬学部教授の早川達氏を招聘し研修会を開催した。参加人数は52名。

(3) 令和元年度医薬分業対策会議

9月15日(日) 県薬 〈資料配布〉

(西川常務理事)

会長、副会長、常務理事、医薬分業対策委員会委員、地区薬剤師会の会長及び医薬分業担当者、病院薬局長等、計22名が出席した。「調剤業務のあり方について」をテーマに、4グループに分かれてグループディスカッションを行った。ディスカッションを通して、病院側と薬局側で考え方や意見が一致する部分や異なる部分がみえてきた。一致する部分としては、非薬剤師の活用で薬剤師の仕事量が軽減され、その分、病棟業務や患者に時間を割くことができるとのことだった。意見が異なる部分では、調剤業務が機械化されていく中で、どこまでが調剤でどこからがそうでないのかという線引きが難しく、グレーゾーンが広がる一方ではとの懸念であった。これに関連して、上田薬剤師会に「調剤業務のあり方について」のインタビューを行った。詳細については会報に掲載するのでご覧いただきたい。

(4) 沖縄県振興審議会 第3回学術・人づくり部会 9月17日(火) 八汐荘 < 資料配布 > (亀谷会長)

薬学部創設に向けての意見を述べてきた。同審議会では好意的な反応であった。今後も関連 する部会等があれば、意見を述べていきたい。

(5) **令和元年度第2回給食センター衛生検査研修会** 9月19日(木) 県薬 <資料配布> (知名理事)

笠原理事が講師を務め、参加者は23名であった。6月に開催した第1回研修会の内容とは違い、概要や検査方法、報告書の作成方法を具体的に説明していた。

(6) 健康サポート薬局研修担当者全国会議

9月20日(金) TKP新橋カンファレンスセンター <資料配布>

(笠原理事)

健康サポート薬局研修実施要領等の変更点として、研修会の自己評価に事後評価(9段階評価)が追加された。今後の研修についてプログラムの見直しがあり、新規者と更新者が同時に受講することが生じるため、内容について配慮が必要となる。注意点としては、受講証明書は期限が短い(3年間、e-ラーニングは2年間)ため、是非、研修終了証(6年間有効)を取得していただきたい。その他、健康サポート薬局数が伸びている県では、チェーン薬局の届出が寄与している傾向があるとのこと。また、A研修については、今後、未病の事例も盛り込み、B研修では症候学の視点からではなく、いかにOTCを選ぶかの知識をつけてもらう研修にシフトしていく。

(7) 令和元年度女性薬剤師部会第28回漢方講座 (村田常務理事)

9月22日(日) 県薬 <資料配布>

連休の中日ということもあり参加者が39名と少なめであった。10年近く開催してきたが、参加する会員の漢方薬に対する理解度が異なるということもあり、今回は講師の先生にお願いして、基礎に重点を置きつつ臨床までを含めた講義を行っていただいた。

(8) 第12回熟年の集い 9月22日(日) ダブルツリーb y ヒルトン那覇首里城 < 資料配布 > (前濱副会長)

熟年の集いも12回目の開催。本会務の報告方々、熟年の方々へ長年の本会への貢献に感謝したく、ささやかな集いの場として広報委員会が開催してきた。平成19年の第1回の集いでは55名が在籍されていたが、今年の第12回は206名も在籍されている。事務局作成の「"薬剤師会"と"熟年の集い"のあゆみ」がスクリーンに映し出されると、懐かしげに見入っていた。第1回の集いから参加している宮城初枝氏が思い出を一つ一つ振り返りながら語る姿が印象に残った。特別余興は、RBCラジオ「民謡で今日拝なびら」でお馴染みの八木政男氏による「"しまくうとうば ありんくりん"」であった。

(9) 令和元年度第3回広報委員会

9月24日(火) 県薬 〈資料配布〉

(大城次長)

令和元年5・6・7月号 (298号) で誤記載あり。①狩俣イソ氏が連載している「暮らしの中の薬草学」のテーマが、正しくは「スベリヒユ」であるが「ベニバナ」と掲載された。②理事名簿における氏名、勤務先に誤記があった。この誤記載について、訂正とお詫びの記事を現在編集している令和元年8・9・10月号 (299号) に掲載する。

薬学生実務実習報告記事について、1期・2期の40余名の感想文は使用ページが多くなることから、1期・2期から各3名程の感想文を選抜できないかとの意見があった。薬学生実務実習受入委員会に伝えることになり、後日、同委員会委員長と検討した結果、1期と2期を分けて掲載することとした。

エッセイなど会員の投稿が少ないことから、薬事情報センターが収集、執筆してきたサプリメントや健康食品・健康分野などの一般向け記事の掲載、巻頭言やリレー随筆を再スタートさせるなどの検討をする。

(10) 第131回那覇市国民健康保険運営協議会 9月25日(水) 那覇市役所本庁 <資料配布> (吉田理事)

平成30年度から県が財政運営の責任主体となり、県から市に交付することになった。平成30年度の特定検診受診率・特定保健指導実施率の実績は、特定検診受診率は徐々に増加しているが、特定保健指導実施率は増加傾向にあったものの、平成28年度から低下している。

(11) なごみ会主催県民健康フェア第6回実行委員会 9月25日(水)沖縄県医師会館<資料配布> (長嶺主任)

同フェアの報告・反省会であった。今回の参加者は昨年と比べて200名減の約1,000名であった。毎年各団体には負担金の割合があり、薬剤師会は昨年同様70,000円に決定された。来年の開催日は9月6日を予定している。今年10月末に開催されるなごみ会幹事会にて決定される。

(12) 令和元年度地域における薬剤師・薬局の機能強化及び調査・検討事業の説明会

9月25日(水) 県薬 〈資料配布〉

(笠原理事)

同事業は今年度、那覇地区薬剤師会と那覇市医師会で共同して事業を実施する。そこで、那覇市医師会が利用しているカナミックネットワーク(医療介護連携システム)を無料で利用することの許可を得たので、事業に参加する薬局にカナミックネットワークの使い方などを説明した。

(13) 令和元年度第6回学校薬剤師部会役員会

9月29日(日) 県薬 〈資料配布〉

(知名理事)

当部会へ薬と健康の週間中に開催される「くすりと健康フェア」でのミニ講話の講師依頼があった。"薬物"の害については私が、薬の正しい使い方については上原理事が講師となることに決定した。

県内ではATP検査(拭き取り検査)を実施していない給食センターが多いことから実施に向けて学校薬剤師部会と試験検査センターで準備を進めている。

(14) 令和元年度第1回地区薬剤師会会長会議

9月29日(日) 県薬 〈資料配布〉

(亀谷会長)

薬学部創設を求める活動の進捗報告、薬と健康の週間中の各種事業の予定の確認、第33回沖縄県薬剤師会学術大会の演題申込状況、薬事功労受賞者合同祝賀会・新年会の開催日時と会場の確認、第25回参議院議員通常選挙における本田あきこ氏当選の結果内容の確認、薬剤師のかかりつけ機能強化のための研修シラバスについてなど、地区薬剤師会と関連する事項を話し合った。

(又吉事務局長)

協議事項として、那覇地区薬剤師会より、①会営薬局とよみの今後の運営について、②当会職員の有給消化率及び残業状況について、提示があった。

豊見城中央病院は来年夏頃を目途に豊見城市与根への新病院移転を計画しており、現在の敷地には南部病院が移転して来る予定。会営薬局とよみは現在地に留まるが、処方箋取扱減少が想定される。会営薬局とよみの今後の運営に関し、2~3年先には健康サポート薬局体制を確立し、地域包括ケアシステムにおける薬局として展開できるよう、人材育成と店舗構想を考えていきたい。

当会職員の有休休暇及び残業状況について、全体として上半期実績は前年比で改善している。 職員個別にみても1名増加している者がいるが、他の多くの職員は減少している。

(15) 第2回九州山口各県代表者会議

9月30日(月)福岡県薬剤師会 <資料配布>

(亀谷会長)

川満副会長と出席した。山口県で開催される日薬学術大会の事前申し込み数は7,428名で順調に進んでおり、当日参加者も含めると12,000~13,000名を予想している。参加者を増やす工夫として、山口県薬剤師会の負担で薬学生(二百数十名)を無料で参加させているとのことである。

3年後の参議院選挙に藤井基之議員が立候補しないことで、日本薬剤師連盟は新たに組織内候補者を探しているとのことであった。

(16) **令和元年度第2回健康サポート薬局推進委員会** 10月1日(火) 県薬 <資料配布> (笠原理事)

在宅訪問研修事業の補助金が交付されそうなので、早急に今年度事業を実施していく。県薬ホームページに在宅医療支援薬局一覧を掲載しているが、他職種から依頼があった際に断る薬局が出てきているのでリニューアルを行う予定である。健康サポート薬局の届出が少ないことから、既存の薬局がどこまで健康サポート薬局に適応しているか調査を行ったところ、80薬局から回答があった。その中で地域支援体制加算の届出をしている薬局やかかりつけ薬剤師の加算を取得している薬局へ、今後健康サポート薬局の届出をするよう促していく。

(17) 令和元年度第2回学術研修委員会

10月1日(火) 県薬 〈資料配布〉

(中村副会長)

委員長に潮平英郎氏、副委員長に金城雄一氏と中尾滋久氏が就任した。

県から、令和2年度沖縄県地域医療介護総合確保基金新規事業要望調査表が届き、福岡県で開催されている「認定薬剤師取得セミナー」受講者の旅費等で、県衛生薬務課に提案し、10月1日に衛生薬務課より内定の連絡があった。県薬会員はもちろん、病薬からも多くの方が参加できるよう企画したいが、同基金の補助率が総事業費の2分の1であるため、県薬負担が大きい。非会員の病薬の入会および会費等について考慮、整備することを模索していく。

第33回沖縄県薬剤師会学術大会について、発表演題は保険薬局部門8演題、病院診療所部門7演題、行政薬剤師関連1演題、女性薬剤師部会1演題の計17演題。プログラム作成では、特別講演、ランチョンセミナーもふまえ、審査員が審査しやすいように大まかなジャンル分け等を行って決定した。週明けには、このプログラムを掲載した参加案内文書を会員へFAX一斉同報する。

(18) 多職種コンソーシアム実践研修会事前会議

10月3日(木)沖縄県総合福祉センター <資料配布>

(笠原理事)

多職種連携ケアマネジメント基盤強化のために、今年度は令和2年1月18日に"多職種コンソーシアム実践研修会"が実施されることが決定した。

(19) 会営薬局とよみ会議

10月3日(木) 会営薬局とよみ 〈資料配布〉

(又吉事務局長)

今年6~8月の期間でパート薬剤師を2名採用したことにより、応援薬剤師に頼っていた運営がかなり改善された状況となっている。来年夏の豊見城中央病院の移転を控え、今後運営体制を検討すべきニーズが高まっている。

会営薬局うえはらの今年中の健康サポート薬局認可について、運営体制を検討する必要がある。会営薬局医療センター前についても、会営3薬局事務の統括管理を検討するステージにある。これにより、会営薬局とよみ会議を今回で終了し、次回からは会営薬局委員会の下部組織として会営薬局連絡会議とする。

(20) 令和元年度第1回沖縄県薬業連合会代表者会議

10月4日(金) ダブルツリーbyヒルトン那覇首里城 <資料配布>

(亀谷会長)

沖縄県薬業連合会は、当会、医薬品卸業協会、医薬品登録販売者協会、医薬品配置協議会から成り、その代表者が集まって薬と健康の週間中の各団体の開催事業を確認した。令和元年度の各団体の被表彰者の確認、令和元年度薬事功労受賞者合同祝賀会・新年会の開催日の決定などについて話し合われた。

(21) 令和元年度第1回表彰選考諮問委員会

10月4日(金) 県薬 〈資料配布〉

(又吉事務局長)

議題2でもあったように、沖縄県薬剤師会会長表彰の選定を行った。

(22) 薬剤師のかかりつけ機能強化のための研修シラバスの配置について <資料配布> (西川常務理事)

今後、日本薬剤師会の例示をもとに、各委員会ならびに地区薬剤師会に割り振りして研修会 に盛り込んで実施していく。また、シラバス委員会の設置も検討する。

報告(薬連)

(1) 日本薬剤師連盟「次代を担う薬剤師フォーラム」

9月15・16日(日・月) クロス・ウェーブ船橋 <資料配布>

(亀谷会長)

石川恵市副幹事長が出席した。

(2) 自由民主党 一日政調会 9月17日(火) 沖縄ハーバービューホテル <資料配布> (亀谷会長)

薬学部創設に向けての協力を要請した。

(3) 日本薬剤師連盟 令和元年度臨時評議員会 9月18日(水) スクワール麹町 <資料配布> (亀谷会長)

7月に行われた参議院選挙の総括を行った。また、3年後の選挙では現職の藤井基之議員が出 馬しないため、組織内候補者を探していくとの事であった。

(4) 衆議院議員國場幸之助『「沖縄保守」宣言 壁の向こうに友をつくれ』出版記念祝賀会

9月21日(土) ノボテル沖縄那覇

(亀谷会長)

國場幸之助議員が本を出版したので記念祝賀会に出席した。

新聞広告

沖縄タイムス 令和元年10月12日 (土)・琉球新報 令和元年10月13日 (日)



告知ポスター

《可以通過刀起》

➡▽「心身ともに健康」

「薬と健康の週間」は、厚生労働省、都道府県、日本薬剤師会および都道府県薬剤<mark>師会が主催し、</mark> 医薬品を正しく使用することの大切さ、そのために薬剤師が果たす役割の大切さを一人でも 多くの方に知ってもらうために、ポスターなどを用いて積極的な啓発活動を行う週間です。

健康とおくすり相談会際師健康とは第の推定とは対







動脈硬化・骨密度・体成分・血圧などの測定コーナーを設置。日頃、使用している医薬品(処方薬、市販薬など)や健康食品、サプリメントの疑問を解決します。また、健康で長生きするための生活習慣(栄養、運動、休養、喫煙、飲酒など)のコツについても薬剤師がお答えします。

###: 画部地区業剤師会

薬剤師になろう!

楽しい実験し

薬と健康のミニ講話

①かかりつけ薬局・薬剤師②"薬物"の害について

の変の正しい使いす



- □ 元年10月20日 目
- 時午後1時~午後3時
- ★沖縄県立図書館
- 場那覇市泉崎1-20-1

※ご来場の際は、バス、タクシー、 モノレール等をご利用下さい。



お薬手帳のいこと

- ⑤医療機関にかかる時は必ず持っていきましょう
- ●言いたい事や伝えたい事を書いておきましょう
- 一般用医薬品(OTC医薬品・大衆薬)・健康食品も記録して
- りいつも携帯・いつも同じ場所に保管して
- ①一冊にまとめましょう

あなたのスマートフォンがお薬手帳になります!

※会場の都合により、定員を超えた場合はご入場をお断りすることがありますので、あらかじめご了承ください。

かかりつけ薬局・薬剤師をもちましょう。健康とお薬については、お近くの薬局・薬剤師にご相談下さい。

主催:沖縄県・那覇市・沖縄県薬剤師会

転載記事

令和元年10月17日(木)琉球新報

解釈によって、逆に

ノリメントが誤った

琉球新報

2019年10月17日 その時は、薬の専門 ことも考えられる。 健康被害をおよぼす

家である薬剤師に相談してい 健康診断を受け、軽い症状で 生活習慣に配慮し、定期的に ただきたい。 日頃から自分の健康状態や

あれば市販薬を活用するな

いる場合、

飲み合わせや副作

とめに管理し、

生活習慣を把

れば、住まいの近くにある「か

薬や健康のことで不安があ

?」「この薬は何の薬か、いつ ?」。薬を服用するとき、こう もらったか分かる?」「前にも いった不安を持つことがない らった薬を今、飲んでいい だろうか。本来、健康のため にあるはずの薬やサ 薬の飲み合わせは大丈夫

論

壇 がお薬手帳を確認するのは、 メディケーションが昨今徐々 かり管理しようというセルフ ど、自分の健康は自分でしつ に浸透してきている。薬剤師

服薬の記録をするだけでな

直也

かかりつけ薬剤師とお薬手帳

く、お薬手帳をセルフメディ

に記載してほしい。

合があり得るので、

お薬手帳

処方薬との飲み合わせに不都

販薬を服用している場合は、

ていただきたい。

することができる。また、市 うことで薬による被害を予防 用が起きた薬を記載してもら

握して薬物治療がより効果的

かりつけ薬局」の

「かかりつ

だきたいからである。 ら作用の違う薬が処方されて 方もいる。複数の医療機関か 複数の医療機関にかかられる 多くの病気を同時に抱え、 よびサブリメント等をひとま 処方薬や市販薬、健康食品お

ケーションにも活用していた 健康維持の を伝達する健康管理の記録と 録でき、医師、薬剤師に情報 ため活用を 体調変化や病状の変化も記

して活用できる。お薬手帳に、 るのである。 ターとしての役割を担ってい

薬剤師」も薬に関するサポー 整備している。「かかりつけ その他の医療従事者が連携 り、安心して療養生活が送れ 療養に適したサポート体制を るよう医師や看護師、薬剤師、 し、チームを組んで在宅での

治療を受けた後は自宅に戻 以外でも活動している。入院、

民の健康サポートとして薬局 になるようアドバイスをする 「かかりつけ薬剤師」 「かかりつけ薬剤師」は県 健康に関する幅広い知識をも ただきたい。 け薬剤師」が話を伺い、薬や とに解決策を提案するであろ 「かかりつけ薬剤師」 を

上手に活用し、さらに安心・ ついて相談したいことがあっ 安全な健康生活を維持してい 薬やサプリメント、健康に

OOM (060) 8005° い合わせていただきたい。 ぜひ、沖縄県薬剤師会の「お 局、薬剤師がいない場合は、 くすり相談室」まで気軽に問 ても、近くに相談のできる薬 沖縄県薬剤師

7

理事、49歳

※発行元が記事利用を許諾しています。

イムス

古謝真己



皆さんはご自身やご家族 の健康面や服用中のお薬の ことで心配事はありません か?例えば、「同じ薬を 何年も服用しているが、こ のまま続けて服用してもい いのでしょうか」「父親が 病院の薬をバラバラに箱に 入れて保管しているが、し つかり服用できているか不 安」「親の介護を事業所に お願いしたのだが、どこに 連絡していいのかわからな い」「子供の成長の度合い が遅い気がする一など。あ なたの心配事を解決しお手 伝いをするのが「かかりつ け薬局」であり、「かかり つけ薬剤師一の役割です。 どんな病院にかかってい

で話すのはもちろいます。で話すのはもちろんます。プライベートならろれまれの話を課せられていますが、はければなりませんの秘密を守る義のななななななられならません。薬剤をあなたから教えてもらない、様々なこと しっかりとれているのか、様々なことののか、は無ほ間を確保で、さんな薬を服用しているのか、さんな生活環境で

たいのです。「かかりつけれる薬局を持っていただき薬剤師、真摯に対応してくおける薬剤師、話しやすいそこで、あなたの信頼の

て一元管理してくれます。どを「お薬手帳」をとおし薬局に絞ることで、薬歴なてもらうのです。一か所の健康食品の相談も同時にしてもらい、一般販売の薬や薬局」で病院の薬を調剤し

できる施設の紹介などのアできる施設の紹介などのア手段がなければ訪問診療のしたり、高齢で病院に通う診療所や専門の医師を紹介。とこオンを得るために病院したり、病気のセカンドオは、他の医療関係者を紹介対応できないことなけではありませんが、薬

「かかりつけ薬剤師」は、 皆さんの健康サポートとし て薬局以外の場所でも活動 しています。入院、治療を 受けた後は自宅に戻り、在 宅で療養を継続する体制が 国の方針として推奨されて います。自宅にいても安心 して療養生活が送れるよう 医師や看護師、薬剤師、そ の他の医療従事者が連携 し、チームを組んで在宅で の療養に適したサポート体 制を整備しています。「か かりつけ薬剤師」も薬に関 するサポーターとしてその 役割を担っているのです。

局・薬剤師へぜひお問い合もしれません。お近くの薬をしれません。お近くの薬安心材料の一つになれるかていただければ、あなたのつけ薬局・薬剤師」を持ってはならい近くに「かかりみども薬剤師は、皆さま

宮古島市、\$4歳)(沖縄県薬剤師会理事、

2010~9・2・2・2 沖縄タイムス -

論恒

#

49

転載記事

令和元年10月14日(月)沖縄タイムス



令和元年10月13日(日)琉球新報

くすりと健康フェア 20日に県立図書館で 薬剤師の相談会も

薬と健康の週間 (17~23 日) に合わせて県と那覇市、 県薬剤師会は20日午後1時 から、那覇市の県立図書館 で「くすりと健康フェア」 を開く。薬剤師による相談 会や子ども向けの調剤体 験、ミニ講話などが実施さ れる。

相談会では、日頃服用し

ている医薬品やサプリメン トについて薬剤師が相談に



きる。

動脈硬化 や骨密度 などが測 定できる コーナー を設置 し、健康 について も相談で

県薬剤師会の大城喜仁さ

んと宮城敦子さん=写真 右、県衛生薬務課の大城由 希子さん=同左=が11日、 琉球新報社を訪れ「何でも 相談できるかかりつけ薬局 ・薬剤師をもってほしい。薬 剤師とじっくり話したい人 に来てほしい」と呼び掛け た。問い合わせは県薬剤師 会事務局☎098(963)8930。

※発行元が記事利用を許諾しています。

噩

幣

Ш

伸

 $\widehat{\mathbb{K}}$

Ш

和元年10月17

158000F

栗間がいま大きく変わろうとしている。単に処方箋を簡別 したり、市販業を販売したりするだけでなく、地域医療との 確携に力を入れ、同時に「かかりつけ寒剤師・寒間」として、 住民一人いとりの健康をサポートする拠点になることを目間 している。け日から郊日まで「美と健康の趣間」(厚生労働 宮、日本業剤師会など主題)。 薬局・薬剤師を与っと見なな 存在として古用し、ヨ号の建業を存を図りたい。

自分の生活圏内に かかりつけ薬局を

京都の生まれ育った町で 発売を受けて日本業を対する **紫樹大店,和桃園椰菜** [图 **長 取解 7 出 開 4 圓 4 四 4 年 3 日 3 日** に据述く薬団を目指してい る」と美間のあるべき姿を 類√

これはとういう意味か。 例えば、市販の風邪業や同 開業を置い間合、自分の対 断で練を買ぶこともある が、とまとして「原が出と くくなる」「眠くなる」と いった思わな部で用に苦し ですースがある。しかし、 打ちって禁御部に西蒙され ば、副作用の予的など大き 16×つかんちばいかいかい

いつまでもなく薬剤部は 大学での年間、薬に関する 専門知識を学んだ案の専門 深である。市販業にも多く の種類がある。健康さんは

「前立機能大などで尿の出 にくい症状を持つ人が市販 殊が無い陽色、半形が困難 になる副作用を防ぐため に、展を出にくくるる作用 がある成分を含む案をひん ではいけないとアドバイス PANOL TIMEPO

この間から分かるように 楽司を利用する人にとって まず必要なのは、気軽にい つでも相談できる「かかり つけ業別師・業間」を与り NARA

かかりつけ業別部・業団 は身近にもつことが大事

一般に医院関がら近方 箋をもらうと、その好くに ある葉目で開閉してもらう 人が多いが、宴をのむのは

> **●**3600円 1800H

178000H • 10%

自宅や間である。いざ服 用して、何か不都合なこと が生じた場合、迷く離れた 業局に行くことほなかなか 置しい。かかりつけ業産部 ・雑酒は、できれば目分が登

男にアクセスできる生活層 の中にもしよりおりたい。 かかりつけ業剤部・薬局 を見近にもてば、複数の医 **緊御関う受診している場合** でち、一力がで要素失いなり

管理が可能で、薬の到行用 付く茶回ぐある。

やのみ合わせに関するアド バイスも得られる。休日や 夜間でも相談できる存在は 心強い。この窓が地域に根



付いた舌動は不可欠であ

る。海豚さんは「薬剤師な、

その地域の健康上の課題解

決に向けて多価値と連携を

図り、さまさまな健康啓発

告動に取り狙ひことも大切

ただ、いろいろな特性を もつ業局が出てまても、「業 同自体の本質的な機能は変 わらない一と変優されるな器 る。「掛に禁作型製用駅に THE PRINCIPAL THE PLANT はいけない。地域生民の建 家を守るという意識が基本 だ」と説明する。



健康サポート さらにば充

目の対応で確実を高に関す

る指数マケ銀に関する指数

フ圧等の医療循環との重要

-などさまさまな機能を

量には、かかりつけ業別 御・薬局の基本的な関係を はたして、さらこ也成主義 の産業を意うわけるとなる 拠点として「曖昧すポート 薬局 が憲生している。 地 翼の人々にとって必要な機 能要件を含だせば、その者 収を届けることができる。 日本業部副会が作製したで ーク=①=も目室となる。 この制度は3年前に生ま れ、今年の日本品でしょう 2年に強えた。日本株産学 WENT NOWOHKEN 出学校区に上降 (全国で上 万~~万0000年)の音 及を目指している。

開展サポート楽同は、生 民・顧者の一元的・機構的 な服業管理はもちろん、在



を防ぐことができる。

ロ内)」は旧学的から、所 足のカリキュラムと確認試

験を確下した薬剤部を「公 親スポーシフトーマンス ト」として認定。今年4月 発成で、全国で01000人 の業別部が認定を与けてい る。その存在は薬局にある ステッカー=®=で分か る。彼種されるもは格をなり。

「けび相談を」と居用を呼 BEDVSKE

日本は国民国保険により 医療原験制管が充実してい るが、許せて、理解を健守 するための生活習慣の取り 目な、延い西京やけのの湯 合は市販業などを使って自 なで治す「セルフメディケ ーション」の充実も求めら れている。日生1月には「せ ラフメディヤーション税 側、が始まり、自ちの健康 を守る人々の負担軽減も図 られている。 ぜひ国保証課 や寒の上手な利用方法な と、気軽にかかりつけ業剤 弾に指数してほしい

ドーピング防止、相談して

発揮している。これが地域

医療にも主張を置く薬局の

もちろん、関係サポート

薬風でなくかな、 地域に根

MICHENOP

2020年東京五輪が正 づき、国民のスポーツへの 関心が高まる中、薬剤部の アンド・スープング
応見も 生耳されている。スポーン 羅子が風邪寒や困痛寒、サ プリメントないと言葉でし 禁止薬物を不用意に要取り てしまい、その成分が体内 から検出されれば、ドービ ングに関われてしまう。し かし、最後のアンド・ドー

ピング知識をもっている業 **単語に 程数 すればく ころり** た「うっかりドービング

公益財団法人 「日本アン チ・ドーブング価値(ひく

トとの女田立られての田立り ッチのTの医薬品を購入した ら、上方ろりりの日本業と可 いた上方8000円が登除対 象になります。その結果、所得 民と個人住民紀を合わせ、5 400円の破損になります。 ただし、気米の民族豊村孫

との併用はてきず、どちらか を選択することになります。 また、適常の健康診断や予防 接種など一定の取り組みを行 っていることが前屋条件にな O##(2)

「スイッチのTC医薬品」 購入で所得控除

ロ セルフメアィヤージョ ン説制とはどんな制度です £°

▼ サルフメアィケーショ ン説倒とは、健康の維持や気 気の予防なとで「スイッチの TC圧薬品」を購入した人を 対象に所言な様様を支配の方側医 1400

O TOWALKING IN-DIK DECHMAN IMMORPHO な民業品が該当しますか。

機収 報報

O

A スイッチのTC医薬品 いう文字の入ったマーク=ロ とは、OTC医薬品(OTC)ゴーが表示されています。 はオーバー・サ・カウンター の略。カウンター超しに購入 を購入すると、どれくらい医 できるなびのうち、医療用か、腺性が健康されるのですか。 ら一般用医薬品に切り替え (スイッチ) られた葉のどと の購入金額 (1月1日から以 薬、育とり・慶春の貼付業な 00円を超えた場合、その起です。 職邪薬、昭露薬、日病薬、胃臓 月末までの合計)が上方20 THE HOOOMING SHIPS 政治型高には、「ヒルフメデ OT」が保持が与いう空後さ

O KYSHOFOMWIB ▲ スナッドOFOM株品

えた金額(上限は8万800 イケーション税控除対象」と れます。例えば、解税所得より ば教えてくれます。

如鯸蛎木四 日幣 四山

PR

詳しくは薬剤師された関け

転載記事

んで活用、相談していただ

か、副作用が出ていないか 薬がきちんと飲めている

できる薬局・薬剤師を選

令和元年10月12日(土)每日新聞

令和元年10月19日(土)毎日新聞

あります。地域の薬剤師は、

ている」という調査結果が て健康に過ごしたいと考え た町で、いつまでも安心し

多くの方々が「住み慣れ

り組みもその一つです。

PR

知

で欲

ίŅ

薬剤

師 の 仕

PR

第1回:

が連携して治療に必要な患 局の薬剤師と病院の薬剤師 り組みを行っています。薬 ポートするため、様々な取 者さんの情報を共有する取

そうした皆さんの思いをサ 薬が処方されている場合や かし、複数の医療機関から 薬によるそれまでの治療の 状況、薬のアレルギー歴、 経過などを確認します。し サプリメントの使

たとします。病院では治療 している薬の内容、服薬の に入る前に患者さんの服用 もし入院することになっ 用状況などの情報を正確に

師から病院の薬剤師に、 かかりつけの薬剤師・薬局 りません。このような時、 把握することは容易ではあ を決めておくと、その薬剤 īΕ

第2回:入院時もかかりつけ薬剤師が支援します。

師からかかりつけ薬剤師に が提供されることで、安心 続けていただくことができ して在宅や通院での治療を に戻った後も、病院の薬剤 八院中に使われた薬の情報 け薬剤師・薬局」 の安心のために「かかりつ

かかりつけの薬剤師にもお 前にわかっている場合は きれば、入院することが事 られるようになります。で 確な情報が提供されること で、より安全に治療が進め 受ける医療をより有効で安 全なものにするためにも、 がお薬手帳です。 こうした連携に有効な手段

ご自身が

また、退院して通院治療

知らせください。

剤薬だけでなく市販薬やサ う。また、お薬手帳には調 ず手帳を持って行きましょ 外来受診時や入院時には必

ノリメントなどの使用状況

おくことで、さらに効果を 発揮します。いざという時 も一つにまどめて記録して

公益社团法人日本薬剤師会 東京都新宿区四谷3-3-1 https://www.nichiyaku.or.jp/

※発行元が記事利用を許諾しています。

知っ て欲しい、 薬剤師の仕

多いのではないでしょう ラッグストア、という方も お持ちですか。処方箋を持 うとどのようなイメージを ろ、でも市販薬の購入はド って薬をもらいに行くとこ 効果的に使うためには、信 みなさんは「薬局」とい しかし、薬を安全かつ くことが、薬剤師の本来の ことはありません。薬を安 仕事です。薬をお渡しする さんの相談に応じるほか、 全に安心して使っていただ くことをお勧めします。 ししたらおしまい、という 薬剤師の仕事は薬をお渡 、薬を飲んでいる間も皆

情報を主治医と共有し、 きや使う際に気になった。 います。ぜひ、薬を飲むと わる問題の解決を目指して 全で安心な医薬品使用に関 安

かかりつけ薬剤師を上手に活用

といった確認も行い、その

と、薬を使って体調が変化 することができる薬剤師を 住民・患者から医薬品など にお伝えください。地域の んでいます。 したなど、遠慮なく薬剤師 て受け、そのニーズを把握 に関する相談を親身になっ 「かかりつけ薬剤師」と呼 切に支援してくれる薬局な ど、その薬局でどのような 局 分に合った薬局を選びやす 地域の方々にこれまで以上 サービスが受けられるか、 んなどの治療を退院後も適 にわかりやすくなり、ご自 /なります。 医療機関と連携してが

極的に対応してくれる薬 師・薬局に関わる法律が改 正されると、 今進められている、薬剤 入退院時に医療機関と 在宅医療に積 ためにも、いつでも気軽に

十分な連携体制が取れる薬

します。 局・薬剤師」を選んで活用 相談できる「かかりつけ薬 していただくことをお勧め

公益社团法人日本薬剤師会

薬を安全に安心して使う

東京都新宿区四谷3-3-1 https://www.nichiyaku.or.jp/

PR

知

7 欲

しい

薬剤

師

の仕

転載記事

を送れるように、その学校 員が健康で安全に学校生活 校までの児童、生徒や教職 います。幼稚園から高等学

も達が勉強している教室の

その他にも、例えば、子ど

机の上や黒板の明るさ、室

師」という立場の薬剤師が 同じように、「学校薬剤

行います。その一つの例が 校を訪問して様々な検査を

「ブール水の検査」です。

てなければ、将来を担う子

教室等の環境を適正に保

方」を学ぶことになってい

「くすりの正しい使い

ます。学校薬剤師はくすり

令和元年10月26日(土)毎日新聞

いたことはありませんか。

学校には「校医さん」と

生基準」に基づいて、担当

給食室の水質などを定期的

に検査しています。

濃度、飲料水やプール水、

「学校薬剤師」です。

大臣が定める「学校環境衞

業中に「水を検査している

お子さんからプールの授

の環境を守っています。

第3回:

学校で活躍する薬剤

薬剤師

の仕

事

人を見た」といった話を聞

ている薬剤師が、文部科学

普段は薬局や病院で働い

令和元年11月2日(土)毎日新聞

知っ

PR

明するために、ドーピング けられています。日本は不 検査を受けることが義務付 技で、競技能力を高める夢 かれたことがあるのではな 物の使用が禁止されていま いでしょうか。あらゆる競 剥奪、というニュースに驚 がクリーンであることを証 す。スポーツ選手は、自分 て欲しい

「ドーピング」でメダル 手が極めて少ない国です 例が報告されています。こ の結果が陽性と判定される グ」と呼んでいます。たと れを「うっかりドーピン サプリメントを摂取してド ら禁止物質が含まれる薬や が、ちょっとした不注意か 正に禁止物質を使用する選 ピング陽性と判定される 「うっかり」でも、検査

う事にもなりかねません。 抹消や時には選手生命を失 と規則違反となり、記録の

> 動し、使用する薬が禁止物 ポーツファーマシストが活

質かそうでないか、安心し

て使用できる薬はどれかな

第4回: うっかりドーピングからスポーツ選手を守る薬剤師 現在、全国で約1万人のス として認定されています。

そのような時に が必要なこともあります。 しかし、ケガや病気で薬 一うっかり

また、普段かかりつけにし

内の温度・湿度・炭酸ガス な役割を担っているのが

供たちの教育が十分に行え ないことに直結します。 ですから、基準に合わな の専門家として、生徒の成 長に応じ「くすり教育」や 薬物乱用防止教室」

でも気軽に声をかけてくだ

職員が長い時間を過ごす学 ませんが、児童、生徒や教 い場合は学校薬剤師が学校 校の環境を適正に保つ重要 ます。目立つ存在ではあり に対して指導や助言を行い 期世間を騒がせた危険ドラ 手伝いもしています。 ッグは、インターネットや

また、中学・高校教育で ています。見かけたらい 活躍を行っているのです。 最新の情報に基づき地道 学校薬剤師は、教育現場で 増が問題になっています。 延しているようです。さら SNS等を通して密かに蔓 に最近では大麻使用者の急 このように、薬剤師は薬

公益社团法人日本薬剤師会

東京都新宿区四谷3-3-1 https://www.nichiyaku.or.jp/

の知識を持った薬剤師が 最新のアンチ・ドーピング うに活動している薬剤師が り、安心して服薬できるよ ドーピング いることをご存知ですか。 コスポーツファーマシスト から選手を守

ついてわからないことがあ 係者にもアンチ・ドーピン でなく、ご家族や周囲の関 師にご相談下さい。 りましたら、お気軽に薬剤 の購入時だけでなく、薬に と良いでしょう。調剤や薬 グの意識をもっていただく ぐには、スポーツ選手だけ シストや相談窓口を紹介 応じて、スポーツファー ている薬局・薬剤師でも気 てもらうことができます。 うっかりドービングを防 必要に

公益社团法人日本薬剤師会

東京都新宿区四谷3-3-1 https://www.nichiyaku.or.jp/

※発行元が記事利用を許諾しています。

時

告知ポスター



第9回 県民健康フェア2019イベント

ステージイベント

開会式	内容
12:00~12:10	主催者挨拶:安里 哲好(沖縄県医師会長·沖縄県医療保健連合会長·沖縄県保健医療福祉事業団理事長) 来 賓 祝 辞:砂川 靖(沖縄県保健医療部長)
12:15~12:30	沖縄 L e t's プチ体操 (日本健康運動指導士会沖縄県支部)

ブースイベント

0医師会

- ①おきなわ津梁ネットワークを活用した保健指導 (健康保険証をご持参下さい)
- ②AED·心肺蘇生体験(人数制限有)
- ③パネル展示(#8000、#7001)・次世代の健康づくり副読本等
- ④65歳未満健康・死亡率改善プロジェクト啓発コーナー(名桜大学ヘルスサポート学生たちによる) 測定項目:身体組成・血管年齢・ヘモグロピン・血圧測定
- ⑤「在宅医療におけるPHV·EV車を活用した医療機器への電源供給」実演展示

2歯科医師会、歯科衛生士会、歯科技工士会

〈歯科医師会〉

- ①コンピュータ歯科健診:デンタルドックDoチェックによる保健相談
- ②あなたの唇の力は?(口唇力測定)
- ③在宅歯科・障害者歯科診療相談コーナー
- ④お口の細菌観察コーナー
- 〈歯科衛生士会〉
- ①口腔ケア相談コーナー (乳幼児期~老年期)
- ②歯科用グッズ展示・パネル展示
- ③知って得する妊婦のむし歯予防、歯周病予防
- ④フッ素洗口体験
- ⑤むし歯リスク検査
- 〈歯科技工士会〉
- ①かぶせもの、入れ歯などの補綴物相談コーナー

6薬剤師会

- ①かかりつけ薬剤師・健康サポート薬局について
- ②健康チェックとおくすり相談(妊婦・授乳中の薬、禁煙相談、サプリメント等)
- ③(こども向け)調剤体験と楽しい実験
- ④薬剤師の仕事について

④看護協会

- ①マスクの正しいつけ方、手洗い方法、咳エチケット
- ②皮ふケア(皮ふ排泄ケア)、赤ちゃん保湿
- ③爪の切り方、手入れの仕方について
- ④予防接種について

6 栄養士会

- ①フードモデルを活用した、パソコンによる食事バランスチェック(SATシステム)
- ②栄養相談
- ③パネル展示

6臨床検査技師会

- ①頸動脈エコー検査 (先着100名)
- ②臨床検査展・ミクロの世界体験(血液細胞・がん細胞)
 - ・口の中の細菌検査体験(グラム染色)、血液型について

⑦放射線技師会

- ①骨密度測定検診(無料)
- ②放射線被ばく・医療における各種検査に関する相談

③理学療法士協会、作業療法士会、言語聴覚士会

- 〈理学療法士協会〉
- ①体力テスト
- ②結果の振り返り
- ③パネル展示
- 〈作業療法士会〉
- ①パネル展示
- ②自助具展示および体験コーナー
- ③なんでも相談コーナー
- 〈言語聴覚士会〉
- ①相談:飲み込み、聞こえ、言葉、子どもの発達等に関して
- ②展示:パネル、嚥下食
- ③体験: 聴力検査、嚥下食試食、嚥下食作成(とろみ水等)

②柔道整復師会

- ①パネル展示(ボランティア活動)
- ②テーピング実技(メディカルテーピング・スポーツテーピング)
- ③整(接)骨のかかり方相談コーナー

@鍼灸師会

- ①鍼灸治療の効果をわかりやすく示したパネル展示
- ②鍼灸治療を知ってもらうための簡単な鍼灸体験

の医療ソーシャルワーカー協会、精神保健福祉士協会

- 〈医療ソーシャルワーカー協会〉
- ①医療ソーシャルワーカーの職能紹介
- ②制度・病院機能のクイズ
- 〈精神保健福祉士協会〉
- ①精神保健福祉士の職能紹介
- ②精神保健福祉及び医療に関する相談
- ③幻覚のバーチャル体験
- ④ストレスチェック

印日本健康運動指導士会 沖縄県支部

- ①体力測定(握力・柔軟性・俊敏性・10m速歩・バランス)
- ②体力測定結果に基づいた運動相談
- ③沖縄Let'sプチ体操と健康体操の体験

転載記事

令和元年8月26日(月) 琉球新報

目的とする県内最大のイベ ョンセンターで県民健康フ などで構成する県医療保健 人を出展し、子供を対象に ントで、今年で9回目。 野湾市の沖縄コンベンシ 医療関係の各団体がブー アを開催した=写真。 否(なごみ会)は25日 県民の健康増進の啓発を 県医師会や県歯科医師会 た調剤体験や、 自動体外

ど、さまざまなイベントを 博誠さん(39)は 体験になった」と満足げだ た」と笑顔。父親の会社員 になったみたいで楽しかっ **宜野湾市=は「お薬屋さん** 展開した。調剤体験に参加 った心肺蘇生の疑似体験な た石川優大ちゃん(6)= 「いい職業

宜

県医療保健連合が開催 野湾でフェア H

健

康增進

指

式除細動器

(AED)

を使

医療

の仕事

子どもが体

験

宜野湾で県民健康フェ

P

通して親子で健康への意識 県医師会の白井和美理事は を高めてもらえれば」と話 に力を入れた。イベントを 「今年は特に子供への啓発 イベントの運営に携わる

9回県民健康フェア」(主催・ 県民の健康長寿に向けた「第

県医療保健連合)が25日、宜野

湾市の沖縄コンベンションセン 高めた。 ターで開かれた。今回から初め 験コーナーでは多くの家族連れ 悩みや体質改善に向けて意識を され、来場者は日頃の健康への が訪れ、医療の現場に触れた。 て開設した子ども向けの職業体 る同連合(なごみ会)が毎年開 圏周病検査など12ブースが設置 で保健医療関係17団体で構成す 県内最大の健康関連イベント 会場には健康やお薬相談、

沖縄タイムス

薬剤師の体験ブースで錠剤に似 せた固形チョコレートを分包機 に投入する子どもたち=25日、 **国野湾市・沖縄コンベンション**

令和元年8月27日(火)

センター

が開設された。沖縄市から家

栄養士など12職種のコーナ

職業体験には心肺蘇生法や看

えたい」と話し、妹のゆいさん が持てた。将来の仕事として考 に参加し、「医療の仕事に興味 ん(10)は薬剤師が行う調剤体験 族4人で参加した加藤あいりさ になって多くの人を助けたい いと聞いたので、自分が薬剤師 (9)は「沖縄には薬剤師が少な

※発行元が記事利用を許諾しています。

転載記事

令和元年8月4日(日) 琉球新報

25日に県民健康フェア 子ども向け職業体験も

県内の保健医療17団体でつくる県医療保健連合(なごみ会)は25日正午から、宜野湾市の沖縄コンベンションセンター展示棟で「第9回県民健康フェア」を開く。入場無料。県歯科医師会の松島一夫専務理事=写真右端=らが7月31日、琉球新報社を訪れ、「子ども向けのコーナーもある。多くの県民が健康について考える機会にしてほしい」と来場を呼び掛けた。

幅広い年代に足を運んで もらおうと、今年は小中学

事前予約不要。



生向けの職業体験も実施。 体験した先着100人には図書カードをプレゼントする。12のブースが出展し、 骨密度やエコー検査ができるコーナーなどを用意する。ブースを回ると健康グッズなどが当たるスタンプラリーもある。

令和元年8月6日(火) 沖縄タイムス

東務理事=写真左=は「糖 専務理事=写真左=は「糖 でひ子どもたちに知ってほ がでうだもたちに知ってほ がい。自由研究のテーマに がある」と参加を呼び掛け もなる」と参加を呼び掛け 医療保健連合(なごみ会) 医療保健連合(なごみ会) を開く。今回は初めて小学を開く。今回は初めて小学を開く。今回は初めて小学を開く。今回は初めて小学を開く。今回は初めて小学を開く。今回は初めて小学を開く。今回は初めて小学を開く。今回は初めて小学を開く。今回は初めて小学を開く。方に携わる多様な保健医療職の仕事内容を体保健医療職の仕事内容を体験しながら学べる。参加無

このほか県医師会や歯科 医師会、薬剤師会、看護協 会などが12ブースを設けて 県民の健康相談にも応じ る。骨密度測定検診や薬の 相談、簡単な鍼灸体験など 盛りだくさんで、先着順に 無料で体験できる。問い合 わせは県医師会、電話09



児童向け企画

B

健

康

フ

I

ア

宜野湾25日なごみ会

てもらおうと、

県内の保健

健康に対する意識を高

|療関係17団体でつくる県

※発行元が記事利用を許諾しています。



令和元年10月

- 1火○令和元年度第2回健康サポート薬局推進委員会 県薬ホール
 - 令和元年度第2回学術研修委員会 県薬研修室
- 2水○くすりと健康フェアPR(那覇市真和志管内自治会長会) 那覇市真和志支所 事務局長嶺 主任・花城
- 3木○多職種コンソーシアム実践研修会事前会議 沖縄県総合福祉センター 笠原理事
 - ○くすりと健康フェアPR(那覇市市営住宅管内自治会長会) なは市民協働プラザ 事務局 長嶺主任•花城
 - 会営薬局とよみ会議 会営薬局とよみ 仲真薬局長、與世平管理薬剤師、又吉事務局長、 会営薬局とよみ上野・當山
- 4金○令和元年度第1回沖縄県薬業連合会代表者会議 ダブルツリーbyヒルトン那覇首里城 亀谷 会長、大城次長
 - ○くすりと健康フェアPR(那覇市首里管内自治会長会) 那覇市首里支所 大城次長、事務局
 - ○くすりと健康フェアPR (那覇市小禄管内自治会長会) 那覇市小禄支所 仲地剛
 - 令和元年度第1回表彰選考諮問委員会 県薬会議室
- 5土○服薬支援のための簡易懸濁法セミナー 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 主催:大浜第二病院
 - 令和元年度第8回理事会 県薬研修室
- 8火○月次会計監査 県薬会議室 仲程税理士、事務局前原主任・上原
- 9水○社会保険診療報酬支払基金幹事会 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部 亀谷会長
- 10木○個別指導・新規個別指導 県庁 社会保険医療担当:仲真良重氏・宮城幸枝氏
 - 沖縄県地域包括ケアシステム推進会議第3回在宅医療介護連携部会 沖縄県産業支援センター 笠原理事
- 11金○くすりと健康フェア告知に係る新聞社への訪問 沖縄タイムス社・琉球新報社 宮城敦子 広報委員長、大城由希子氏、大城次長
 - 沖縄県振興審議会第3回福祉保健部会 県庁 亀谷会長
 - ○くすりと健康フェアPR(那覇市本庁内管内自治会長会) なは市民協働プラザ 事務局稲嶺 主任・宮城
- 12土○日本薬剤師会都道府県会長協議会 シーモールパレス 亀谷会長
- 13日○**第52回日本薬剤師会学術大会(14日迄)** 山口県下関市
- 15火○管理者会議 県薬研修室 亀谷会長、城間·仲真両薬局長、吉田典子(DI)、又吉事務局長、 大城次長、小泉主任檢查技師
- 17木○個別指導・新規個別指導 県庁 社会保険医療担当:仲真良重氏・喜屋武芳美氏
 - Daibestes & Incretin Seminar in 沖縄 沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ 主催: 大日本住友製薬株式会社
- 18金○薬祖祭 波上宮本殿
 - ○株式会社ユヤマより来訪 県薬会長室 又吉事務局長
 - ○保健指導スキルアップ研修会 がねこ薬局 主催:一般社団法人ぎのわん健康支援センター
 - 南部徳洲会病院開院四十周年記念祝賀会 ロワジールホテル那覇 亀谷会長
- 19土○第13回沖縄抗HIV勉強会 県立南部医療センター・こども医療センター 主催:沖縄県 病院薬剤師会HIV分科会



- 19±○「薬と健康の週間」街頭キャンペーン ドン・キホーテ宮古島店 宮古地区薬剤師会
 - ○「薬と健康の週間」街頭キャンペーン イオン名護店 北部地区薬剤師会
- 20日○令和元年度第7回学校薬剤師部会役員会 県薬部会室
 - ○「薬と健康の週間」街頭キャンペーン サンエー石垣シティ 八重山地区薬剤師会
 - くすりと健康フェア「第172回健康とおくすり相談会」、「こども向け調剤体験&楽しい実験」、 「薬と健康のミニ講話」 沖縄県立図書館 沖縄県・那覇市・沖縄県薬剤師会・南部地区薬 剤師会
- 21月○月次会計監査 県薬会議室 仲程税理士、事務局前原主任
 - **令和元年度薬事功労者厚生労働大臣表彰式** 厚生労働省講堂 被表彰者:山里 勇
 - **沖縄県薬事功労者知事表彰式** 沖縄県保健医療部 被表彰者:玉城宏幸
- 23水○「薬と健康の週間」街頭キャンペーン イオン北谷店 中部薬剤師会
- 24木○月次会計監査 県薬会議室 仲程税理士、事務局上原
 - 個別指導・新規個別指導 那覇第一地方合同庁舎 社会保険医療担当:仲真良重氏・宮城 幸枝氏
 - 令和元年度第1回医療安全対策委員会 県薬研修室
- 25金 © 第8回吸入支援OkinaWa 琉球大学医学部臨床研究棟 主催:アストラゼネカ株式会社
 - ○第21回OCEAN研究会 ザ・ナハテラス 主催:吉富薬品株式会社
 - 2019 Sleep Seminar in Okinawa メルキュールホテル沖縄那覇 主催:MSD株式会社
 - 令和元年度第2回財務委員会 県薬研修室
- 26土○令和元年度学校薬剤師九州ブロック連絡会議 鹿児島県薬剤師会 亀谷会長、前濱副会長、 村田成夫学校薬剤師部会長
- 27日○女性の健康サポートセミナー 県薬ホール
 - 第173回健康とおくすり相談会 武富ハイツ自治会館 担当:沖縄県薬剤師会・南部地区 薬剤師会
- 28月○令和元年度第9回幹事会 県薬会議室
- 29火○令和元年度第1回沖縄県医療保健連合(なごみ会)幹事会 ANAクラウンプラザホテル沖縄 ハーバービュー 亀谷会長、前濱・川満・中村各副会長
 - 令和元年度第1回沖縄県医療保健連合(なごみ会)懇談会 ANAクラウンプラザホテル沖縄 ハーバービュー 亀谷会長、前濱・川満・中村各副会長、金城・西川・宮城各常務理事
 - 令和元年度第3回学術研修委員会 県薬研修室
 - ○第40回薬タッチャー 中部徳洲会病院 主催:アステラス製薬株式会社
- 30水○沖縄県振興審議会 第4回福祉保健部会 県庁 亀谷会長
 - ○薬学生への学校薬剤師講習会 県薬研修室 講師:知名理事
 - 2019年度中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会推奨講演会 中部地区医師会 主催:中部地区医師会
- 31木○令和元年度沖縄県学校保健会表彰審査会 県庁 亀谷会長
 - 第9回吸入支援OkinaWa 豊見城中央病院 主催:株式会社ダイコー沖縄

令和元年11月

- 1金○第21回沖縄COPD研究会 沖縄県医師会館 主催:日本ベーリンガーインゲルハイム 株式会社
 - R S 会研修会 ヴァインドラッグ末吉店 主催:くはら薬局



- 2十○ 令和元年度第9回理事会 県薬研修室
- 3日○令和元年度沖縄県功労者表彰式典及び祝賀会 パシフィックホテル沖縄 亀谷会長
- 5火○「地域ケアマネジメント業務相談アドバイザリー市町村支援事業」事業促進調整会議 沖縄県教職員共済会館 笠原理事
- 6水○第11回沖縄Airway Conference ザ・ナハテラス 主催: 杏林製薬株式会社
 - 令和元年度学校薬剤師学術フォーラム伝達講習会 県薬研修室 講師:吉田洋史氏
- 7木○令和元年度「成分から導き出す、適切なOTC医薬品の選択方法」研修会 日本薬剤師会 講師:盛本理事
 - ○個別指導・新規個別指導 八重山合同庁舎 社会保険医療担当:仲真良重氏・幸地良信氏
 - ○2019年度第2回病院・薬局実務実習九州・山口地区調整機構総会 福岡県薬剤師会 佐藤 常務理事
- 8金○未来の産業人材育成事業 職業人講話 読谷村立喜名小学校 講師:笠原理事
 - 令和元年秋の叙勲等伝達式 沖縄県知事公舎 被表彰者:江夏京子氏、亀谷会長・大城次長
 - 個別指導・新規個別指導 八重山合同庁舎 社会保険医療担当:仲真良重氏・幸地良信氏
 - 患者と寄り添うケアセミナー アートホテル石垣島 主催:第一三共株式会社
 - 第10回沖縄県糖尿病週間学術講演会 ザ・ナハテラス 主催:ノボノルディスクファーマ 株式会社
 - 令和元年度第1回災害対策委員会 県薬研修室
- 9±○令和元年度日本薬剤師会九州ブロック会議 佐賀県薬剤師会 亀谷会長、前濱副会長
- 令和元年度日本薬剤師会九州ブロック会議懇親会 ホテルニューオータニ佐賀 前濱幹事長 10日○令和元年度第8回学校薬剤師部会役員会 県薬部会室
 - 第174回健康とおくすり相談会 糸満市西崎総合体育館 担当:南部地区薬剤師会
 - 第175回健康とおくすり相談会 沖縄セルラーパーク那覇 担当:那覇地区薬剤師会
- 13水○ 令和元年度沖縄DMAT·災害拠点病院等連絡会議 沖縄県議会 鈴鹿玲子氏(災害対策委員会)
- 15金○沖縄県老人クラブ連合会「リーダー養成研修会」 沖縄市老人福祉センター寿楽園 講師: 玉城武範氏
 - 宮古地区 痛みのマネジメントセミナー ホテルサザンコースト宮古島 主催:ファイザー 株式会社
 - ○沖縄県オンコロジーセミナー メルキュールホテル沖縄那覇 主催:持田製薬株式会社
- 17日 第33回沖縄県薬剤師会学術大会・懇親会 県薬ホール・沖縄県看護協会館
- 20水○スポーツファーマシストのための国民体育大会に関する情報交換研修会 県薬ホール 講師: 吉田典子 (DI)
- 21木○未来の産業人材育成事業 職業人講話 那覇市立城北小学校 講師:新垣紀子
 - ○薬と健康の週間における「くすりと健康フェア」反省会 県薬会議室 沖縄県保健医療部 衛生薬務課:池間室長・中村主幹・阿波連氏、那覇市:仲地剛氏、沖縄県薬剤師会事務局: 大城次長、長嶺主任
 - 令和元年度第1回沖縄県国民健康保険運営協議会 沖縄県庁 宮城常務理事
 - 令和元年度集団的個別指導 沖縄県男女共同参画センターているる 社会保険医療担当: 仲真良重氏・川上善久氏
 - 第69回全国学校薬剤師大会 ホテルブリランテ武蔵野 亀谷会長、村田成夫学校薬剤師部 会長、知名博樹理事



- 21木○2019年度中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会第3回勉強会 中部地区医師会 主催:中部地区医師会
 - 臨床薬剤師育成研修会 株式会社琉薬 主催:株式会社薬正堂
- 22金 Clinical Diabetes Seminar in Naha 沖縄共同病院 主催:MSD株式会社
 - 令和元年度第3回健康サポート薬局推進委員会 県薬会議室
- 23土○ **第176回健康とおくすり相談会** うるマルシェ 担当:中部地区薬剤師会
- 24日 **令和元年度第1回健康サポート薬局研修会A・B** 県薬ホール
- 25月 沖縄県UIターンガイダンス 広島国際大学 沖縄県保健医療部衛生薬務課:宮城隼人、 沖縄県病院事務局職員、大城次長
 - 令和元年度第3回財務委員会 県薬研修室
- 26火○星薬科大学来訪 県薬会長室 亀谷会長、佐藤常務理事
 - 令和元年度第3回沖縄県自然環境保全審議会 県庁 島袋理事
 - 地域ケアマネジメント業務相談アドバイザリー市町村支援事業説明会 ロワジールホテル 那覇 笠原理事
 - 沖縄県病院薬剤師会精神科分科会学術講演会 県薬研修室 主催:大日本住友製薬株式会社
- 27水○令和元年度第3回薬学生実務実習受入委員会 県薬研修室
- 28木〇日本スポーツ振興センター来訪 県薬研修室 又吉事務局長
 - 令和元年度第2回健康サポート薬局県内100軒実現に向けての研修会 県薬ホール 講師: 盛本理事
 - 令和元年度学校薬剤師学術フォーラム伝達講習会 名護中央公民館 講師:村上市子氏
- 29金○ 令和元年度都道府県薬剤師会アンチ・ドーピング活動担当者研修会 日本薬剤師会 笠原 理事、吉田典子 (DI)
 - 令和元年度独立行政法人日本スポーツ振興センター学校安全業務運営会議 南部合同庁舎 知名理事
 - Diabetes Seminar 牧港中央病院 主催:小野薬品工業株式会社
 - 糖尿病治療Update 中部地区医師会 主催:アステラス製薬株式会社
- 30土○令和元年度学校薬剤師学術フォーラム伝達講習会 薬局えぱーわーな~ 講師:平良恭子氏

沖縄県薬剤師連盟会務報告

令和元年10月

- 21月○島尻あいこ氏来訪 県薬会長室 又吉事務局長
- 28月○玉城デニー沖縄県知事就任1周年激励会 ロワジールホテル那覇 亀谷会長、前濱幹事長

令和元年11月

- 6水○令和元年度第3回全国会長・幹事長拡大会議 東京會館 亀谷会長、前濱幹事長 藤井もとゆき君と語る会 東京會館 亀谷会長、前濱幹事長
- 9土○令和元年度日本薬剤師連盟九州ブロック協議会 佐賀県薬剤師会 亀谷会長、前濱幹事長
- 23土○西銘恒三郎衆議院安全保障委員会委員長就任激励会 パシフィックホテル沖縄 亀谷会長、 石川副幹事長、吉田久子、又吉事務局長

年間目次

おきなわ薬剤師会報 平成31年もくじ

通巻296号~300号

		号数	月	頁
表紙掲載会員作品				
写真 「キューガーデン 入口にある薬局」	成川玲子	296	1 • 2	表紙
写真 「ラオス ルアンパバーンにある薬局」	伊差川サヤカ	297	3 • 4	表紙
写真 「ドイツの薬局」 成川玲子		298	5 • 6 • 7	表紙
写真 「サンセバスチャンの薬局」 山里美恵子		299	8 • 9 • 10	表紙
写真 「FARMACIA:ファルマチーア」	伊差川サヤカ	300	11 · 12	表紙
年頭挨拶				
新年のご挨拶	亀谷浩昌	296	1 • 2	3
新年ご挨拶 山本信		296	1 • 2	4
新年のあいさつ 砂川 靖		296	1 • 2	6
決戦の年を迎えて! 本田あきこ			1 • 2	8
年頭にあたって藤井もとゆき			1 • 2	9
年頭のご挨拶 松本 純		296	1 • 2	10
年頭のご挨拶とかしきなおみ		296	1 • 2	11
新年のごあいさつ 西銘恒三郎		296	1 • 2	12
年頭ご挨拶 國場幸之助		296	1 • 2	14
年頭のご挨拶 宮崎政久		296	1 • 2	16
(祝賀会)				
平成30年度薬事功労受賞者合同祝賀会開催 大城喜仁		296	1 • 2	18
・・・受賞者プロフィール		296	1 • 2	20
・・・祝賀会スナップ写真		296	1 • 2	25
神村武之氏 旭日小綬章 受章祝賀会 前濱朋子		297	3 • 4	19
表彰				
秋の叙勲 旭日双光章 (江夏京子先生)			11 · 12	2
令和元年度 薬事功労者厚生労働大臣表彰(山里勇先生)			11 · 12	4
学校保健および学校安全文部科学大臣表彰 (照屋勝健先生)			11 · 12	4
令和元年度 沖縄県薬事功労者知事表彰 (玉城宏幸先生、安里一美先生)			11 · 12	5
沖縄県健康づくり表彰 準グランプリ受賞 (玉城武範先生)			11 · 12	6
沖縄学術大会				
第33回沖縄県薬剤師会学術大会開催 潮平英郎		300	11 · 12	8
第33回沖縄県薬剤師会学術大会プログラム		300	11 · 12	10
第33回沖縄県薬剤師会学術大会会員発表審査報告 中尾	 滋久・金城雄一	300	11 · 12	17

第33回沖縄県薬剤師会学術大会懇親会 第33回沖縄県薬剤師会学術大会奨励賞受賞発表要旨	大城喜仁	300 300	11 · 12 11 · 12	18 20
災害対策BLS講習会を受講して令和元年度沖縄県災害対策本部設置運営訓練に参加して	富田真由 鈴鹿玲子	297 299	3 · 4 8 · 9 · 10	48 17
寄付 沖縄県交通遺児育成会募金贈呈式報告	大城喜仁	297	3 · 4	62
薬と健康の週間 薬祖祭 くすりと健康フェア くすりと健康フェア参加報告 平良恭子・島袋さゆり 街頭キャンペーン 令和元年度「薬と健康の週間」行事表	大城喜仁 大城喜仁 · 西川 裕	300 300 300 300 300	11 · 12 11 · 12 11 · 12 11 · 12 11 · 12	22 23 26 28 29
告示 沖縄県薬剤師会代議員選挙の告示	亀谷浩昌	297	3 • 4	77
日薬大会 第51回日本薬剤師会学術大会参加報告	春日崇彰	296	1 • 2	34
実務実習 平成30年度 第Ⅱ期薬学生実務実習報告 平成30年度 第Ⅲ期 実務実習薬学生からの体験記・感想 仲原良樹・比嘉萌莉・宮城賢明・仲宗根浩気	平田 崇	297 297		37 38
大嶺 菜・大城翔陽・牛島由紀子・仲濱尚子 令和元年度第 I 期薬学生実務実習報告 実務実習薬学生 令和元年度第 I 期生からの体験記・感想 久場川 愛・仲吉沙也加・又吉莉子・洲鎌光基・川満 彩・伊泉 金城詠美・新川祥平・花城帆乃佳・高尾明日香・親川大地・原民 エ城西春香・宮城、彩・中本明日・京嶺佳乃・平良若子・長海伊	是名秀亮 田夏帆		8 · 9 · 10 8 · 9 · 10	20 21
玉城亜寿香・宮城 彩・中本明日・高嶺佳乃・平良若子・長嶺僧仲西彩香・比嘉良太 令和元年度第Ⅲ期薬学生実務実習報告 令和元年度第Ⅲ期実務実習薬学生からの体験記・感想 島 大樹・金城由佳・崎浜莉未・豊元柊弥・太田佳希・喜屋武園 喜久山 舞・知念ほのか・武富海志・桃原和樹・上地徳道・甲園 比嘉 栞・當真菜央・照屋ゆめか・永山寧乃・米須文香・佐和田 山田泰平・大城優衣・安次嶺栄智	佐藤雅美 夏妃 虔美有紀	300 300	11 · 12 11 · 12	33 34

				111111111
医療安全				
平成30年度医療安全講習会報告	名嘉紀勝	297	3 • 4	22
平成30年度医療安全講習会資料		297	3 • 4	24
総会	1.15-1-1			
第79回臨時総会開催	大城喜仁	297	3 • 4	2
平成31年度事業計画および平成31年度収支予算		297	3 • 4	5
平成31年度会費額関連資料		297	3 • 4	16
会長候補者立候補名簿	4 W W D	297	3 • 4	17
第80回定時総会会長挨拶	亀谷浩昌	298	5 · 6 · 7	1
新理事・新監事紹介		298	5 · 6 · 7	2
第80回定時総会次第・出席者	1.14±1-	298	5 • 6 • 7	5
第80回定時総会概要報告	大城喜仁	298	5 · 6 · 7	6
第80回定時総会懇親会	長嶺勇作	298	5 • 6 • 7	20
平成30年度事業経過報告および平成30年度決算、その他議題資料		298	5 · 6 · 7	21
M. / h- TW him				
学術研修	\\\ \\\	000	0 0 10	
令和元年度 新任・新人薬剤師研修会報告	進藤聡人	299	8 • 9 • 10	14
(= kr +n A)				
青年部会	₩ 廿 廿	007	0 4	
在沖米軍基地內海軍病院視察	枡井亮太	297	3 • 4	57
実務実習薬学生向け合同就職説明会報告	運天芳生	299	8 • 9 • 10	38
令和元年度第14回青年薬剤師部会総会・情報交換会報告	宮城勇己	300	11 • 12	54
TOTO				
亚皮20年度日本英刘钰公知英刘钰如今亚族公和生	七字司江	200	1 . 0	4.0
平成30年度日本薬剤師会卸薬剤師部会研修会報告	吉富弓江	296	1 • 2	46
平成30年度日本医薬品卸勤務薬剤師会フォーラム報告	吉富弓江	296	1 • 2	48
日本医薬品卸勤務薬剤師会福岡県支部 平成30年度(第37回)継続研修会に参加して	前原律子	297	3 • 4	58
2019年度日本医薬品卸勤務薬剤師会沖縄県支部会報告	吉富弓江	299	8 • 9 • 10	39
日本医薬品卸勤務薬剤師会福岡県支部 令和1年度(38回)継続研修会報告	泰本千嘉子	300	11 • 12	51
大刻の加土字的調本から見た"かかりのは英刻研"の犯知	十日一郊	200	1 . 0	40
下剤の処方実態調査から見た"かかりつけ薬剤師"の役割	大屋三登	296	1 • 2	40
九州・沖縄地域包括ケア推進フォーラム受賞報告	佐藤雅美	299	8 • 9 • 10	64
17± 11 +2 +44 '44				
(健サポ推進) 今和一年度第1回健康出ポート薬早月内100町実現に向けての研修会	成未古山	200	0 . 0 - 10	10
令和元年度第1回健康サポート薬局県内100軒実現に向けての研修会	盛本直也	299	8 • 9 • 10	10

地域保健 平成30年度自殺予防対策事業ゲートキーパー (薬剤師)スキルアップ研修会第256回全国禁煙アドバイザー育成講習会報告 なごみ会主催第9回県民健康フェア2019報告なごみ会主催第9回県民健康フェア参加報告 松本圭五・與儀明美・	前里佳子 二里美矢子 盛本直也 笠原 哲	297 299 300 300	$3 \cdot 4$ $8 \cdot 9 \cdot 10$ $11 \cdot 12$ $11 \cdot 12$	46 18 30 31
第8回はえばる夏まつりキッズパーク参加報告	写内美佐子 進藤聡人 号袋さゆり 勝連貴子	297 299 299 296	$3 \cdot 4$ $8 \cdot 9 \cdot 10$ $8 \cdot 9 \cdot 10$ $1 \cdot 2$	63 43 44 38
在宅医療 会営薬局うえはら無菌調剤室共同利用に関する講習会と 在宅医療のための無菌調製実践講座を受けて 訪問薬剤業務研修参加報告 四谷祐子・諸見	枡井亮太 L里めぐみ	297 299	3 · 4 8 · 9 · 10	44 12
月例相談会 第167回健康とおくすり相談会報告 第168回健康とおくすり相談会報告 第169回健康とおくすり相談会報告 第170回健康とおくすり相談会報告(宮古地区薬剤師会) 第171回健康とおくすり相談会報告(那覇地区薬剤師会) 第175回健康とおくすり相談会報告(那覇地区薬剤師会)	方 運天 古謝 本	297 297 298 299 299 300	$3 \cdot 4$ $3 \cdot 4$ $5 \cdot 6 \cdot 7$ $8 \cdot 9 \cdot 10$ $8 \cdot 9 \cdot 10$	64 65 51 40 42 55
その他会務報告 沖縄戦殉職医療人之碑へ慰霊 医薬分業	大城喜仁	298	5 · 6 · 7	52
健康サポート薬局を見学させていただいて 第1回健康サポート薬局県内100軒実現に向けての研修会 第2回健康サポート薬局県内100軒実現に向けての研修会 第3回健康サポート薬局県内100軒実現に向けての研修会 令和元年度医薬分業対策委員会主催研修会 令和元年度医薬分業対策会議報告 令和元年度医薬分業対策会議「調剤のあり方について」ディスカッションまとめ FAXコーナー職員向け研修会開催	笠原本本本本本本川 城下 圭 圭 圭 直 直 直 下城 中 本本本本本本本本 本本川 城 喜	298 298 298 299 299	1 · 2 5 · 6 · 7 5 · 6 · 7 8 · 9 · 10 8 · 9 · 10 8 · 9 · 10	31 40 41 42 1 2 4 7
学薬部会 平成31年度給食センター衛生検査講習会報告 切		298	5 · 6 · 7	45

高場美保・前盛稚子 298 5・6・7 46

平成31年度学校薬剤師新任研修会開催

	I form			
学校薬剤師部会研修会報告	方 智子	299	8 • 9 • 10	34
令和元年度学校薬剤師学術フォーラム伝達講習会報告	新垣紀子	300	11 • 12	50
行政部会				
	大城由希子	200	8 • 9 • 10	35
门政采州即即云沁云报口	人が 四 4 17 1	233	0 9 10	50
地区だより				
平成30年度中部地区薬剤師会総会報告	米倉美帆	298	5 · 6 · 7	48
平成30年度八重山地区薬剤師会総会報告	山城 専	298	5 · 6 · 7	49
第6回那覇地区薬剤師会通常総会 那覇地区薬剤		299	8 • 9 • 10	46
令和元年度宮古地区薬剤師会総会報告	上川畑剛	299	8 • 9 • 10	47
女性薬部会				
1 22 214/14/14/24 14 14/14/14/14/14/14/14/14/14/14/14/14/14/1	村田美智子	296	1 • 2	39
薬剤師継続学習通信教育講座スクーリング報告	I □ → →ν.			
村田美智子・小野加那恵・玉村友利香・沖山尚美		297	3 • 4	50
令和元年度女性薬剤師部会通常総会報告 女性薬剤師如今漢古港麻却生	狩俣イソ	299	8 • 9 • 10	36 37
女性薬剤師部会漢方講座報告 令和元年度女性薬剤師部会主催 第28回漢方講座参加報告	与儀和子 日高久美子	299 300	8 · 9 · 10 11 · 12	31 48
节和几十度好任案刑即而云土惟 第20回侯刀再座参加報日	口同久天丁	300	11 • 12	40
薬事情報センター				
スポーツファーマシストのための情報提供研修会報告	吉田典子	299	8 • 9 • 10	16
	喜久川有子	300	11 • 12	46
DI				
薬事情報おきなわNo. 253 薬事情報	報センター	296	1 • 2	51
薬事情報おきなわNo. 254 薬事情報	報センター	297	3 • 4	67
薬事情報おきなわNo. 255 薬事情報	報センター	298	5 · 6 · 7	53
薬事情報おきなわ No. 256 薬事情報	報センター	299	8 • 9 • 10	49
薬事情報おきなわ No. 257 薬事情報	報センター	300	11 · 12	57
(試験検査センター)				
令和元年度日本薬剤師会試験検査センター連絡協議会報告	前濱朋子	298	5 · 6 · 7	50
薬草学	V± /□ ` ·	a - ·		
身近な薬草を知ろう第38回 島カボシャ:ナンクワー:島南瓜	狩俣イソ	296		64
身近な薬草を知ろう第39回 ベニバナ:紅花(コウカ):末摘花	狩俣イソ			78
身近な薬草を知ろう第40回 スベリヒユ:滑莧:馬歯莧	狩俣イソ		5 • 6 • 7	66
身近な薬草を知ろう第41回 イノコヅチ:猪子槌	狩俣イソ		8 • 9 • 10	62
身近な薬草を知ろう第42回 フクギ:福木	狩俣イソ	300	11 • 12	70

広報 アリカワコウへイ氏にインタビュー〜"マシューくん"お薬手帳発行記念 第12回熟年の集い開催	念~ 大城喜仁 大城喜仁	296 299	1 · 2 8 · 9 · 10	28
同窓会 第29回名城大学薬学部同窓会沖縄支部研修会報告	前濱朋子	299	8 • 9 • 10	48
リレー随筆 「ドタバタWebテスト」	池間記世	300	11 • 12	72
理事会 平成30年度第7回理事会議事概要 令和元年度第4回臨時理事会議事概要 令和元年度第5回理事会議事概要 令和元年度第6回理事会議事概要 令和元年度第7回理事会議事概要 令和元年度第8回理事会議事概要		299 299 300	$1 \cdot 2$ $5 \cdot 6 \cdot 7$ $8 \cdot 9 \cdot 10$ $8 \cdot 9 \cdot 10$ $11 \cdot 12$ $11 \cdot 12$	69 75 70 77 75 83
職員人事 又吉章元氏が事務局長に就任		297	3 • 4	1
(計報) 佐久間長昭先生、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。 島袋尚美先生、砂川秀樹先生、謹んでご冥福をお祈り申し上げ 小嶺幸徳先生、ご冥福をお祈り申し上げます。 嘉数和子先生、ご冥福をお祈り申し上げます。	ぎます。		$ \begin{array}{c} 1 \cdot 2 \\ 3 \cdot 4 \\ 5 \cdot 6 \cdot 7 \\ 11 \cdot 12 \end{array} $	84 93 36 115
追悼 書家 豊平峰雲(信則)先生を偲ぶ	神村武之	300	11 • 12	69
薬連だより 本田あきこ全国キャラバン IN 沖縄 国会レポート ~平成31年度政府予算案~ 本田あきこ オレンジ日記 ~薬学生とのふれあい~ 沖縄県薬剤師連盟会務報告 (平成30年12月・平成31年1月分) 本田あきこ オレンジ日記 ~全国訪問活動を終えて~ 国会レポート ~予算案審議は参議院へ~	山城英人 藤井もとゆき 本田あきこ 本田あきこ 藤井もとゆき	296 296 296 296 297 297	$1 \cdot 2$ $1 \cdot 2$ $1 \cdot 2$ $1 \cdot 2$ $3 \cdot 4$ $3 \cdot 4$	66 67 68 85 80 81
沖縄県薬剤師連盟会務報告(平成31年2月~3月分) 本田あきこ激励会開催 令和元年度沖縄県薬剤師連盟評議員会報告	大城喜仁 大城喜仁	297 298	3 · 4 5 · 6 · 7	93 68

五十00万中中以中国基本的工作用十二基本的工		200	- o -	
平成30年度沖縄県薬剤師連盟若手薬剤師フォーラム	上原卓朗	298	5 • 6 • 7	71
本田あきこ オレンジ日記 本田あきこ中央後援会総会が開催	本田あきこ	298	5 · 6 · 7	72
本田あきこ オレンジ日記 2年間のお礼と私の使命 国会レポート~人生100年時代の社会保障~・~データへルス	本田あきこの推進。	298	5 · 6 · 7	73
	の推進~ 藤井もとゆき	298	5 • 6 • 7	74
沖縄県薬剤師連盟会務報告(平成31年4月~令和元年6月分)	旅行 ひこ から	298	5 · 6 · 7	89
本田あきこ氏が当選! 第25回参議院議員通常選挙	亀谷浩昌	299	8 • 9 • 10	66
本田あきこ オレンジ日記 国会議員としての第一歩	本田あきこ	299	8 • 9 • 10	66
本田あきこ オレンジ日記 国政の場で薬剤師の声を	本田あきこ	299	8 • 9 • 10	67
	藤井もとゆき	299	8 • 9 • 10	68
次世代を担う薬剤師フォーラム ~3年毎の参議院選挙に勝利するには	~ 石川恵市	299	8 • 9 • 10	69
沖縄県薬剤師連盟会務報告(令和元年7月~9月分)		299	8 • 9 • 10	97
本田あきこオレンジ日記 第200回臨時国会が召集される・スポーツファーマシストの活用	本田あきこ	300	11 · 12	73
	藤井もとゆき	300	11 · 12	74
沖縄県薬剤師連盟会務報告(令和元年10・11月分)		300	11 · 12	105
日薬通達				
医薬品販売制度に関する自己点検の実施結果について	日本薬剤師会	297	3 · 4	82
一包一話)				
人生って・・・	橋の下	296	1 • 2	86
呟き「令和」	橋の下	297	3 • 4	94
ユンタク・アリンクリン	橋の下	298	5 · 6 · 7	90
告知ポスター				
くすりと健康フェア		300	11 · 12	91
第9回県民健康フェア2019		300	11 · 12	98
先9回示以降隊ノエノ2019		300	11 - 12	90
#C 88 # #				
新聞広告		0.00	11 10	0.0
くすりと健康フェア		300	11 · 12	90
A 767+17 H				
会務報告				
平成30年12月・平成31年1月分		296	1 • 2	81
平成31年2月~3月分		297	3 • 4	89
平成31年4月~令和元年6月分		298	5 · 6 · 7	85
令和元年7月~9月分		299	8 • 9 • 10	91
令和元年10・11月分		300	11 · 12	102

転載記事

会営薬局で健サポ薬局のモデル構築 沖縄県薬、県予算活用し実践	長研修提供へ	297	3 · 4	84
薬物乱用防止推進 県が3人に感謝状		297	3 · 4	85
かかりつけ薬剤師の効き目 「2025年問題」に挑む医薬分業の担	!い手	297	3 · 4	86
力強く生きた「辻の華」著者	狩俣イソ	297	3 · 4	95
ジェネリック医薬品 薬効や安全性 国が保証	亀谷浩昌	298	5 · 6 · 7	76
安全なジェネリック医薬品 かかりつけ薬局で相談を	西川 裕	298	5 · 6 · 7	77
いは薬局(浦添) LINEで健康相談 地域密着、高齢者サポート		298	5 · 6 · 7	78
亡き父しのび 長田さん献花 殉職医療人之碑で祈り		298	5 · 6 · 7	79
琉球大学に薬学部を		298	5 · 6 · 7	79
地域偏在一薬剤師の不足の現状と対策	中村克徳	298	5 · 6 · 7	80
医療を考える おくすりが多過ぎます!	梅窪諭子	298	5 · 6 · 7	84
健サポ100薬局の早期達成に推進委設置		299	8 • 9 • 10	86
優しさに触れて	崎濱祐美子	299	8 • 9 • 10	87
県基本計画 医療分野点検 県施策の検証本格化 薬剤師不足育	成促す	299	8 • 9 • 10	88
街の元気、小さな店から ~いは薬局~		299	8 • 9 • 10	89
薬剤師の知識底上げ模索		299	8 • 9 • 10	90
旭日双光章受章 患者寄り添い 現場立つ 江夏京子さん		300	11 · 12	2
秋の叙勲 知事が伝達 叙勲受章者の功績たたえる		300	11 · 12	3
県職員2人を薬事功労で表彰		300	11 · 12	5
健康増進6組受賞 がんじゅうさびら表彰		300	11 · 12	6
薬の適正使用を周知 宮古地区薬剤師会など 街頭キャンペーン	ン実施	300	11 · 12	28
論壇 かかりつけ薬剤師とお薬手帳 健康維持のため活用を	盛本直也	300	11 · 12	92
論壇 健康をサポート「かかりつけ薬局」持って	古謝真己	300	11 · 12	93
県薬剤師会がくすりフェア 20日に県立図書館で		300	11 · 12	94
薬と健康の週間PR広告「地域に根付く薬局 目指し」	日本薬剤師会	300	11 · 12	95
第1回:かかりつけ薬剤師を上手に活用	日本薬剤師会	300	11 · 12	96
第2回:入院時もかかりつけ薬剤師が支援します	日本薬剤師会	300	11 · 12	96
第3回:学校で活躍する薬剤師	日本薬剤師会	300	11 · 12	97
第4回:うっかりドーピングからスポーツ選手を守る薬剤師	日本薬剤師会	300	11 · 12	97
健康増進目指し宜野湾でフェア 県医療保険連合が開催・医療の仕事	子どもが体験	300	11 · 12	100
25日に県民健康フェア 子ども向け職業体験も		300	11 · 12	101

(会員作品(誌上ギャラリー))

平成30	0年 誌上ギャラリー大賞&優秀賞決定!		296	1・2 裏表紙
写真	[「スイスのマッターホルンを眺めて」	成川玲子	293	6・7・8 裏表紙
写真	「熊野詣」	山里美恵子	292	3 • 4 • 5 裏表紙
写真	[「どこかしら秋の気配」	亀谷浩昌	294	9・10・11 裏表紙
写真	「頂上から麓まで姿を魅せた富士山」	新城光雄	297	3 • 4 裏表紙
写真	「巖美渓」	山里美恵子	297	3 • 4 裏表紙
写真	「白木蓮」	吉田典子	297	3 • 4 裏表紙
写真	「修善寺寒桜」	吉田典子	297	3 • 4 裏表紙
写真	「レンブラントに挑戦」	吉川肇	298	5 • 6 • 7 裏表紙
写真	「ヴェナリア レアーレ (ヴェナリア宮殿) のデ	ィアナの大回廊」 廣川直子	298	5 • 6 • 7 裏表紙
写真	「獲物を狙うサギ」	伊集智英	298	5 • 6 • 7 裏表紙
写真	「ぶらっと奥武島」	新垣紀子	298	5 • 6 • 7 裏表紙
水彩画	1 「上高地」	小那覇幸子	299	8・9・10 裏表紙
写真	「ジギタリスの花~魔女の指ぬき」	宮城敦子	299	8・9・10 裏表紙
写真	「福木森列」	玉城武範	299	8・9・10 裏表紙
写真	「青い青い海」	吉川肇	299	8・9・10 裏表紙
写真	「庭の蘭」	新川祥平	299	8・9・10 裏表紙
写真	「ストラホフ修道院の図書室」	山里美恵子	300	11・12 裏表紙
写真	「サンタ・マリア・マジョーレ教会内部」	廣川直子	300	11・12 裏表紙
写真	「渓谷のつり橋(龍神温泉)」	宮本直樹	300	11・12 裏表紙
水彩画	可「上高地 10月」	小那覇幸子	300	11・12 裏表紙

○以下のコーナーについては、ページ等の詳細は省略いたします。

編集後記

県民の皆様へ)あまくま薬立つ情報

お知らせ)会報原稿募集のご案内

県薬が会員に販売している印刷物等 会員にかかる弔事に関する薬剤師会への連絡について Facebookをご覧下さい!

地区・支部・部会からの原稿をお寄せ下さい! 沖縄県薬剤師連盟 Facebookをご覧下さい!

令和元年度 沖縄県薬事功労受賞者合同祝賀会案内

訃報

生前のご功績を偲び、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

嘉数 和子先生(享年76歳) 令和元年12月14日ご逝去



会員にかかる弔事に関する薬剤師会への連絡について

会員及び一親等の親族のご不幸は、沖縄県薬剤師会へ御一報下さい。 (香典・生花等の手配があります)

※各地区、各支部及び、友人、知人の方、御一報よろしくお願いします。

【連絡先】県薬事務局(前原・大城): 098-963-8930

お知らせ 沖縄県薬剤師連盟 Facebookをご覧下さい!



下記アドレスより、お待ちしております。ホームページからも閲覧できます。 https://www.facebook.com/okinawayakuren/



誌上ギャラリー(裏表紙)について

左上:「ストラホフ修道院の図書室」photo by 山里 美恵子

撮影地:プラハ(チェコ共和国)プラハにあるひと際華やかで素敵なストラホフ修道院の図書室です。

右上:「サンタ・マリア・マジョーレ教会内部」photo by 廣川 直子 (ハイジア薬局)

撮影地:イタリアベルガモ

左中央:「渓谷のつり橋 (龍神温泉)」photo by 宮本 直樹 (クララ薬局ティエラ)

撮影地:和歌山県

下:「上高地 10月」 水彩画 by 小那覇 幸子(おなは薬局) 河童橋から見る穂高連峰 穂高の山脈には秋に向かう瞬間の色彩が感動を誘う。









去年の8月に白内障手術を受けた。白内障 手術は国内で年間約140万症例という外科的 手術の中でも最も多い部類に入るとのこと。 手術に使うレンズには単焦点眼内レンズと多 焦点眼内レンズがあり、一般的に使われるの は単焦点眼内レンズという。私のめがね歴は 約20年近くで遠近両用めがねを使用してい た。運転用、仕事用、接客用とめがねをとっ かえひっかえして、とても煩わしかった。多 焦点レンズは先進医療になるので健康保険の 適用外で自己負担になる。ただし生命保険に 先進医療給付特約を付けていたり、先進医療 に特化した保険に加入していたりすると給付 対象となるようである。残念ながら私は年齢 制限で門前払いされてしまったが。それと先 進医療施設として認定されている施設を選ぶ 必要がある。術後しばらくはいろいろと不都 合なことがあったが、今まで濁りや混濁が あって見えなかった物が鮮明になったために 起こる生理的な現象らしいと知って気にしな いことにした。今はメガネもサングラスもな く快適な生活を送っている。以前はよく目を

こすったり搔いたりしていたが今は大切に扱 うようにしている。取り替えがきかない目な ので大事にしなくては。 (ピアナ)

"アンガーマネジメント"一度は耳にした ことのあるフレーズであろう。「怒りのコン トロール」という某メーカーの講演を受けた 際、「6秒ルール」という項目があり、すぐさ ま興味を示したのであった。人間は怒りを覚 えるとき、脳内では興奮物質のアドレナリン が激しく分泌されるとのこと。しかし、この アドレナリン分泌のピークは、怒りを発して から6秒後と言われているようだ。つまり! 6秒間をやり過ごせば、その後は徐々に冷静 さを取り戻すことができるのだとか。これは 職員のみならず、嫁に対しても使えるのでは ないか?と期待に胸を膨らませ帰路へ。早速 嫁にその旨を伝えてみた。その結果、愚痴 や不満を言っている最中に6秒間も黙られる 姿にムカつくと一蹴!最強の嫁には通用せ ず、、、皆さん!怒りは一過性、6秒ルールで 制御しましょうね。 (ごり)

目標を殆どクリアすることなく年末を迎えてしまいました。年始に掲げた一文字は「乗」。波に乗る、流れに乗る、馬に乗る・・・流れに乗って渡仏したけど、流れに乗るというよりも「ノリ」だったような。。(苦笑)いずれにせよ、そこには私の意思があったわけで流されたわけではない。さて、今年も会報誌をご覧いただきありがとうございました。2020年にはオリンピックはもちろん、九山大会が沖縄で開催されます。より一層のご協力、ご指導をお願い申し上げます。 (クララ)

病院で持参薬鑑別していると、様々な使い方をされているお薬手帳に出会うことがある。やめられない医療施設別のお薬手帳や、話題のアリカワコウへイ!氏の手帳に、手帳の最後に備忘録を備えていたり、半分は日記帳になっていたりするもの。最近出会ったのは、自作のお薬手帳で、ご自身で撮ったと思われる写真が片面にあり、反対側にお薬の内容が記載されているものだ。お薬の情報を見返すたびに、笑顔になれそうだ。この方の次のお薬手帳にもたくさんの笑顔の写真があるといいなと思う。みなさんの新年にも素敵な笑顔がたくさんあふれますように。(いさ吉)

令和元年も終わりに近づき、いよいよ令和ベイビーに触れる機会が出てきました。ゆとり世代と呼ばれ、脱ゆとり世代っていつからよ、と思っていたのもいつのことやら、Y世代やらデジタルネイティブ世代やらと呼ばれるようになり、Y世代の下の世代のZ世代なる層が生まれ、ケチをつける余裕もなく新しい言葉の響きに追いついていくのに精一杯です。そんな中で実感する、令和という日本語の響き、括り方の分かりやすさったらないです。横文字に負けずに流行れ、根付け、令和世代、令和ベイビー!ゆとり世代、来年からもいい時代にできるように頑張るよ!(dash)

11月に台湾に旅行に行きました。生まれて 初めての海外旅行ということで、少し緊張し ながらも心躍らせていました。今回は台湾の 中でも台北を観光しました。昼間は台北101 に行き、夜は小籠包や餃子の店を食べ歩いて いました。その中でも、ホタテ水餃子がとて も美味しくて驚きました。ぜひ、台湾に行っ た際には「巧之味手工水餃」という店に足を 運んで、ホタテ水餃子を食べましょう!今回 は夜市も観光しましたが、思いのほか人が多 すぎて、人に酔ってしまい早々のリタイアと なりました…。次回、改めてチャレンジした いと思います。 (ちゃげ)

沖縄県薬剤師会

〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川218-10 http://www.okiyaku.or.jp e-mail: kouhou@okiyaku.or.jp

- ■事 務 局 TEL 098-963-8930 FAX 098-963-8932 ■薬事情報センター TEL 098-963-8931 FAX 098-963-8937
- ■会営薬局医療センター前 TEL 098-963-8940 FAX 098-963-8946 ■試験検査センター TEL 098-963-8934 FAX 098-963-8932
- ■会営薬局うえはら 〒903-0125 沖縄県中頭郡西原町字上原241-1 TEL 098-946-1185 FAX 098-944-0567
- ■会営薬局とよみ 〒901-0244 沖縄県豊見城市字宜保271-1 TEL 098-856-4160 FAX 098-856-3415

おきなわ薬剤師会報 第300号 令和元年12月17日発行

発行人:沖縄県薬剤師会 会長 亀谷浩昌

編 集: 広報委員会 委員長/宮城敦子 委員/前濱朋子・池間記世・石川恵市・伊敷松太郎・伊差川サヤカ 安次富大・運天芳生 久米島通信員/山城晶 宮古地区通信員/前里由紀子

定価四〇〇円(会員の購読料は含会費)







誌上ギャラリー (会員作品)

お気軽にご投稿下さい。

